

芦屋市
子育て支援に関するアンケート調査
結果報告書

平成 26 年 3 月

芦 屋 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	就学前児童	2
(1)	居住地域について	2
(2)	子どもと家族の状況について	2
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	4
(4)	保護者の就労状況について	5
(5)	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	11
(6)	地域の子育て支援事業の利用状況について	29
(7)	土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	34
(8)	子どもの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	37
(9)	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	43
(10)	放課後の過ごし方について	51
(11)	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	60
(12)	芦屋市の今後の子育て施策について	67
2	小学生児童	74
(1)	居住地域について	74
(2)	子どもと家族の状況について	74
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	75
(4)	保護者の就労状況について	78
(5)	子どもの病気の際の対応について	84
(6)	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	85
(7)	放課後の過ごし方について	89
(8)	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	99
(9)	芦屋市の今後の子育て施策について	105
3	芦屋市の子育て支援施策に関する意見・要望	108
III	調査結果のまとめ	111

参考資料

子育て支援に関するアンケート調査（就学前児童）

子育て支援に関するアンケート調査（小学生児童）

I 調査の概要

1 調査の目的

子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく芦屋市子ども・子育て支援事業計画（計画期間：平成 27～31 年度）の策定のための基礎資料を得ることを目的としています。

2 調査対象

市内に在住する就学前児童の保護者 2,250 人
小学生児童の保護者 1,250 人

3 調査期間

平成 25 年 10 月 7 日から平成 25 年 11 月 11 日
※回答期限については、当初期限 10 月 31 日から延長しました。

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者	2,250 通	1,359 通	60.4%
小学生児童の保護者	1,250 通	653 通	52.2%

6 調査結果の表示方法

- ・表に表示されている数値は、上段及び件数は回答数、下段及び割合は全体の回答数に対する割合となっています。
- ・集計結果の%表示は、小数点以下第 2 位を四捨五入してありますので、内訳の合計が 100%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、内訳の合計が 100%にならない場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・クロス集計の場合、有効回答数はそれぞれの項目ごとに表示しています。

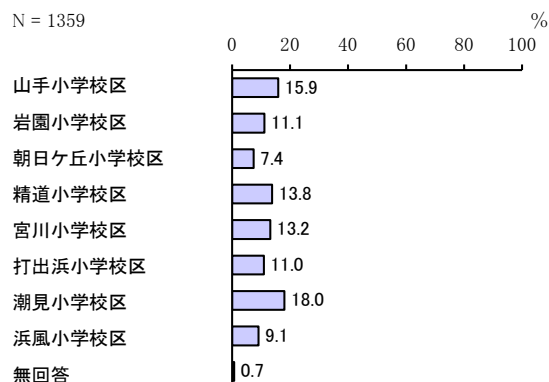
II 調査結果

1 就学前児童

(1) 居住地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる町に○をつけてください。

「潮見小学校区」の割合が18.0%と最も高く、次いで「山手小学校区」の割合が15.9%、「精道小学校区」の割合が13.8%となっています。

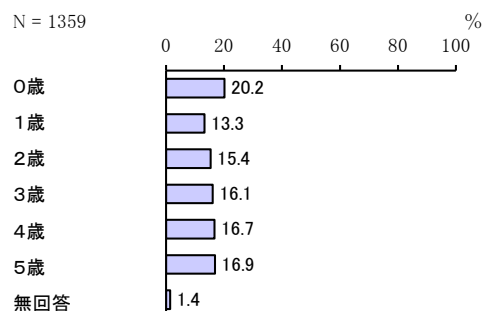


(2) 子どもと家族の状況について

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

宛名のお子さんの年齢

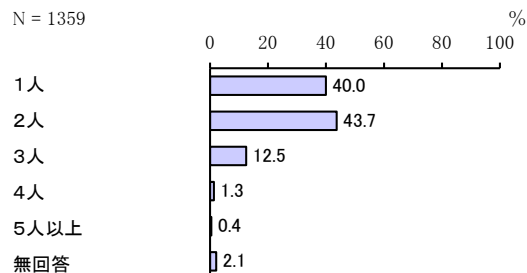
「0歳」の割合が20.2%と最も高く、次いで「5歳」の割合が16.9%、「4歳」の割合が16.7%となっています。



問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。

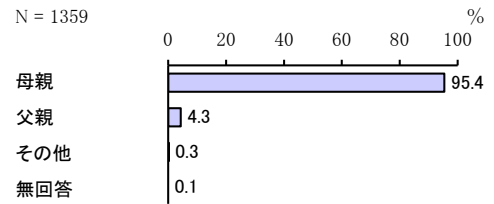
きょうだい数

「2人」の割合が43.7%と最も高く、次いで「1人」の割合が40.0%、「3人」の割合が12.5%となっています。



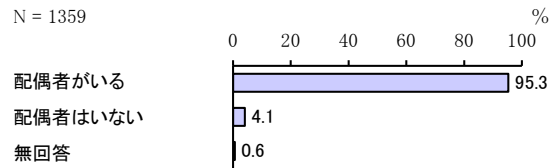
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が95.4%、「父親」の割合が4.3%となっています。



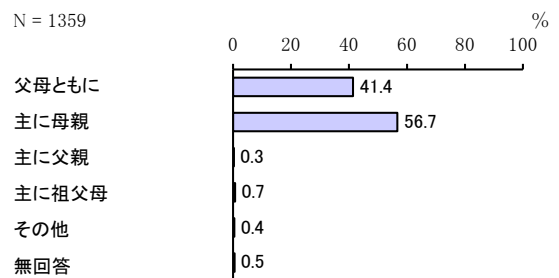
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が95.3%、「配偶者はいない」の割合が4.1%となっています。



問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

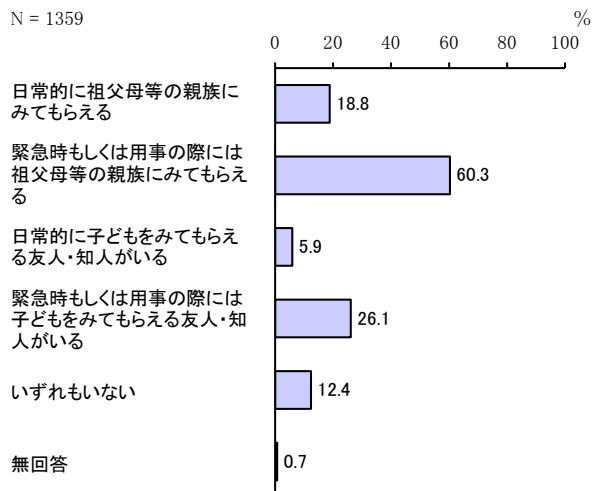
「主に母親」の割合が56.7%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が41.4%となっています。



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

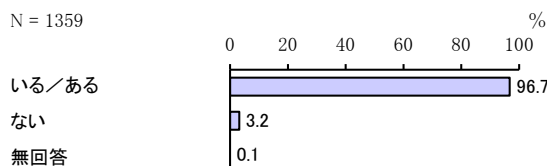
問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が60.3%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が26.1%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が18.8%となっています。



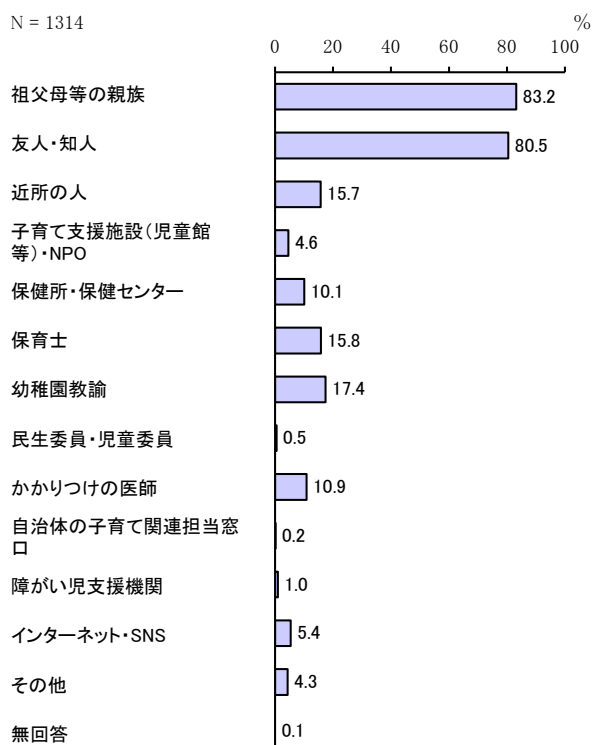
問8 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が96.7%、「ない」の割合が3.2%となっています。



問8-1 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」の割合が83.2%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が80.5%、「幼稚園教諭」の割合が17.4%となっています。



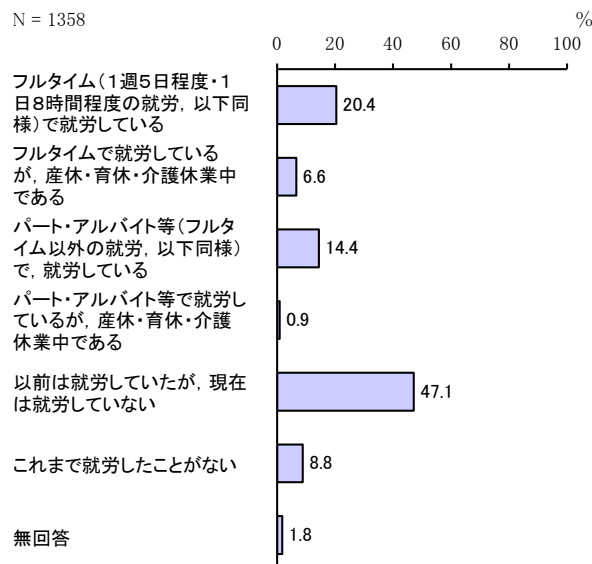
(4) 保護者の就労状況について

問9 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業，家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親

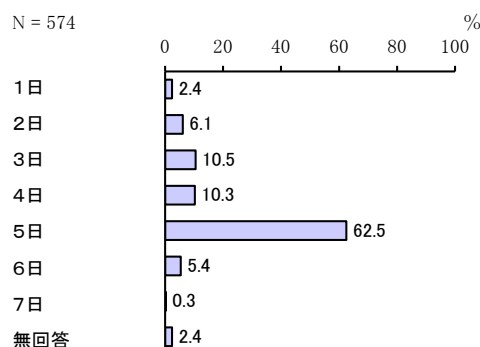
① 就労状況

「以前は就労していたが，現在は就労していない」の割合が47.1%と最も高く，次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労，以下同様）で就労している」の割合が20.4%，「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労，以下同様）で就労している」の割合が14.4%となっています。



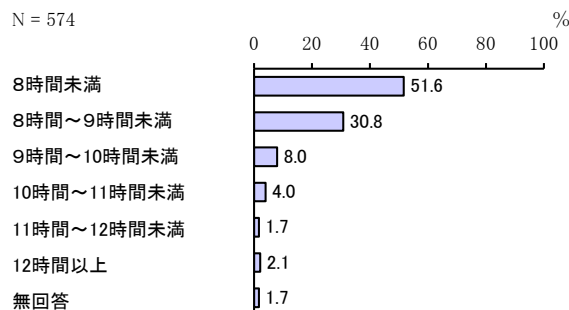
② 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が62.5%と最も高く，次いで「3日」の割合が10.5%，「4日」の割合が10.3%となっています。



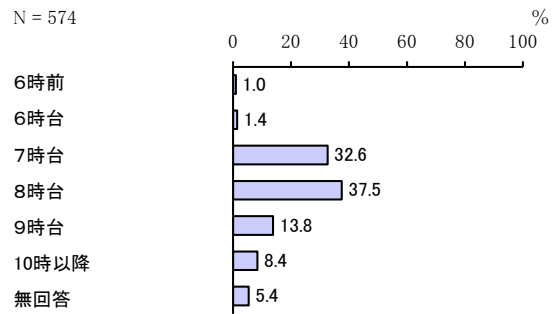
③ 1日当たりの就労時間

「8時間未満」の割合が51.6%と最も高く，次いで「8時間～9時間未満」の割合が30.8%となっています。



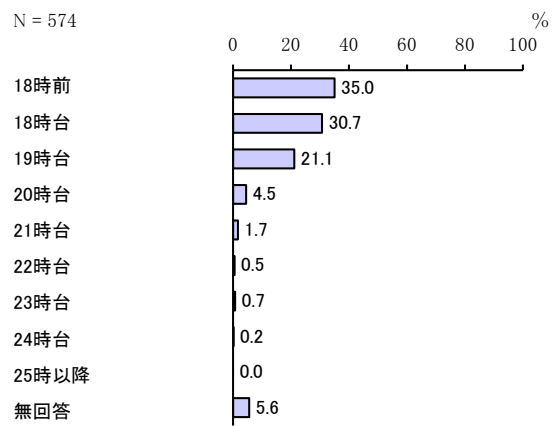
④ 家を出る時間

「8時台」の割合が37.5%と最も高く、次いで「7時台」の割合が32.6%、「9時台」の割合が13.8%となっています。



⑤ 帰宅時間

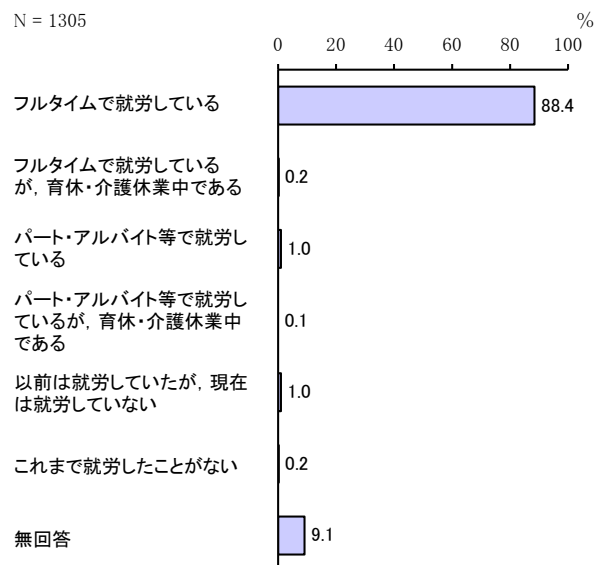
「18時前」の割合が35.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が30.7%、「19時台」の割合が21.1%となっています。



(2) 父親

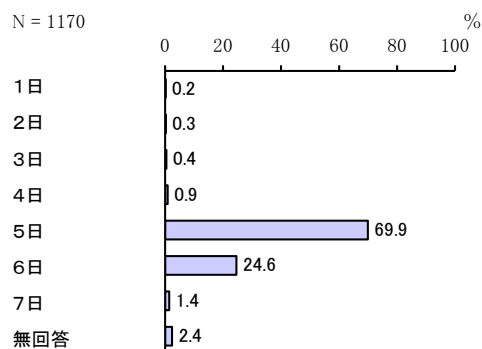
① 就労状況

「フルタイムで就労している」の割合が88.4%と最も高くなっています。



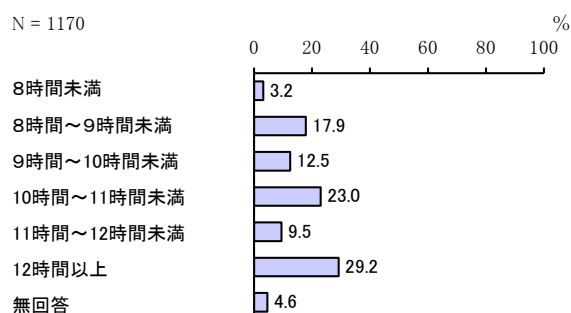
② 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が69.9%と最も高く、次いで「6日」の割合が24.6%となっています。



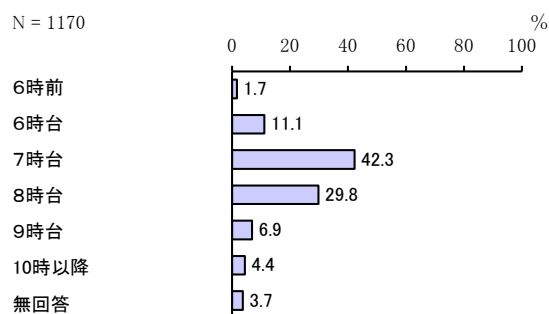
③ 1日当たりの就労時間

「12時間以上」の割合が29.2%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が23.0%、「8時間～9時間未満」の割合が17.9%となっています。



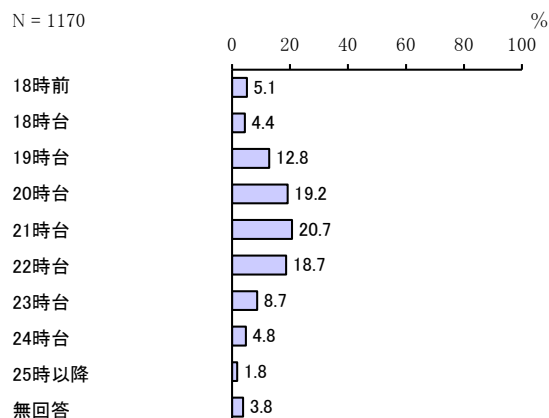
④ 家を出る時間

「7時台」の割合が42.3%と最も高く、次いで「8時台」の割合が29.8%、「6時台」の割合が11.1%となっています。



⑤ 帰宅時間

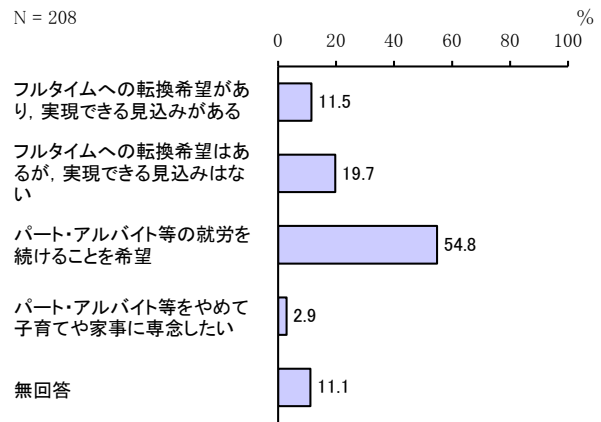
「21時台」の割合が20.7%と最も高く、次いで「20時台」の割合が19.2%、「22時台」の割合が18.7%となっています。



問10 問9の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問11へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

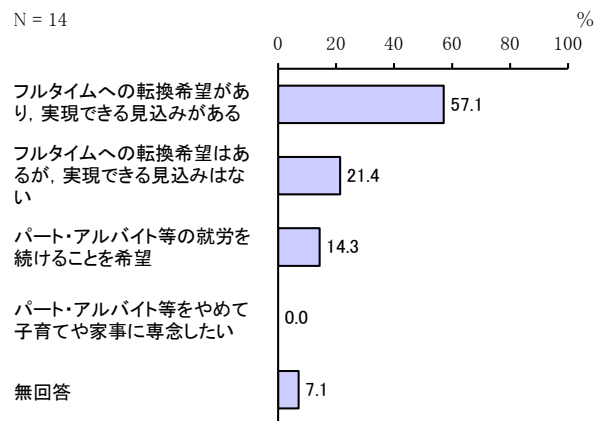
(1) 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が54.8%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が19.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が11.5%となっています。



(2) 父親

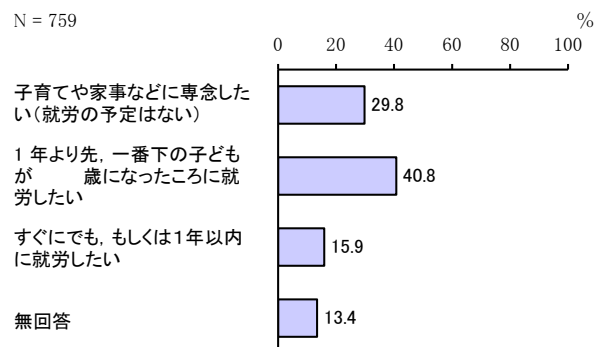
「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が57.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が21.4%、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が14.3%となっています。



問11 問9の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問12へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する には数字をご記入ください。

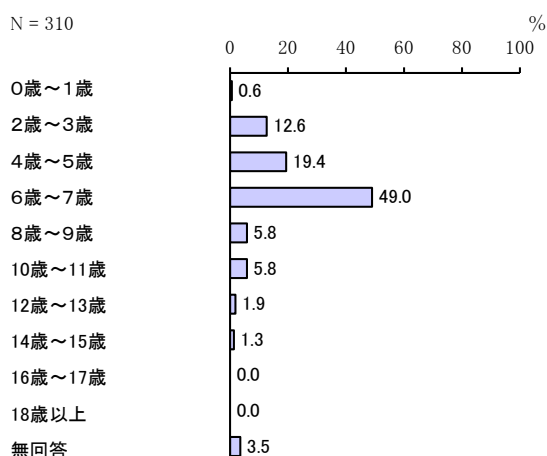
(1) 母親

「1年より先、一番下の子どもが 歳になったときに就労したい」の割合が40.8%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が29.8%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が15.9%となっています。



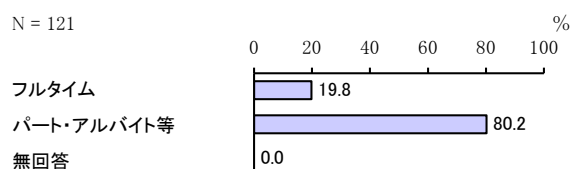
① 「1年より先, 一番下の子どもが 歳になったころに就労したい」子どもの年齢

「6歳～7歳」の割合が49.0%と最も高く, 次いで「4歳～5歳」の割合が19.4%, 「2歳～3歳」の割合が12.6%となっています。



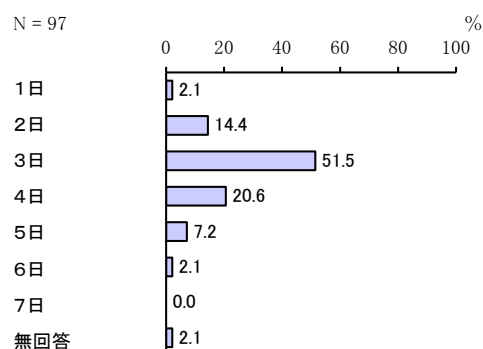
② 「すぐにでも, もしくは1年以内に就労したい」人の就労希望

「パート・アルバイト等」の割合が80.2%, 「フルタイム」の割合が19.8%となっています。



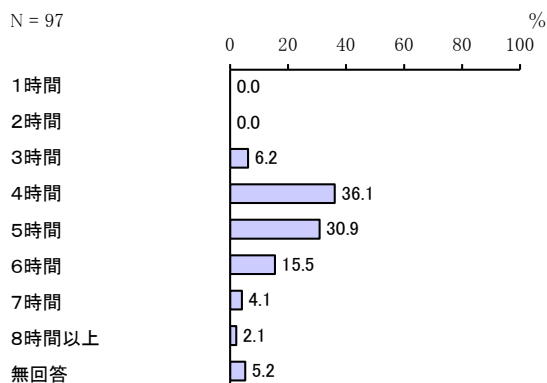
②-1 1年以内に就労したい人の1週当たりの就労日数

「3日」の割合が51.5%と最も高く, 次いで「4日」の割合が20.6%, 「2日」の割合が14.4%となっています。



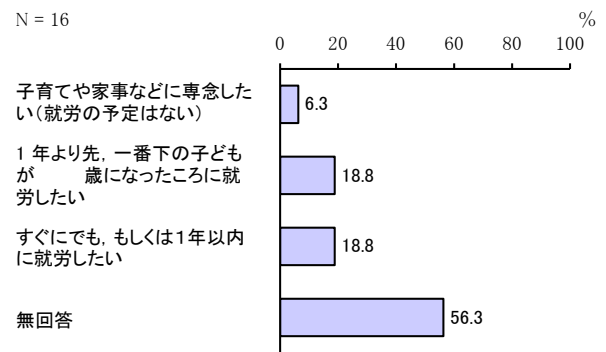
②-2 1年以内に就労したい人の1日当たりの就労時間

「4時間」の割合が36.1%と最も高く, 次いで「5時間」の割合が30.9%, 「6時間」の割合が15.5%となっています。



(2) 父親

「1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が18.8%と最も高くなっています。



① 「1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい」子どもの年齢
「2歳～3歳」が2件、「12歳～13歳」が1件となっています。

② 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人の就労希望
「フルタイム」が2件となっています。

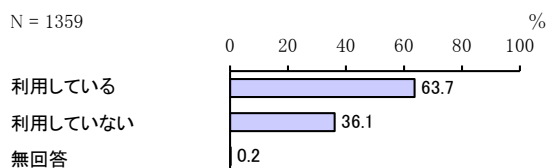
②-1 1年以内に就労したい人の1週当たりの就労日数
有効回答はありません。

②-2 1年以内に就労したい人の1日当たりの就労時間
有効回答はありません。

(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 12 お子さんは現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

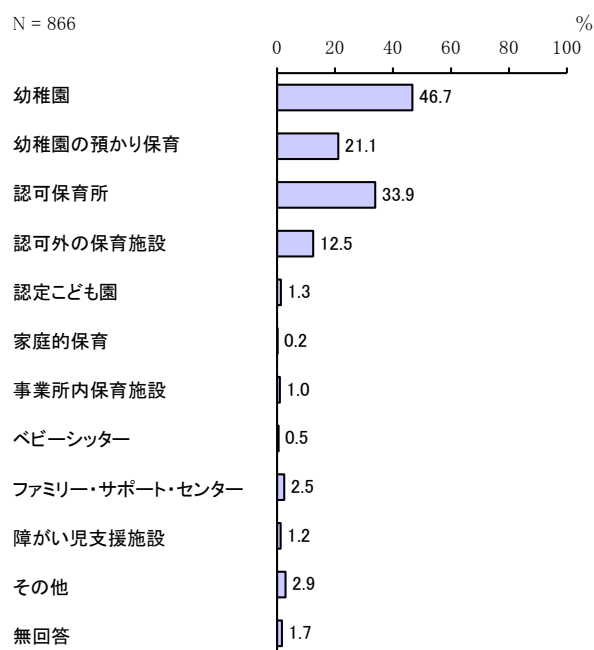
「利用している」の割合が 63.7%、「利用していない」の割合が 36.1%となっています。



問 12-1～問 12-6 は、問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

問 12-1 利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が 33.9%、「幼稚園の預かり保育」の割合が 21.1%となっています。



【中学校区別】

中学校区別にみると、すべての地区で「幼稚園」の利用が高くなっているものの、山手地区では「幼稚園」の利用が特に高く、精道地区及び潮見地区では「認可保育所」の割合が高くなっています。

	有効回答数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外の保育施設	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	866	404	183	294	108	11	2	9	4	22	10	25	15
	100.0	46.7	21.1	33.9	12.5	1.3	0.2	1.0	0.5	2.5	1.2	2.9	1.7
山手	307	165	63	67	51	8	1	4	-	10	5	9	4
	100.0	53.7	20.5	21.8	16.6	2.6	0.3	1.3	-	3.3	1.6	2.9	1.3
精道	281	121	68	115	30	2	1	2	4	10	2	7	3
	100.0	43.1	24.2	40.9	10.7	0.7	0.4	0.7	1.4	3.6	0.7	2.5	1.1
潮見	269	115	51	109	25	1	-	3	-	2	3	8	8
	100.0	42.8	19.0	40.5	9.3	0.4	-	1.1	-	0.7	1.1	3.0	3.0

【利用している教育・保育事業の実施場所別】

利用している教育・保育事業の実施場所別にみると、芦屋市外利用者は利用者全体の 15.1% (131 件/866 件) となっており、その中で「幼稚園」の割合が高くなっています。

	有効回答数	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	認可保育所	認可外の保育施設	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全 体	866 100.0	404 46.7	183 21.1	294 33.9	108 12.5	11 1.3	2 0.2	9 1.0	4 0.5	22 2.5	10 1.2	25 2.9	15 1.7
芦屋市内	680 100.0	309 45.4	166 24.4	264 38.8	70 10.3	7 1.0	- -	3 0.4	2 0.3	15 2.2	9 1.3	15 2.2	12 1.8
芦屋市外	131 100.0	79 60.3	14 10.7	3 2.3	31 23.7	2 1.5	1 0.8	6 4.6	1 0.8	4 3.1	1 0.8	8 6.1	3 2.3
西宮市	81 100.0	50 61.7	8 9.9	- -	22 27.2	1 1.2	1 1.2	1 1.2	1 1.2	3 3.7	- -	3 3.7	3 3.7
神戸市	36 100.0	23 63.9	5 13.9	2 5.6	3 8.3	- -	- -	2 5.6	- -	1 2.8	1 2.8	5 13.9	- -
その他	10 100.0	3 30.0	- -	1 10.0	5 50.0	1 10.0	- -	2 20.0	- -	- -	- -	- -	- -

※その他：尼崎市，三田市，守口市，大阪市，堺市，豊中市

【利用している教育・保育事業への通園手段別】

利用している教育・保育事業への通園手段別にみると、徒歩で通園している 73.0% は「幼稚園」の利用者となっており、自転車で通園している 71.7% は「認可保育所」の利用者となっています。また、自動車通園している利用者で高いのは「認可保育所」と「認可外の保育施設」となっており、通園バスで通園している利用者では、「幼稚園」が大半を占めています。

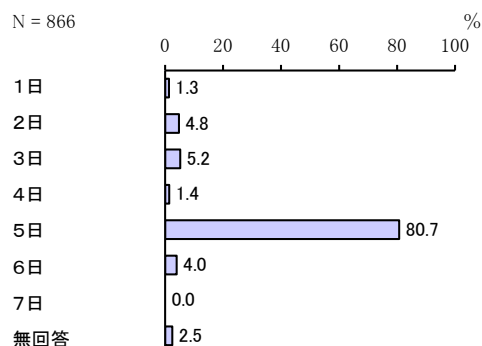
	有効回答数	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	認可保育所	認可外の保育施設	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全 体	866 100.0	404 46.7	183 21.1	294 33.9	108 12.5	11 1.3	2 0.2	9 1.0	4 0.5	22 2.5	10 1.2	25 2.9	15 1.7
徒歩	363 100.0	265 73.0	142 39.1	67 18.5	17 4.7	- -	- -	- -	- -	3 0.8	3 0.8	4 1.1	9 2.5
自転車	187 100.0	20 10.7	11 5.9	134 71.7	24 12.8	1 0.5	- -	4 2.1	- -	7 3.7	2 1.1	6 3.2	1 0.5
自動車	174 100.0	37 21.3	14 8.0	62 35.6	54 31.0	6 3.4	1 0.6	3 1.7	2 1.1	10 5.7	2 1.1	12 6.9	1 0.6
通園バス	66 100.0	60 90.9	6 9.1	- -	4 6.1	- -	- -	- -	1 1.5	- -	1 1.5	- -	3 4.5
路線バス	10 100.0	- -	- -	6 60.0	3 30.0	- -	1 10.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
電車	5 100.0	2 40.0	1 20.0	- -	2 40.0	- -	- -	1 20.0	- -	- -	- -	- -	- -
その他	4 100.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 25.0	1 25.0	1 25.0

問 12-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(1) 現在の利用状況

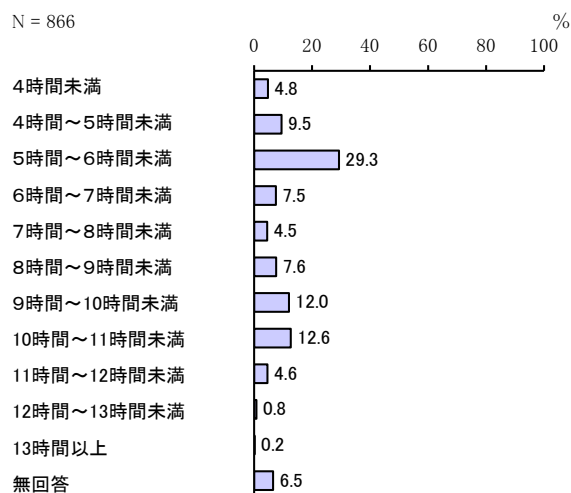
① 1週当たりの利用日数

「5日」の割合が80.7%と最も高くなっています。



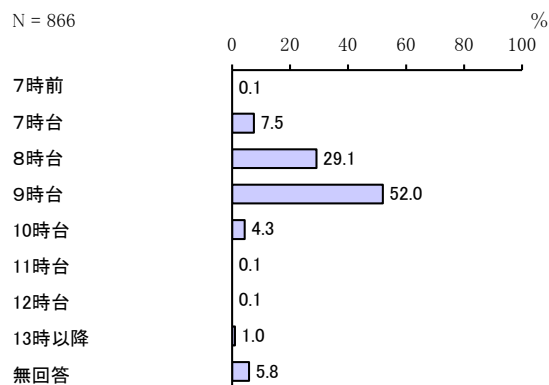
② 1日当たりの利用時間

「5時間～6時間未満」の割合が29.3%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が12.6%、「9時間～10時間未満」の割合が12.0%となっています。



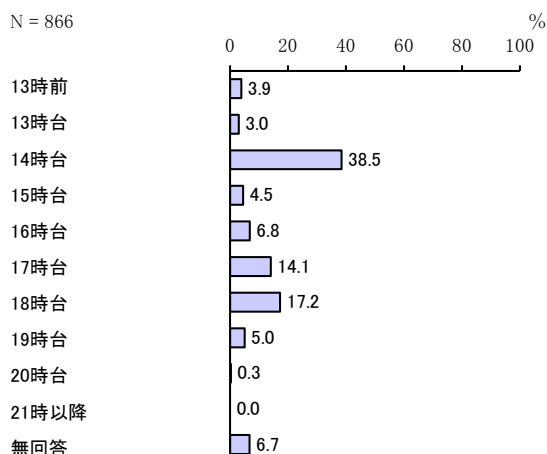
③ 開始時間

「9時台」の割合が52.0%と最も高く、次いで「8時台」の割合が29.1%となっています。



④ 終了時間

「14 時台」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 17.2%、「17 時台」の割合が 14.1%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、4歳、5歳で「14 時台」の割合が高くなっています。

	有効回答数	13時前	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時以降	無回答
全体	866	34	26	333	39	59	122	149	43	3	-	58
	100.0	3.9	3.0	38.5	4.5	6.8	14.1	17.2	5.0	0.3	-	6.7
0歳	60	4	-	14	5	5	15	11	3	1	-	2
	100.0	6.7	-	23.3	8.3	8.3	25.0	18.3	5.0	1.7	-	3.3
1歳	75	-	1	3	2	12	18	28	8	1	-	2
	100.0	-	1.3	4.0	2.7	16.0	24.0	37.3	10.7	1.3	-	2.7
2歳	118	7	4	25	5	8	23	37	5	-	-	4
	100.0	5.9	3.4	21.2	4.2	6.8	19.5	31.4	4.2	-	-	3.4
3歳	152	7	3	58	6	10	22	28	9	1	-	8
	100.0	4.6	2.0	38.2	3.9	6.6	14.5	18.4	5.9	0.7	-	5.3
4歳	221	11	9	102	11	12	23	25	7	-	-	21
	100.0	5.0	4.1	46.2	5.0	5.4	10.4	11.3	3.2	-	-	9.5
5歳	226	5	8	128	9	11	19	14	11	-	-	21
	100.0	2.2	3.5	56.6	4.0	4.9	8.4	6.2	4.9	-	-	9.3

【中学校区別】

中学校区別にみると、山手地区で「14 時台」の割合が高く、42.3%（130 件／307 件）となっています。

	有効回答数	13時前	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時以降	無回答
全体	866	34	26	333	39	59	122	149	43	3	-	58
	100.0	3.9	3.0	38.5	4.5	6.8	14.1	17.2	5.0	0.3	-	6.7
山手	307	10	17	130	17	24	24	50	12	2	-	21
	100.0	3.3	5.5	42.3	5.5	7.8	7.8	16.3	3.9	0.7	-	6.8
精道	281	10	5	106	7	16	49	49	18	1	-	20
	100.0	3.6	1.8	37.7	2.5	5.7	17.4	17.4	6.4	0.4	-	7.1
潮見	269	14	3	94	13	19	49	47	13	-	-	17
	100.0	5.2	1.1	34.9	4.8	7.1	18.2	17.5	4.8	-	-	6.3

【母親の就労状況別】

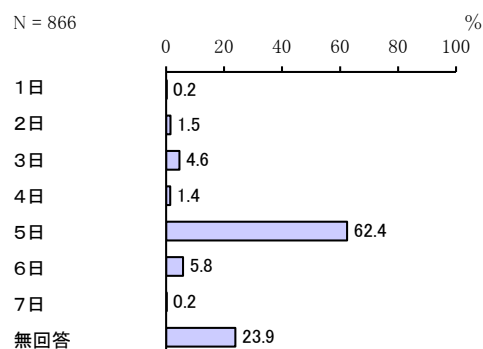
母親の就労状況別にみると、フルタイムで「18時台」の割合が高くなっています。また、未就労で「14時台」の割合が高く、62.5%（243件／389件）となっています。

	有効回答数	13時前	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時以降	無回答
全体	865 100.0	34 3.9	26 3.0	333 38.5	39 4.5	59 6.8	121 14.0	149 17.2	43 5.0	3 0.3	- -	58 6.7
フルタイム	284 100.0	1 0.4	1 0.4	12 4.2	5 1.8	13 4.6	79 27.8	127 44.7	41 14.4	2 0.7	- -	3 1.1
パート・アルバイト等	177 100.0	4 2.3	3 1.7	68 38.4	9 5.1	30 16.9	32 18.1	18 10.2	2 1.1	1 0.6	- -	10 5.6
未就労	389 100.0	29 7.5	22 5.7	243 62.5	24 6.2	15 3.9	10 2.6	4 1.0	- -	- -	- -	42 10.8

(2) 利用希望

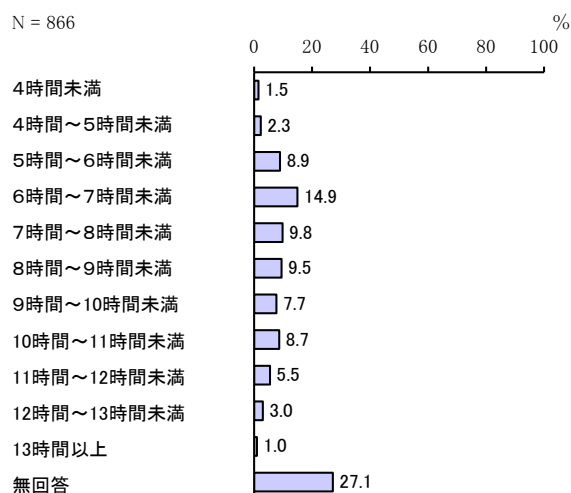
① 1週当たりの利用希望日数

「5日」の割合が62.4%と最も高くなっています。



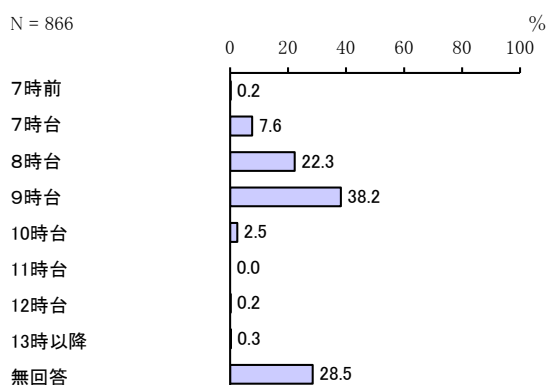
② 1日当たりの利用希望時間

「6時間～7時間未満」の割合が14.9%と最も高くなっています。



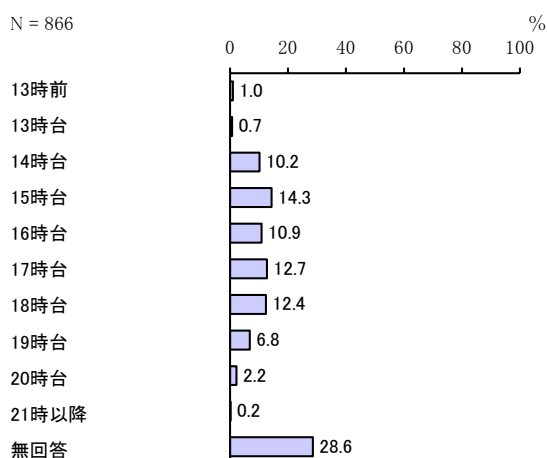
③ 開始時間

「9時台」の割合が38.2%と最も高く、次いで「8時台」の割合が22.3%となっています。



④ 終了時間

「15時台」の割合が14.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が12.7%、「18時台」の割合が12.4%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、4歳で「15時台」の割合が高く、23.5%（52件／221件）となっています。

	有効回答数	13時前	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時以降	無回答
全体	866	9	6	88	124	94	110	107	59	19	2	248
	100.0	1.0	0.7	10.2	14.3	10.9	12.7	12.4	6.8	2.2	0.2	28.6
0歳	60	-	1	3	6	6	12	7	3	5	-	17
	100.0	-	1.7	5.0	10.0	10.0	20.0	11.7	5.0	8.3	-	28.3
1歳	75	-	-	-	1	9	12	22	12	3	1	15
	100.0	-	-	-	1.3	12.0	16.0	29.3	16.0	4.0	1.3	20.0
2歳	118	3	2	13	5	12	14	15	16	3	-	35
	100.0	2.5	1.7	11.0	4.2	10.2	11.9	12.7	13.6	2.5	-	29.7
3歳	152	4	-	14	16	12	20	28	10	3	-	45
	100.0	2.6	-	9.2	10.5	7.9	13.2	18.4	6.6	2.0	-	29.6
4歳	221	-	2	30	52	29	26	19	10	-	-	53
	100.0	-	0.9	13.6	23.5	13.1	11.8	8.6	4.5	-	-	24.0
5歳	226	2	1	27	42	26	25	12	8	5	1	77
	100.0	0.9	0.4	11.9	18.6	11.5	11.1	5.3	3.5	2.2	0.4	34.1

【中学校区別】

中学校区別にみると、潮見地区で「17時台」の割合が高くなっています。

	有効回答数	13時前	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時以降	無回答
全体	866	9	6	88	124	94	110	107	59	19	2	248
	100.0	1.0	0.7	10.2	14.3	10.9	12.7	12.4	6.8	2.2	0.2	28.6
山手	307	3	5	35	50	43	28	29	21	7	1	85
	100.0	1.0	1.6	11.4	16.3	14.0	9.1	9.4	6.8	2.3	0.3	27.7
精道	281	2	1	30	44	22	33	38	21	10	-	80
	100.0	0.7	0.4	10.7	15.7	7.8	11.7	13.5	7.5	3.6	-	28.5
潮見	269	4	-	21	28	29	48	39	17	2	1	80
	100.0	1.5	-	7.8	10.4	10.8	17.8	14.5	6.3	0.7	0.4	29.7

【母親の就労状況別】

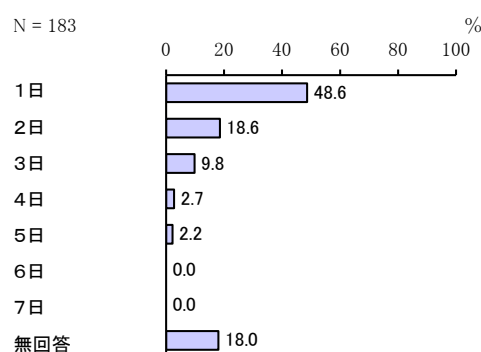
母親の就労状況別でフルタイムで「18時台」の割合が高く、29.6%（84件／284件）となっています。

	有効回答数	13時前	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時以降	無回答
全体	865	9	6	88	124	94	110	107	59	19	2	247
	100.0	1.0	0.7	10.2	14.3	10.9	12.7	12.4	6.8	2.2	0.2	28.6
フルタイム	284	-	-	2	3	8	45	84	54	17	2	69
	100.0	-	-	0.7	1.1	2.8	15.8	29.6	19.0	6.0	0.7	24.3
パート・アルバイト等	177	1	-	18	17	24	40	17	5	2	-	53
	100.0	0.6	-	10.2	9.6	13.6	22.6	9.6	2.8	1.1	-	29.9
未就労	389	8	6	67	99	60	24	6	-	-	-	119
	100.0	2.1	1.5	17.2	25.4	15.4	6.2	1.5	-	-	-	30.6

問12-3 問12-1で「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけた方にうかがいます。どのくらい利用していますか。

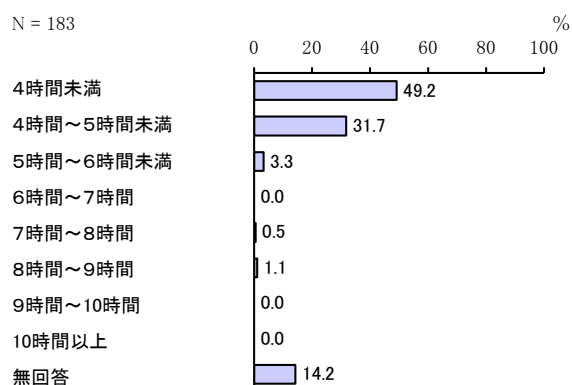
（1）1週当たりの利用日数

「1日」の割合が48.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.6%となっています。



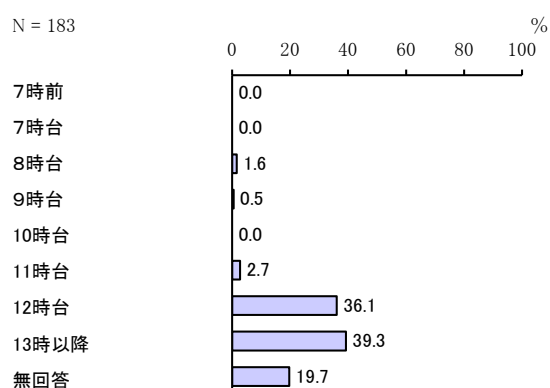
(2) 1日当たりの利用時間

「4時間未満」の割合が49.2%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が31.7%となっています。



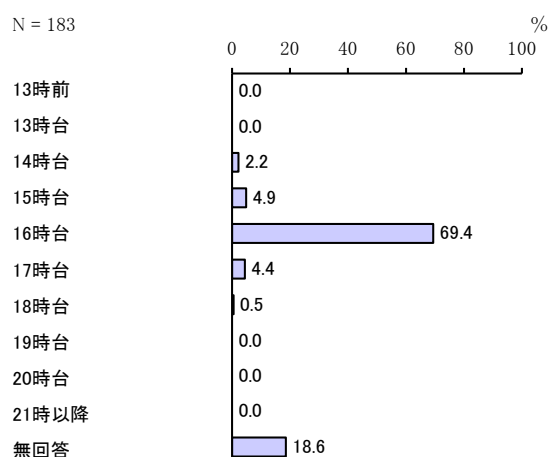
(3) 開始時間

「13時以降」の割合が39.3%と最も高く、次いで「12時台」の割合が36.1%となっています。



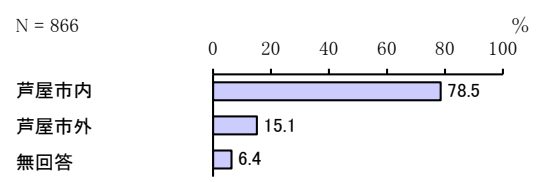
(4) 終了時間

「16時台」の割合が69.4%と最も高くなっています。



問 12-4 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

「芦屋市内」の割合が 78.5%、「芦屋市外」の割合が 15.1%となっています。



【利用している教育・保育事業の実施場所別（再掲）】

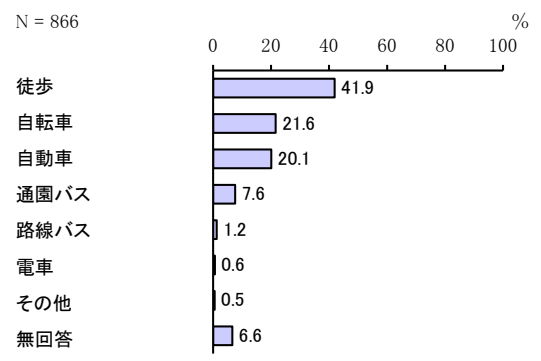
利用している教育・保育事業の実施場所別にみると、芦屋市外利用者は利用者全体の 15.1% (131 件/866 件) となっており、その中で「幼稚園」の割合が高くなっています。

	有効回答数	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	認可保育所	認可外の保育施設	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	ベビーシッター	センター	ファミリーサポート	障がい児支援施設	その他	無回答
全 体	866 100.0	404 46.7	183 21.1	294 33.9	108 12.5	11 1.3	2 0.2	9 1.0	4 0.5	22 2.5	10 1.2	25 2.9	15 1.7	
芦屋市内	680 100.0	309 45.4	166 24.4	264 38.8	70 10.3	7 1.0	-	3 0.4	2 0.3	15 2.2	9 1.3	15 2.2	12 1.8	
芦屋市外	131 100.0	79 60.3	14 10.7	3 2.3	31 23.7	2 1.5	1 0.8	6 4.6	1 0.8	4 3.1	1 0.8	8 6.1	3 2.3	
西宮市	81 100.0	50 61.7	8 9.9	-	22 27.2	1 1.2	1 1.2	1 1.2	1 1.2	3 3.7	-	3 3.7	3 3.7	
神戸市	36 100.0	23 63.9	5 13.9	2 5.6	3 8.3	-	-	2 5.6	-	1 2.8	1 2.8	5 13.9	-	
その他	10 100.0	3 30.0	-	1 10.0	5 50.0	1 10.0	-	2 20.0	-	-	-	-	-	

※その他：尼崎市，三田市，守口市，大阪市，堺市，豊中市

問 12-5 現在、利用している教育・保育事業の実施場所へ通園する主な手段についてうかがいます。主な通園手段を1つ選んで○をつけてください。

「徒歩」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「自転車」の割合が 21.6%、「自動車」の割合が 20.1%となっています。



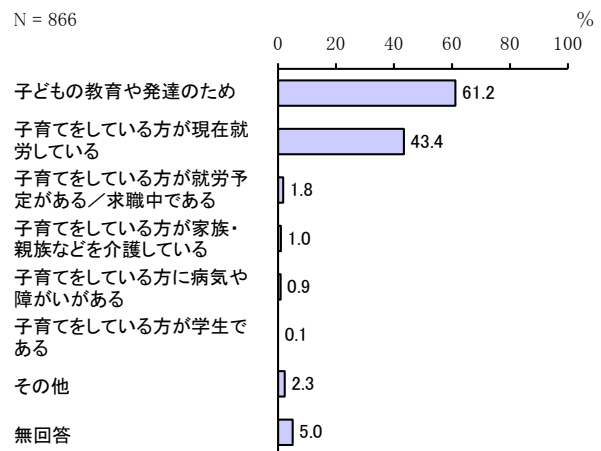
【利用している教育・保育事業への通園手段別（再掲）】

利用している教育・保育事業への通園手段別にみると、徒歩で通園している73.0%割は「幼稚園」の利用者となっており、自転車で通園している71.7%割は「認可保育所」の利用者となっています。また、自動車通園している利用者で高いのは「認可保育所」と「認可外の保育施設」となっており、通園バスで通園している利用者では、「幼稚園」が大半を占めています。

	有効回答数	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	認可保育所	認可外の保育施設	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全 体	866 100.0	404 46.7	183 21.1	294 33.9	108 12.5	11 1.3	2 0.2	9 1.0	4 0.5	22 2.5	10 1.2	25 2.9	15 1.7
徒歩	363 100.0	265 73.0	142 39.1	67 18.5	17 4.7	-	-	-	-	3 0.8	3 0.8	4 1.1	9 2.5
自転車	187 100.0	20 10.7	11 5.9	134 71.7	24 12.8	1 0.5	-	4 2.1	-	7 3.7	2 1.1	6 3.2	1 0.5
自動車	174 100.0	37 21.3	14 8.0	62 35.6	54 31.0	6 3.4	1 0.6	3 1.7	2 1.1	10 5.7	2 1.1	12 6.9	1 0.6
通園バス	66 100.0	60 90.9	6 9.1	-	4 6.1	-	-	-	1 1.5	-	1 1.5	-	3 4.5
路線バス	10 100.0	-	-	6 60.0	3 30.0	-	1 10.0	-	-	-	-	-	-
電車	5 100.0	2 40.0	1 20.0	-	2 40.0	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-
その他	4 100.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0

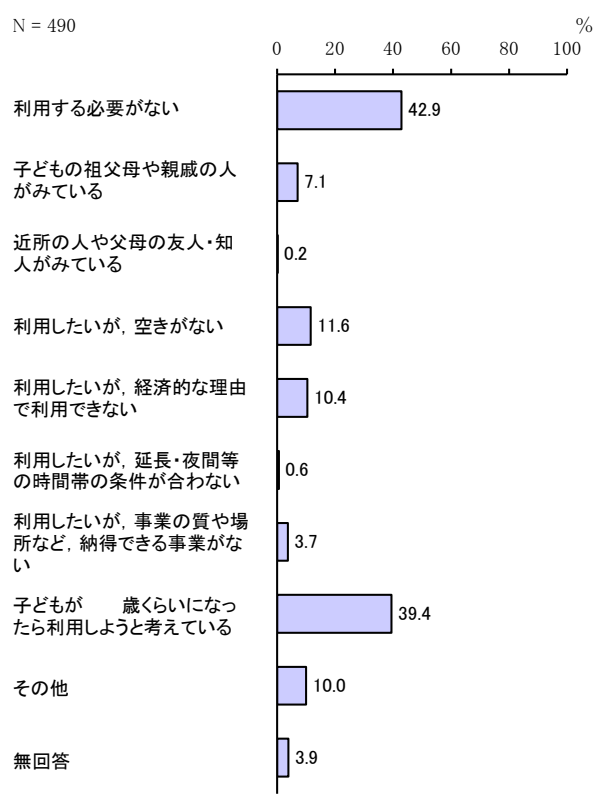
問 12-6 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの教育や発達のため」の割合が61.2%と最も高く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」の割合が43.4%となっています。



問12-7 問12で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「利用する必要がない」の割合が42.9%と最も高く、次いで「子どもが 歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が39.4%、「利用したいが、空きがない」の割合が11.6%となっています。



【年齢別】

「利用したいが、空きがない」に着目して、年齢別にみると、1歳が特に高くなっています。

	有効回答数	利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、空きがない	利用したいが、経済的な理由で利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもが 歳くらいになったら利用しようと考えている	その他	無回答
全体	490	210	35	1	57	51	3	18	193	49	19
	100.0	42.9	7.1	0.2	11.6	10.4	0.6	3.7	39.4	10.0	3.9
0歳	213	84	16	-	14	15	2	6	99	20	8
	100.0	39.4	7.5	-	6.6	7.0	0.9	2.8	46.5	9.4	3.8
1歳	106	50	9	-	26	19	-	6	38	6	1
	100.0	47.2	8.5	-	24.5	17.9	-	5.7	35.8	5.7	0.9
2歳	91	36	3	-	11	12	1	4	32	12	6
	100.0	39.6	3.3	-	12.1	13.2	1.1	4.4	35.2	13.2	6.6
3歳	66	33	5	1	5	5	-	2	18	11	4
	100.0	50.0	7.6	1.5	7.6	7.6	-	3.0	27.3	16.7	6.1
4歳	6	4	-	-	-	-	-	-	3	-	-
	100.0	66.7	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
5歳	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	66.7	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-

【中学校区別】

「利用したいが、空きがない」に着目して、中学校区別にみると、精道地区が高くなっています。

	有効回答数	利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、空きがない	利用したいが、経済的な理由で利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもが 歳くらいになったら利用しようと考えている	その他	無回答
全 体	490 100.0	210 42.9	35 7.1	1 0.2	57 11.6	51 10.4	3 0.6	18 3.7	193 39.4	49 10.0	19 3.9
山手	160 100.0	67 41.9	10 6.3	1 0.6	12 7.5	15 9.4	2 1.3	8 5.0	72 45.0	12 7.5	5 3.1
精道	154 100.0	71 46.1	9 5.8	- -	24 15.6	19 12.3	- -	3 1.9	59 38.3	13 8.4	4 2.6
潮見	173 100.0	69 39.9	16 9.2	- -	21 12.1	17 9.8	1 0.6	7 4.0	61 35.3	24 13.9	10 5.8

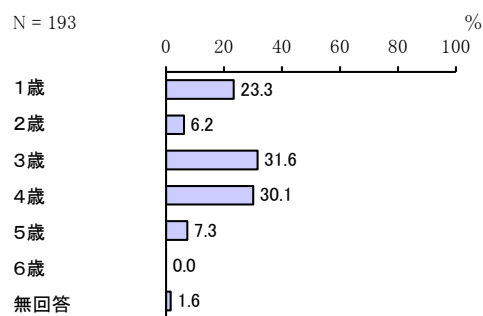
【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、未就労の方でも「利用したいが、空きがない」と回答している人がいます。

	有効回答数	利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、空きがない	利用したいが、経済的な理由で利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもが 歳くらいになったら利用しようと考えている	その他	無回答
全 体	490 100.0	210 42.9	35 7.1	1 0.2	57 11.6	51 10.4	3 0.6	18 3.7	193 39.4	49 10.0	19 3.9
フルタイム	81 100.0	16 19.8	10 12.3	- -	11 13.6	2 2.5	1 1.2	3 3.7	43 53.1	11 13.6	4 4.9
パート・アルバイト等	31 100.0	6 19.4	10 32.3	- -	5 16.1	3 9.7	- -	1 3.2	14 45.2	2 6.5	1 3.2
未就労	369 100.0	184 49.9	15 4.1	1 0.3	40 10.8	46 12.5	2 0.5	14 3.8	131 35.5	36 9.8	13 3.5

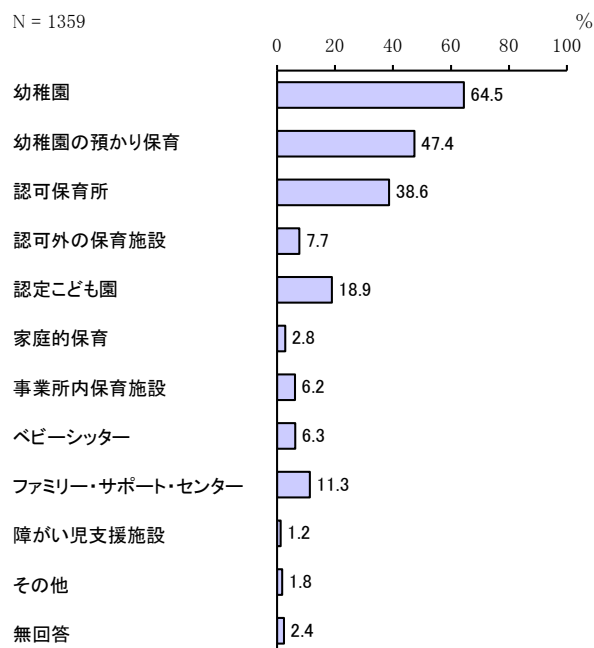
(1) 「子どもが 歳くらいになったら利用しようと考えている」人の子どもの年齢

「3歳」の割合が31.6%と最も高く、次いで「4歳」の割合が30.1%、「1歳」の割合が23.3%となっています。



問13 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園」の割合が64.5%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が47.4%、「認可保育所」の割合が38.6%となっています。



【定期的な教育・保育事業の利用の有無別】

定期的な教育・保育事業の利用の有無別にみると、現在事業を利用していない人で、「幼稚園」を回答している割合が高くなっています。

	有効回答数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外の保育施設	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	ベビーシッター	ファミリーサポートセンター	障がい児支援施設	その他	無回答
全 体	1359 100.0	877 64.5	644 47.4	525 38.6	105 7.7	257 18.9	38 2.8	84 6.2	85 6.3	153 11.3	16 1.2	25 1.8	33 2.4
利用している	866 100.0	512 59.1	399 46.1	350 40.4	62 7.2	141 16.3	24 2.8	53 6.1	61 7.0	101 11.7	15 1.7	14 1.6	23 2.7
利用していない	490 100.0	365 74.5	245 50.0	174 35.5	43 8.8	115 23.5	14 2.9	31 6.3	24 4.9	52 10.6	1 0.2	11 2.2	8 1.6

【年齢別】

年齢別にみると、すべての年齢で、「幼稚園」が最も高くなっています。0歳・1歳では「幼稚園」と「認可保育所」がそれぞれ約5割となっており、2歳以降では、「幼稚園」ニーズが高まり、3歳以上では、「幼稚園」が7割と高く、「認可保育所」は3割弱となっています。

	有効回答数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外の保育施設	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	ベビーシッター	ファミリーサポートセンター	障がい児支援施設	その他	無回答
全 体	1359 100.0	877 64.5	644 47.4	525 38.6	105 7.7	257 18.9	38 2.8	84 6.2	85 6.3	153 11.3	16 1.2	25 1.8	33 2.4
0歳	274 100.0	158 57.7	106 38.7	149 54.4	32 11.7	79 28.8	11 4.0	24 8.8	25 9.1	40 14.6	1 0.4	8 2.9	5 1.8
1歳	181 100.0	103 56.9	83 45.9	100 55.2	20 11.0	52 28.7	3 1.7	15 8.3	10 5.5	16 8.8	-	3 1.7	3 1.7
2歳	209 100.0	123 58.9	89 42.6	87 41.6	25 12.0	42 20.1	8 3.8	16 7.7	18 8.6	27 12.9	4 1.9	5 2.4	4 1.9
3歳	219 100.0	155 70.8	106 48.4	63 28.8	8 3.7	33 15.1	1 0.5	7 3.2	8 3.7	20 9.1	3 1.4	2 0.9	7 3.2
4歳	227 100.0	166 73.1	123 54.2	63 27.8	11 4.8	18 7.9	5 2.2	10 4.4	13 5.7	24 10.6	4 1.8	3 1.3	5 2.2
5歳	230 100.0	160 69.6	127 55.2	58 25.2	7 3.0	26 11.3	9 3.9	9 3.9	10 4.3	23 10.0	4 1.7	3 1.3	7 3.0

【中学校区別】

中学校区別にみると、山手地区では「幼稚園」の割合が67.2%と最も高くなっています。また、精道地区と潮見地区では、山手地区に比べ「認可保育所」の割合が4割を超えて高くなっています。

	有効回答数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外の保育施設	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	1359 100.0	877 64.5	644 47.4	525 38.6	105 7.7	257 18.9	38 2.8	84 6.2	85 6.3	153 11.3	16 1.2	25 1.8	33 2.4
山手	467 100.0	314 67.2	218 46.7	145 31.0	56 12.0	94 20.1	16 3.4	40 8.6	46 9.9	61 13.1	6 1.3	10 2.1	12 2.6
精道	437 100.0	268 61.3	210 48.1	193 44.2	24 5.5	84 19.2	10 2.3	24 5.5	17 3.9	52 11.9	5 1.1	7 1.6	8 1.8
潮見	443 100.0	287 64.8	211 47.6	184 41.5	24 5.4	77 17.4	11 2.5	20 4.5	21 4.7	39 8.8	5 1.1	8 1.8	12 2.7

【母親の就労状況別】

母親の就労形態別にみると、他の就労形態に比べ、フルタイムで特に「認可保育所」が高く、次いで、「認可外の保育施設」、「ベビーシッター」、「ファミリー・サポート・センター」が高くなっています。また、パート・アルバイト等で「幼稚園」が最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が高くなっており、全体傾向と比べ、「認定こども園」も高くなっています。

	有効回答数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外の保育施設	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	1358 100.0	877 64.6	644 47.4	524 38.6	105 7.7	257 18.9	38 2.8	84 6.2	85 6.3	153 11.3	16 1.2	25 1.8	33 2.4
フルタイム	366 100.0	70 19.1	74 20.2	293 80.1	40 10.9	80 21.9	11 3.0	33 9.0	40 10.9	65 17.8	4 1.1	4 1.1	6 1.6
パート・アルバイト等	208 100.0	137 65.9	118 56.7	88 42.3	9 4.3	47 22.6	5 2.4	13 6.3	9 4.3	22 10.6	1 0.5	6 2.9	8 3.8
未就労	759 100.0	653 86.0	436 57.4	137 18.1	54 7.1	127 16.7	22 2.9	36 4.7	36 4.7	65 8.6	11 1.4	15 2.0	16 2.1

【パートタイムの母親のフルタイムへの転換希望別】

パートタイムの母親のフルタイムへの転換希望別にみると、認可保育所を希望している人のうち、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた“フルタイムへの転換希望がある”と回答している人は、39.8%（35件／88件）と高くなっているものの、「実現できる見込みがある」の割合は、12.5%（11件／88件）となっています。

	有効回答数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外の保育施設	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	208 100.0	137 65.9	118 56.7	88 42.3	9 4.3	47 22.6	5 2.4	13 6.3	9 4.3	22 10.6	1 0.5	6 2.9	8 3.8
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	24 100.0	11 45.8	8 33.3	11 45.8	1 4.2	8 33.3	-	2 8.3	1 4.2	1 4.2	-	2 8.3	2 8.3
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	41 100.0	28 68.3	30 73.2	24 58.5	1 2.4	7 17.1	2 4.9	6 14.6	2 4.9	5 12.2	-	2 4.9	-
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	114 100.0	82 71.9	66 57.9	42 36.8	5 4.4	26 22.8	2 1.8	3 2.6	4 3.5	12 10.5	1 0.9	2 1.8	4 3.5
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	6 100.0	5 83.3	3 50.0	2 33.3	-	2 33.3	-	2 33.3	-	1 16.7	-	-	-

【未就労の母親の就労希望別】

未就労の母親の就労希望別にみると、「認可保育所」を希望している人で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が37.2%（51件／137件）となっています。

	有効回答数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外の保育施設	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	759 100.0	653 86.0	436 57.4	137 18.1	54 7.1	127 16.7	22 2.9	36 4.7	36 4.7	65 8.6	11 1.4	15 2.0	16 2.1
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	226 100.0	199 88.1	106 46.9	20 8.8	15 6.6	18 8.0	6 2.7	6 2.7	13 5.8	17 7.5	6 2.7	7 3.1	8 3.5
1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい	310 100.0	268 86.5	196 63.2	50 16.1	21 6.8	64 20.6	9 2.9	14 4.5	16 5.2	34 11.0	5 1.6	6 1.9	4 1.3
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	121 100.0	98 81.0	87 71.9	51 42.1	9 7.4	32 26.4	5 4.1	10 8.3	5 4.1	8 6.6	-	-	1 0.8

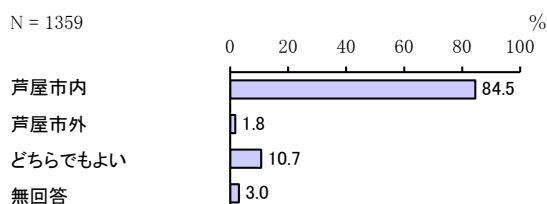
【利用している定期的な教育・保育事業別】

利用している定期的な教育・保育事業別にみると、「幼稚園」、「認可保育所」を現在利用している人は、利用希望も同一の施設を希望している割合が最も高くなっています。一方で、「認可外の保育施設」を利用している人は、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「認可保育所」を希望している割合が高くなっています。

		希望している定期的な教育・保育事業											
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外の保育施設	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
利用している定期的な教育・保育事業	幼稚園	372 92.1	264 65.3	33 8.2	10 2.5	45 11.1	9 2.2	14 3.5	12 3.0	29 7.2	4 1.0	4 1.0	8 2.0
	幼稚園の預かり保育	168 91.8	164 89.6	18 9.8	2 1.1	20 10.9	6 3.3	5 2.7	7 3.8	17 9.3	1 0.5	2 1.1	5 2.7
	認可保育所	48 16.3	62 21.1	257 87.4	13 4.4	51 17.3	7 2.4	29 9.9	32 10.9	51 17.3	4 1.4	4 1.4	7 2.4
	認可外の保育施設	53 49.1	43 39.8	46 42.6	38 35.2	30 27.8	4 3.7	2 1.9	9 8.3	11 10.2	-	2 1.9	4 3.7
	認定こども園	7 63.6	6 54.5	3 27.3	2 18.2	7 63.6	2 18.2	1 9.1	3 27.3	2 18.2	-	-	-
	家庭的保育	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-
	事業所内保育施設	4 44.4	3 33.3	7 77.8	2 22.2	3 33.3	-	5 55.6	1 11.1	2 22.2	-	-	-
	ベビーシッター	2 50.0	2 50.0	2 50.0	-	1 25.0	-	-	2 50.0	2 50.0	-	-	-
	ファミリー・サポート・センター	11 50.0	10 45.5	9 40.9	-	4 18.2	1 4.5	1 4.5	4 18.2	14 63.6	-	1 4.5	1 4.5
	障がい児支援施設	8 80.0	8 80.0	2 20.0	1 10.0	4 40.0	1 10.0	-	-	2 20.0	8 80.0	1 10.0	-
	その他	15 60.0	11 44.0	5 20.0	2 8.0	5 20.0	-	1 4.0	2 8.0	4 16.0	-	4 16.0	3 12.0

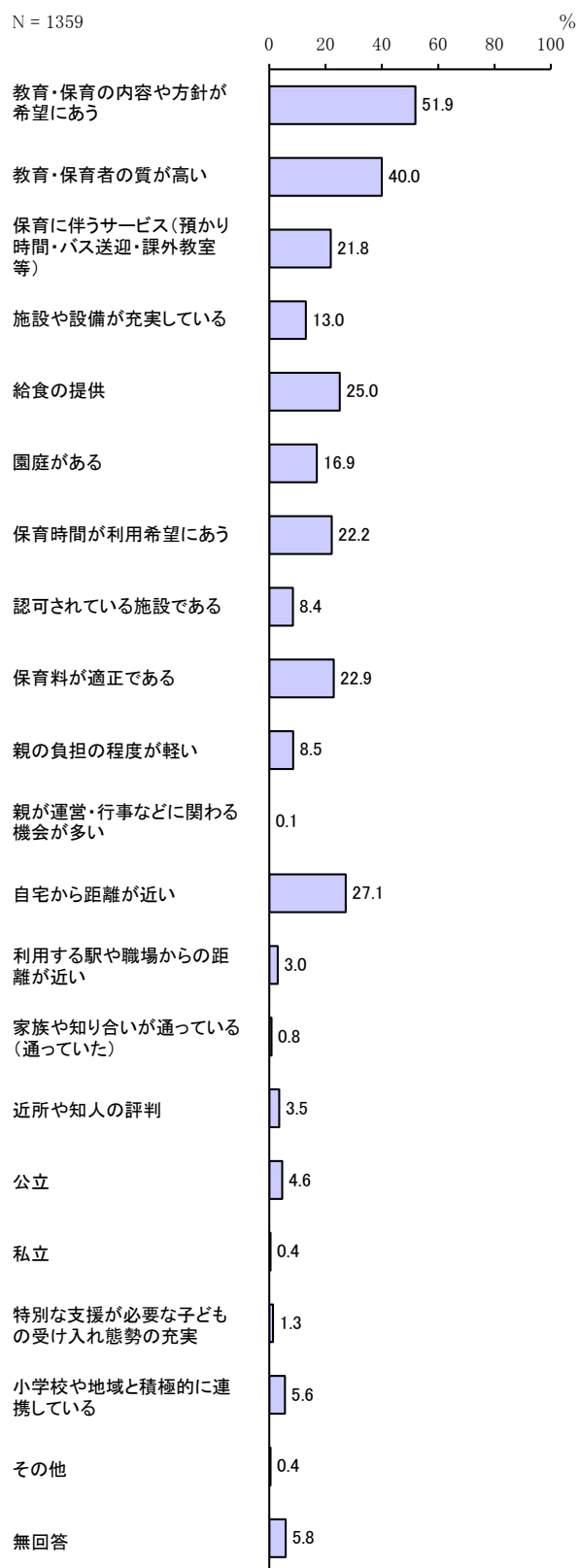
問 13-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「芦屋市内」の割合が84.5%と最も高く、次いで「どちらでもよい」の割合が10.7%となっています。



問 13-2 今後、新たに教育・保育事業を選ぶことを想定した場合、重視することはどのようなことですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「教育・保育の内容や方針が希望にあう」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「教育・保育者の質が高い」の割合が 40.0%、「自宅から距離が近い」の割合が 27.1%となっています。



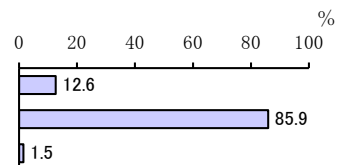
(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 14 お子さんは、現在、呉川町の子育てセンターで実施している、つどいのひろば「むくむく」を利用していますか。

「利用している」の割合が 12.6%、「利用していない」の割合が 85.9%となっています。

N = 1359

利用している
利用していない
無回答



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「利用している」の割合が低くなっています。

	有効回答数	利用している	利用していない	無回答
全体	1359	171	1168	20
	100.0	12.6	85.9	1.5
0歳	274	80	190	4
	100.0	29.2	69.3	1.5
1歳	181	49	129	3
	100.0	27.1	71.3	1.7
2歳	209	23	185	1
	100.0	11.0	88.5	0.5
3歳	219	14	202	3
	100.0	6.4	92.2	1.4
4歳	227	2	220	5
	100.0	0.9	96.9	2.2
5歳	230	1	225	4
	100.0	0.4	97.8	1.7

【中学校区別】

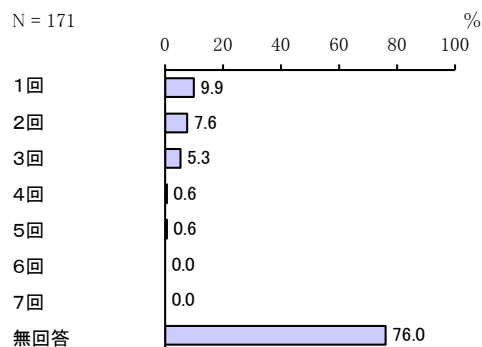
中学校区別にみると、山手地区で「利用していない」の割合が高く、89.9% (420件/467件) となっています。

	有効回答数	利用している	利用していない	無回答
全体	1359	171	1168	20
	100.0	12.6	85.9	1.5
山手	467	40	420	7
	100.0	8.6	89.9	1.5
精道	437	72	360	5
	100.0	16.5	82.4	1.1
潮見	443	57	378	8
	100.0	12.9	85.3	1.8

(1) 「つどいのひろば「むくむく」」を利用している人の利用回数

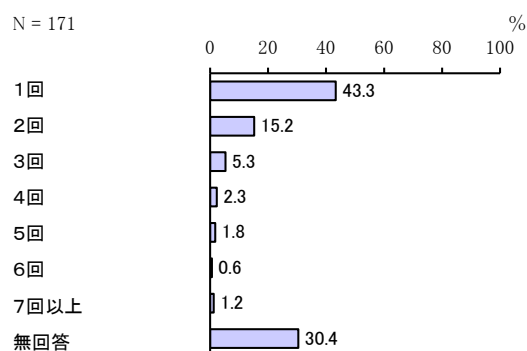
① 1週当たりの利用回数

「1回」の割合が9.9%と最も高くなっています。



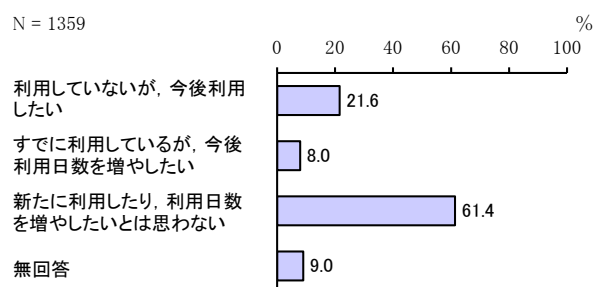
② 1か月当たりの利用回数

「1回」の割合が43.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が15.2%となっています。



問15 問14のようなつどいのひろばについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思いませんか。

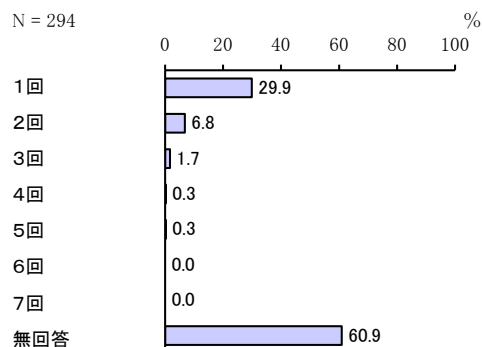
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が61.4%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が21.6%となっています。



(1) 「利用していないが、今後利用したい」人の利用回数

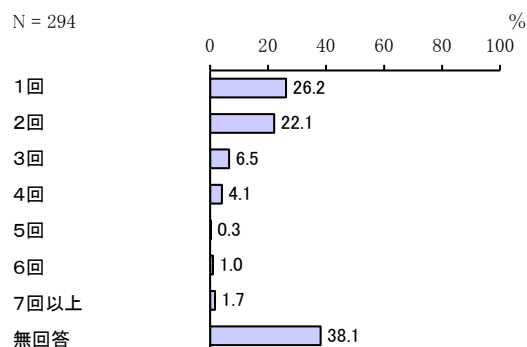
① 1週当たりの利用回数

「1回」の割合が29.9%と最も高くなっています。



② 1か月当たりの利用回数

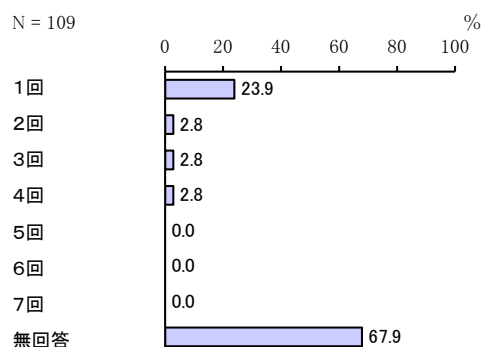
「1回」の割合が26.2%と最も高く、次いで「2回」の割合が22.1%となっています。



(2) 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の利用回数

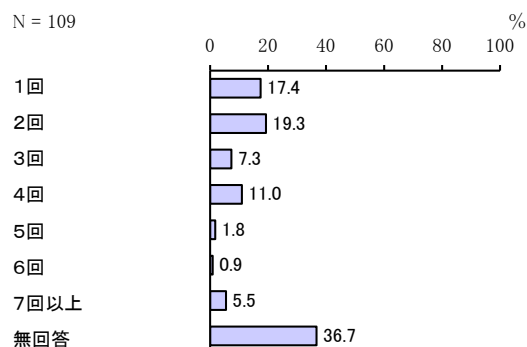
① 1週当たりの利用回数

「1回」の割合が23.9%と最も高くなっています。



② 1か月当たりの利用回数

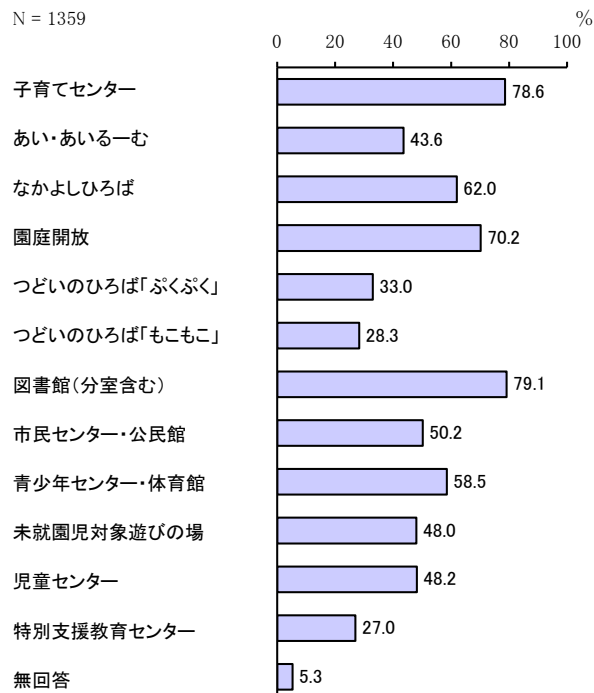
「2回」の割合が19.3%と最も高く、次いで「1回」の割合が17.4%、「4回」の割合が11.0%となっています。



問 16 下記の施設や事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

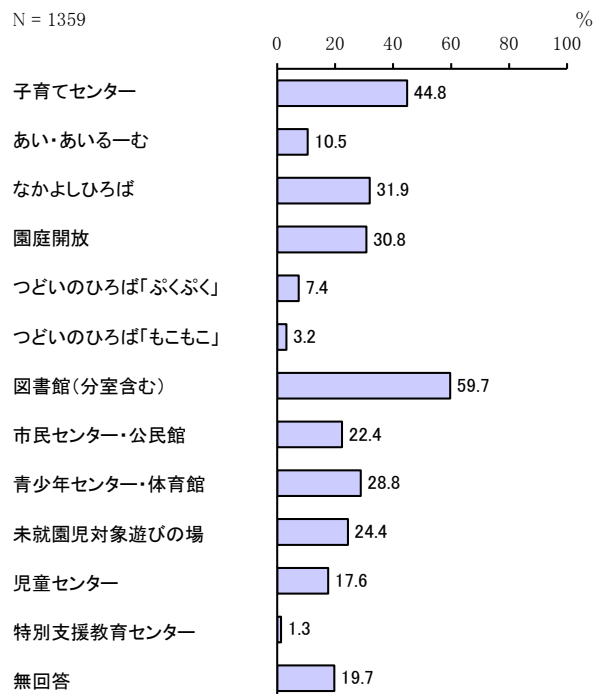
(1) 認知度

「図書館（分室含む）」の割合が 79.1%と最も高く、次いで「子育てセンター」の割合が 78.6%、「園庭開放」の割合が 70.2%となっています。



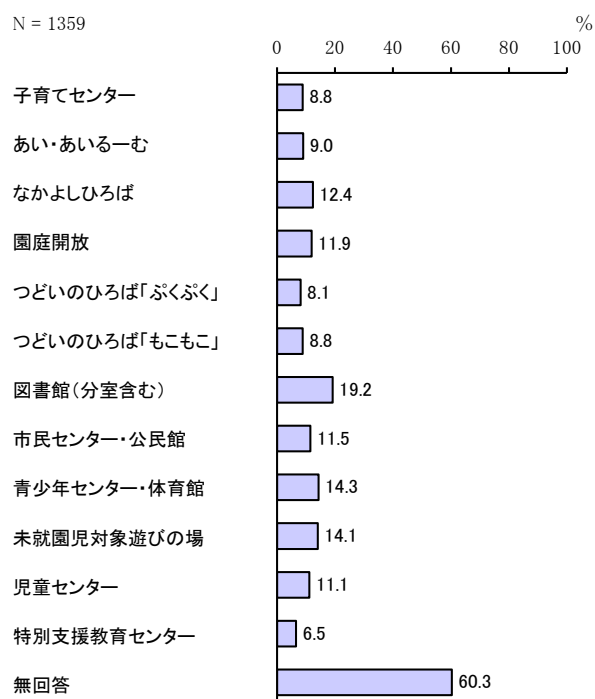
(2) 利用状況

「図書館（分室含む）」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「子育てセンター」の割合が 44.8%、「なかよしひろば」の割合が 31.9%となっています。



(3) 利用希望

「図書館（分室含む）」の割合が 19.2%と最も高く、次いで「青少年センター・体育館」の割合が 14.3%、「未就園児対象遊びの場」の割合が 14.1%となっています。

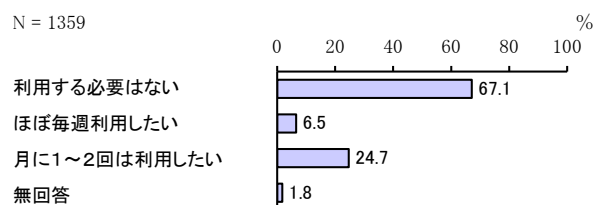


(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 17 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。

(1) 土曜日

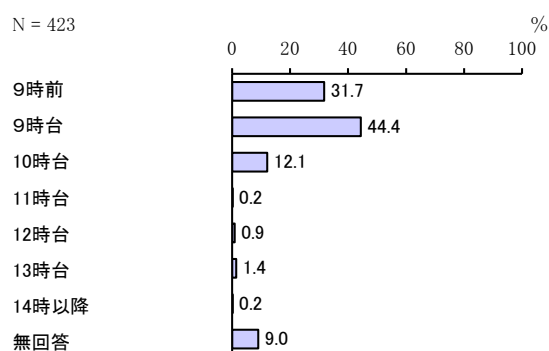
「利用する必要はない」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 24.7%となっています。



① 利用したい時間帯

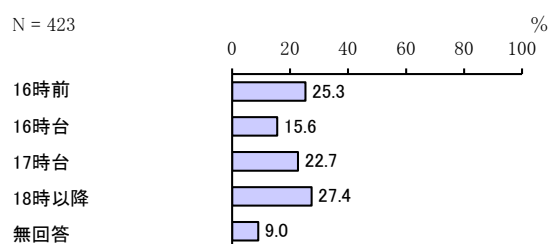
ア 開始時間

「9時台」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「9時前」の割合が 31.7%、「10時台」の割合が 12.1%となっています。



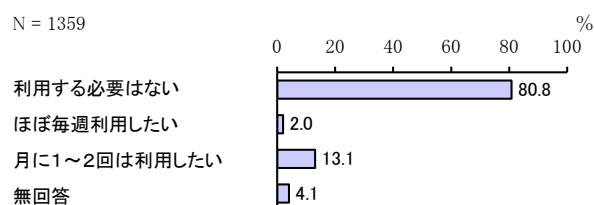
イ 終了時間

「18時以降」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「16時前」の割合が 25.3%、「17時台」の割合が 22.7%となっています。



(2) 日曜日・祝日

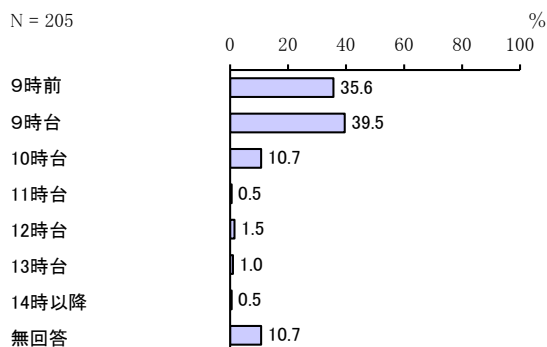
「利用する必要はない」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 13.1%となっています。



① 利用したい時間帯

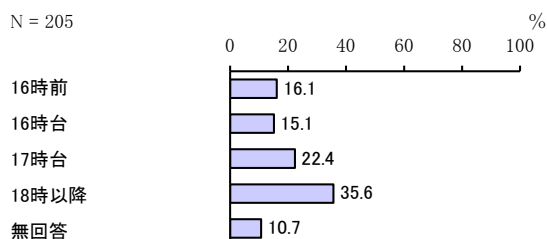
ア 開始時間

「9時台」の割合が39.5%と最も高く、次いで「9時前」の割合が35.6%、「10時台」の割合が10.7%となっています。



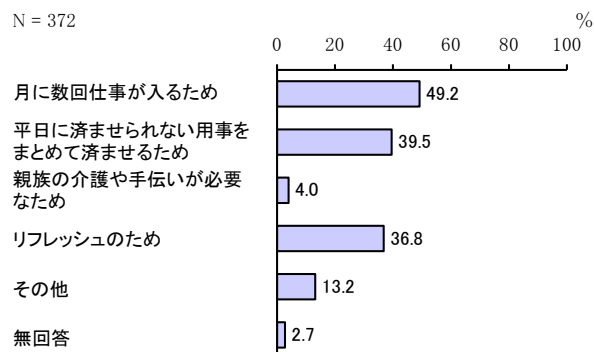
イ 終了時間

「18時以降」の割合が35.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が22.4%、「16時前」の割合が16.1%となっています。



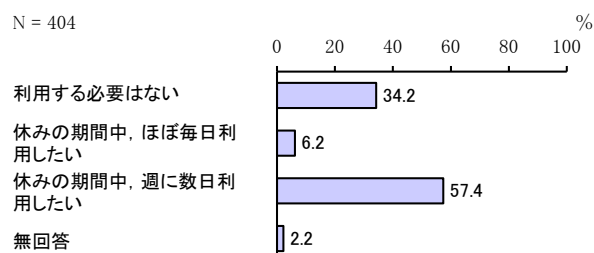
問17-1 問17の(1)または(2)で、「3月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、月に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」の割合が49.2%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が39.5%、「リフレッシュのため」の割合が36.8%となっています。



問18 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育事業の利用を希望しますか。該当する番号に○をつけてください。

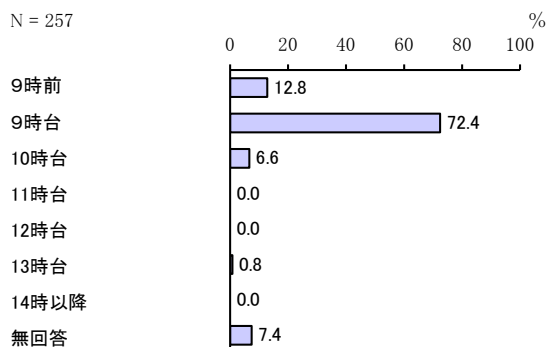
「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が57.4%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が34.2%となっています。



(1) 利用したい時間帯

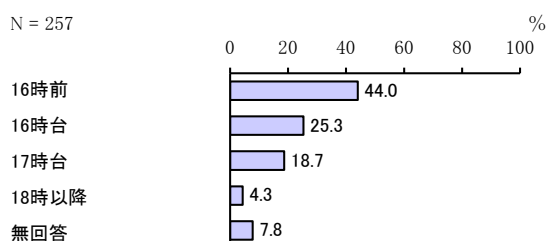
① 開始時間

「9時台」の割合が72.4%と最も高く、次いで「9時前」の割合が12.8%となっています。



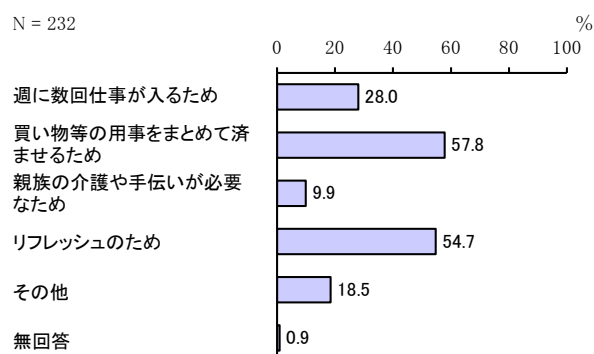
② 終了時間

「16時前」の割合が44.0%と最も高く、次いで「16時台」の割合が25.3%、「17時台」の割合が18.7%となっています。



問18-1 問18で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が57.8%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」の割合が54.7%、「週に数回仕事が入るため」の割合が28.0%となっています。



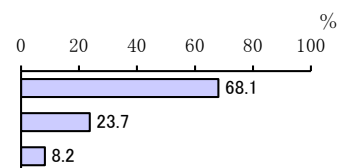
(8) 子どもの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 19 問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」の割合が 68.1%、「なかった」の割合が 23.7%となっています。

N = 866

あった
なかった
無回答



【年齢別】

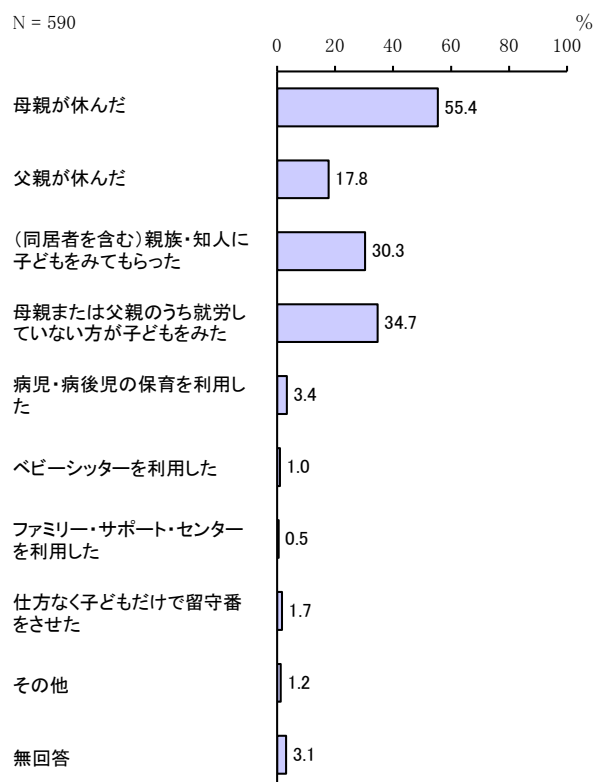
年齢別にみると、1歳で「あった」の割合が高く、89.3%（67件／75件）となっています。

	有効回答数	あった	なかった	無回答
全 体	866 100.0	590 68.1	205 23.7	71 8.2
0歳	60 100.0	38 63.3	16 26.7	6 10.0
1歳	75 100.0	67 89.3	5 6.7	3 4.0
2歳	118 100.0	82 69.5	26 22.0	10 8.5
3歳	152 100.0	112 73.7	27 17.8	13 8.6
4歳	221 100.0	133 60.2	70 31.7	18 8.1
5歳	226 100.0	149 65.9	58 25.7	19 8.4

問19-1 問19で「1. あった」に○をつけた方にかがいます。お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数を数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

(1) 1年間の対処方法

「母親が休んだ」の割合が55.4%と最も高く、次いで「母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が34.7%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が30.3%となっています。



【年齢別】

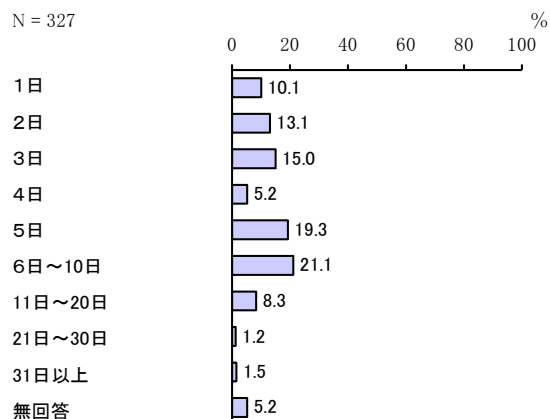
年齢別にみると、1歳で「母親が休んだ」の割合が高く85.1% (57件/67件) となっています。また、「病児・病後児の保育を利用した」に着目すると0～2歳の割合が高くなっています。

	有効回答数	母親が休んだ	父親が休んだ	子どもをみてもらった (同居者を含む)親族・知人に	母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	590	327	105	179	205	20	6	3	10	7	18
	100.0	55.4	17.8	30.3	34.7	3.4	1.0	0.5	1.7	1.2	3.1
0歳	38	27	9	12	9	3	-	-	-	2	-
	100.0	71.1	23.7	31.6	23.7	7.9	-	-	-	5.3	-
1歳	67	57	17	31	7	5	3	1	-	-	2
	100.0	85.1	25.4	46.3	10.4	7.5	4.5	1.5	-	-	3.0
2歳	82	54	21	37	23	6	-	1	1	-	3
	100.0	65.9	25.6	45.1	28.0	7.3	-	1.2	1.2	-	3.7
3歳	112	61	20	36	38	2	2	-	1	-	4
	100.0	54.5	17.9	32.1	33.9	1.8	1.8	-	0.9	-	3.6
4歳	133	59	21	28	57	1	1	1	5	2	3
	100.0	44.4	15.8	21.1	42.9	0.8	0.8	0.8	3.8	1.5	2.3
5歳	149	64	15	31	69	3	-	-	3	3	6
	100.0	43.0	10.1	20.8	46.3	2.0	-	-	2.0	2.0	4.0

(2) 対処方法別日数

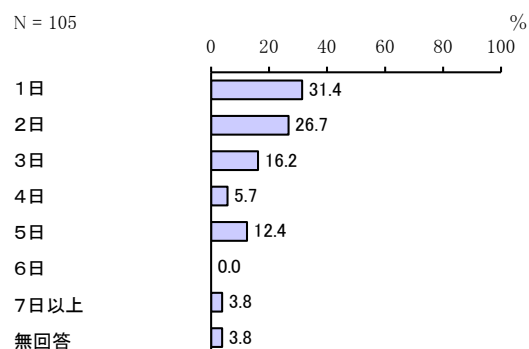
① 母親が休んだ

「6日～10日」の割合が21.1%と最も高く、次いで「5日」の割合が19.3%、「3日」の割合が15.0%となっています。



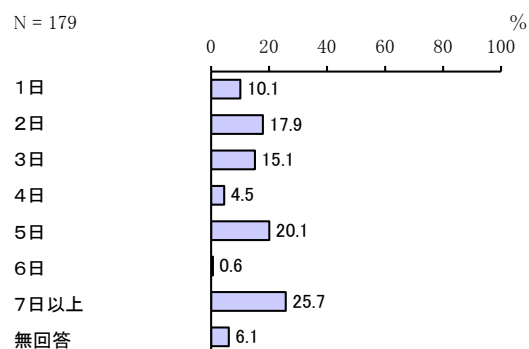
② 父親が休んだ

「1日」の割合が31.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が26.7%、「3日」の割合が16.2%となっています。



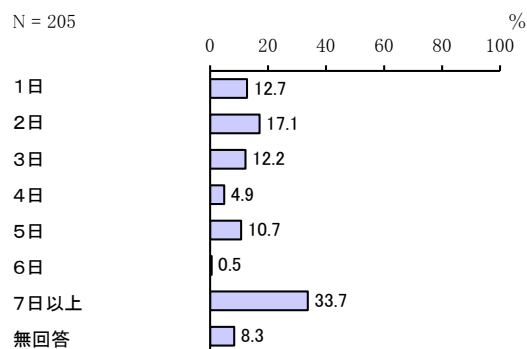
③ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった

「7日以上」の割合が25.7%と最も高く、次いで「5日」の割合が20.1%、「2日」の割合が17.9%となっています。



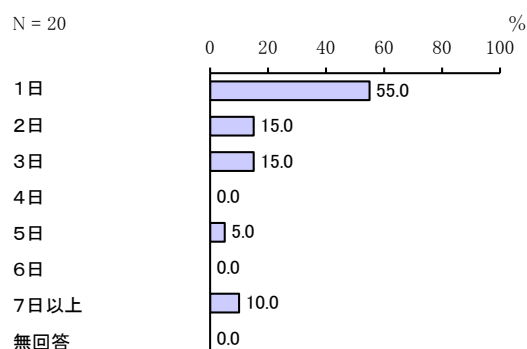
④ 母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた

「7日以上」の割合が33.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.1%、「1日」の割合が12.7%となっています。



⑤ 病児・病後児の保育を利用した

「1日」の割合が55.0%と最も高く、次いで「2日」、「3日」の割合が15.0%となっています。



⑥ ベビーシッターを利用した

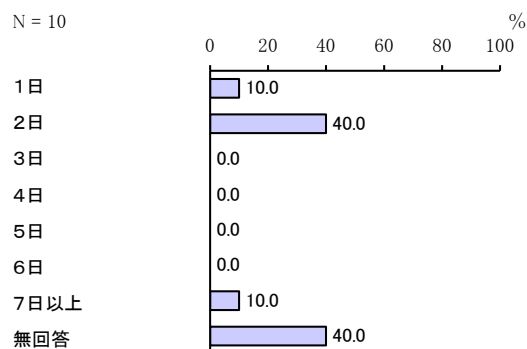
「2日」が2件、「1日」、「3日」、「5日」、「7日以上」が1件となっています。

⑦ ファミリー・サポート・センターを利用した

「1日」、「5日」、「7日以上」が1件となっています。

⑧ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「2日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「1日」、「7日以上」の割合が10.0%となっています。

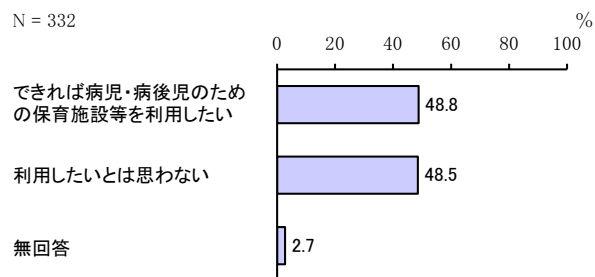


⑨ その他

「1日」、「2日」、「7日以上」が2件となっています。

問 19-2 問 19-1 で「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」のどちらかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその日数についてもご記入ください。

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」の割合が 48.8%、「利用したいとは思わない」の割合が 48.5%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が低いほど「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」の割合が高くなる傾向にあります。

	有効回答数	できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい (%)	利用したいとは思わない (%)	無回答 (%)
全 体	332 100.0	162 48.8	161 48.5	9 2.7
0歳	28 100.0	18 64.3	7 25.0	3 10.7
1歳	58 100.0	29 50.0	28 48.3	1 1.7
2歳	55 100.0	31 56.4	21 38.2	3 5.5
3歳	61 100.0	33 54.1	28 45.9	- -
4歳	60 100.0	24 40.0	35 58.3	1 1.7
5歳	65 100.0	25 38.5	39 60.0	1 1.5

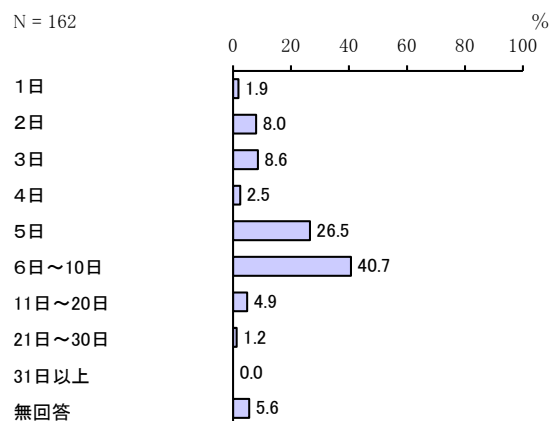
【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムで「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」の割合が高く、53.8%（113件／210件）となっています。

	有効回答数	できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全体	332 100.0	162 48.8	161 48.5	9 2.7
フルタイム	210 100.0	113 53.8	92 43.8	5 2.4
パート・アルバイト等	98 100.0	41 41.8	55 56.1	2 2.0
未就労	22 100.0	8 36.4	12 54.5	2 9.1

（１）できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい日数

「6日～10日」の割合が40.7%と最も高く、次いで「5日」の割合が26.5%となっています。

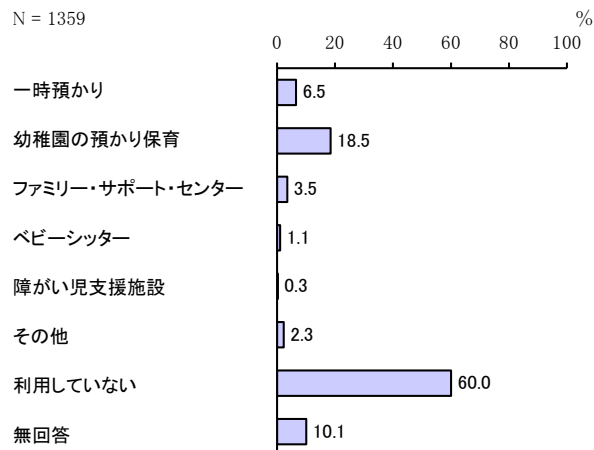


(9) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問 20 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数をご記入ください。

(1) 利用している事業

「利用していない」の割合が60.0%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が18.5%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、4歳、5歳で「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。また、1歳で「一時預かり」の割合が高く、12.7% (23件/181件) となっています。

	有効回答数	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター	障がい児支援施設	その他	利用していない	無回答
全 体	1359 100.0	89 6.5	252 18.5	47 3.5	15 1.1	4 0.3	31 2.3	816 60.0	137 10.1
0歳	274 100.0	13 4.7	6 2.2	13 4.7	6 2.2	1 0.4	7 2.6	203 74.1	31 11.3
1歳	181 100.0	23 12.7	2 1.1	9 5.0	1 0.6	-	4 2.2	121 66.9	26 14.4
2歳	209 100.0	15 7.2	5 2.4	11 5.3	2 1.0	-	5 2.4	151 72.2	23 11.0
3歳	219 100.0	17 7.8	32 14.6	4 1.8	4 1.8	1 0.5	7 3.2	139 63.5	21 9.6
4歳	227 100.0	6 2.6	87 38.3	3 1.3	2 0.9	1 0.4	2 0.9	109 48.0	21 9.3
5歳	230 100.0	15 6.5	117 50.9	5 2.2	-	1 0.4	4 1.7	82 35.7	13 5.7

【中学校区別】

中学校区別にみると、山手地区、精道地区で「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。

	有効回答数	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター	障がい児支援施設	その他	利用していない	無回答
全 体	1359 100.0	89 6.5	252 18.5	47 3.5	15 1.1	4 0.3	31 2.3	816 60.0	137 10.1
山手	467 100.0	36 7.7	100 21.4	25 5.4	8 1.7	1 0.2	15 3.2	262 56.1	39 8.4
精道	437 100.0	30 6.9	83 19.0	14 3.2	4 0.9	1 0.2	11 2.5	251 57.4	51 11.7
潮見	443 100.0	23 5.2	68 15.3	8 1.8	2 0.5	2 0.5	3 0.7	297 67.0	45 10.2

【母親の就労状況別】

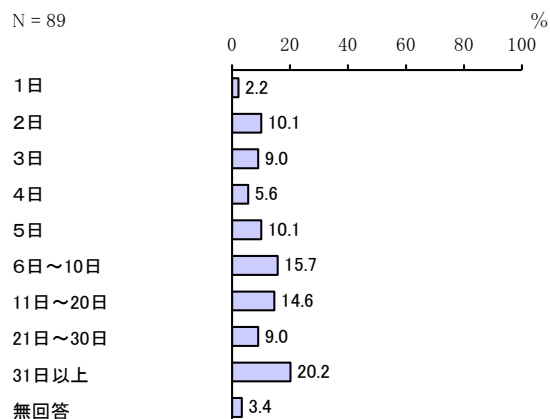
母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等で「幼稚園の預かり保育」の割合が高く、27.4%（57件／208件）となっています。

	有効回答数	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター	障がい児支援施設	その他	利用していない	無回答
全 体	1358 100.0	89 6.6	252 18.6	47 3.5	15 1.1	4 0.3	31 2.3	816 60.1	136 10.0
フルタイム	366 100.0	12 3.3	7 1.9	17 4.6	8 2.2	-	7 1.9	280 76.5	40 10.9
パート・アルバイト等	208 100.0	21 10.1	57 27.4	7 3.4	1 0.5	-	3 1.4	99 47.6	27 13.0
未就労	759 100.0	56 7.4	184 24.2	22 2.9	6 0.8	4 0.5	20 2.6	421 55.5	66 8.7

(2) 利用している事業別年間日数

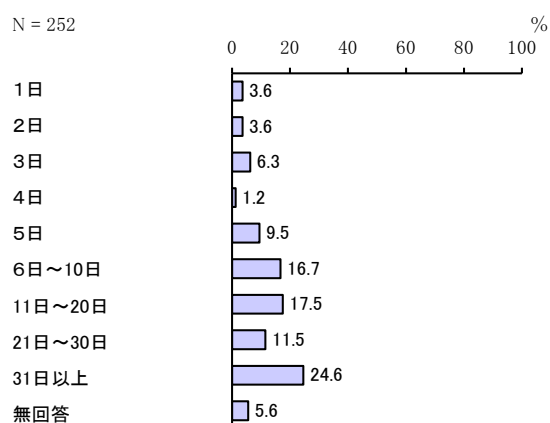
① 一時預かり

「31日以上」の割合が20.2%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が15.7%、「11日～20日」の割合が14.6%となっています。



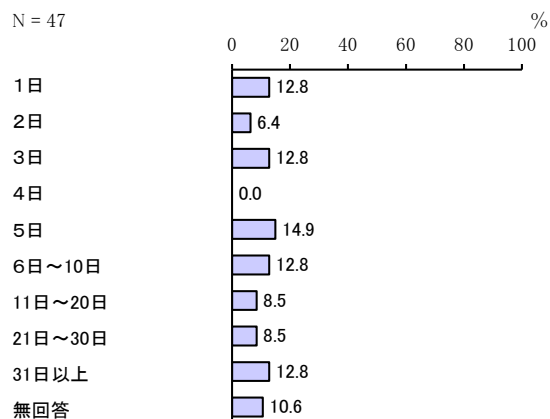
② 幼稚園の預かり保育

「31日以上」の割合が24.6%と最も高く、次いで「11日～20日」の割合が17.5%、「6日～10日」の割合が16.7%となっています。



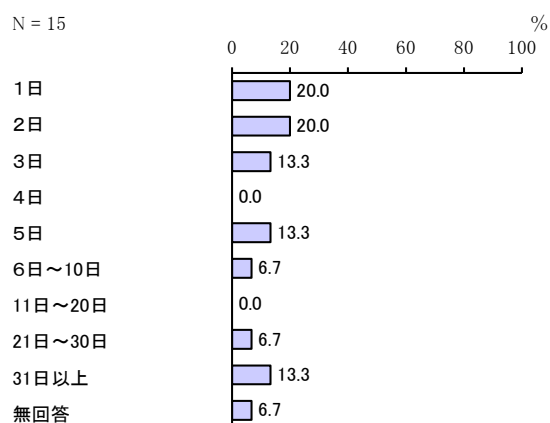
③ ファミリー・サポート・センター

「5日」の割合が14.9%と最も高く、次いで「1日」、「3日」、「6日～10日」、「31日以上」の割合が12.8%となっています。



④ ベビーシッター

「1日」、「2日」の割合が20.0%と最も高く、次いで、「3日」、「5日」、「31日以上」の割合が13.3%となっています。

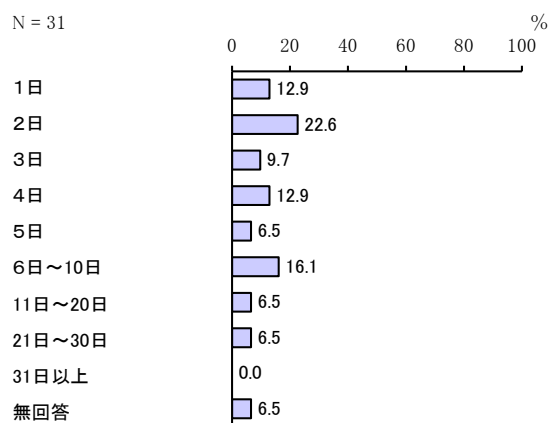


⑤ 障がい児支援施設

「31日以上」が2件、「6日～10日」が1件となっています。

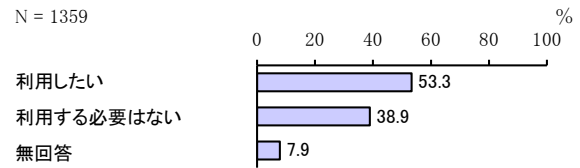
⑥ その他

「2日」の割合が22.6%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が16.1%、「1日」、「4日」の割合が12.9%となっています。



問 21 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、1年間で何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。

「利用したい」の割合が 53.3%、「利用する必要はない」の割合が 38.9%となっています。



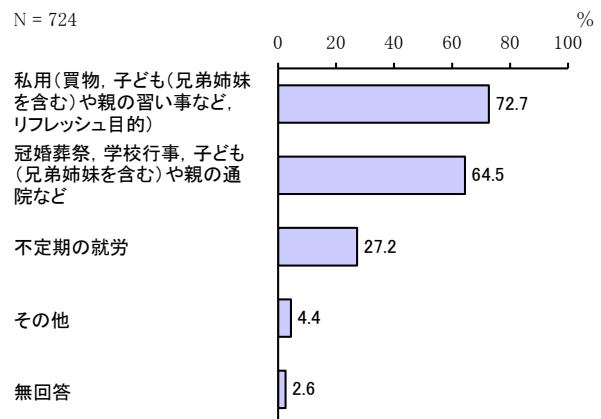
【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、未就労で「利用したい」の割合が高く、58.0%（440件／759件）となっています。

	有効回答数	利用したい	利用する必要はない	無回答
全 体	1358	724	528	106
	100.0	53.3	38.9	7.8
フルタイム	366	157	173	36
	100.0	42.9	47.3	9.8
パート・アルバイト等	208	117	70	21
	100.0	56.3	33.7	10.1
未就労	759	440	271	48
	100.0	58.0	35.7	6.3

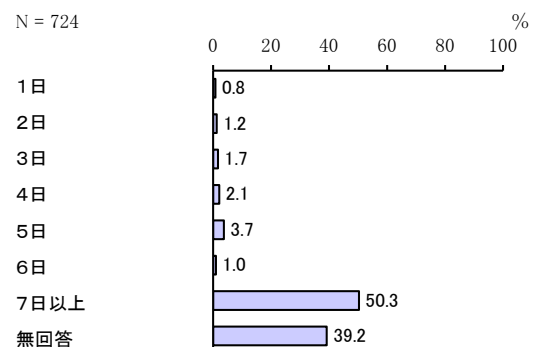
（１）利用したい目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など、リフレッシュ目的）」の割合が 72.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」の割合が 64.5%、「不定期の就労」の割合が 27.2%となっています。



（２）利用したい合計日数

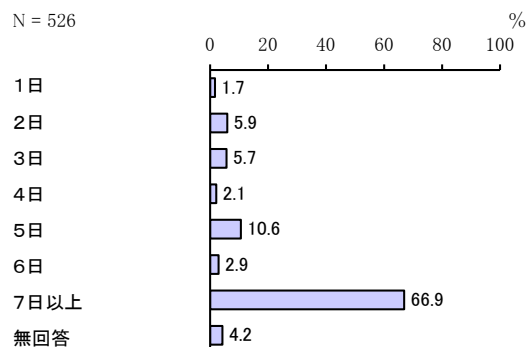
「7日以上」の割合が 50.3%と最も高くなっています。



(3) 利用したい目的別合計日数

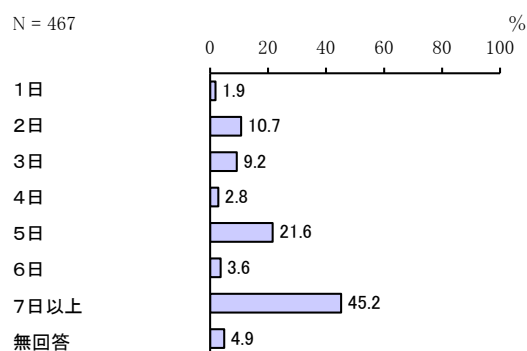
① 私用（買物，子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など，リフレッシュ目的）

「7日以上」の割合が66.9%と最も高く，次いで「5日」の割合が10.6%となっています。



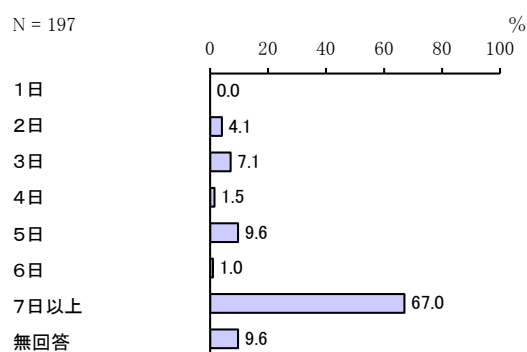
② 冠婚葬祭，学校行事，子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など

「7日以上」の割合が45.2%と最も高く，次いで「5日」の割合が21.6%，「2日」の割合が10.7%となっています。



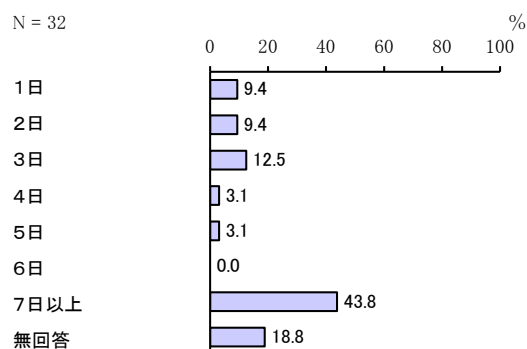
③ 不定期の就労

「7日以上」の割合が67.0%と最も高くなっています。



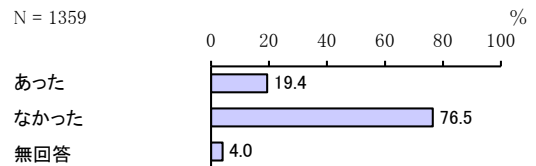
④ その他

「7日以上」の割合が43.8%と最も高く，次いで「3日」の割合が12.5%となっています。



問 22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその日数をご記入ください。

「あった」の割合が19.4%、「なかった」の割合が76.5%となっています。



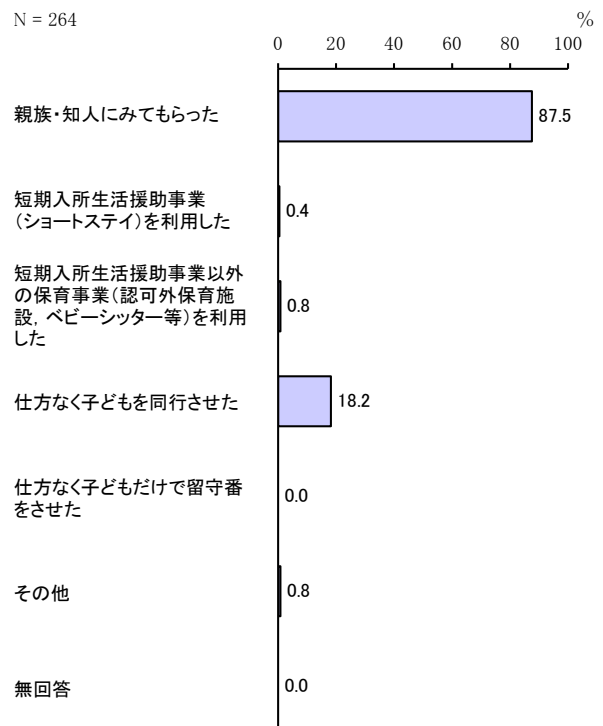
【年齢別】

年齢別にみると、2歳、3歳、5歳で「あった」の割合が高くなっています。

	有効回答数	あった	なかった	無回答
全 体	1359 100.0	264 19.4	1040 76.5	55 4.0
0歳	274 100.0	44 16.1	217 79.2	13 4.7
1歳	181 100.0	35 19.3	136 75.1	10 5.5
2歳	209 100.0	42 20.1	159 76.1	8 3.8
3歳	219 100.0	48 21.9	167 76.3	4 1.8
4歳	227 100.0	42 18.5	176 77.5	9 4.0
5歳	230 100.0	50 21.7	171 74.3	9 3.9

(1) 1年間の対処方法

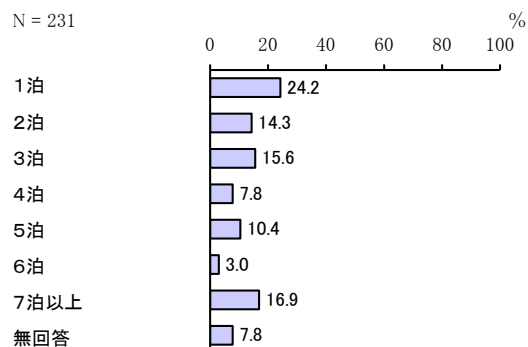
「親族・知人にみてもらった」の割合が87.5%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が18.2%となっています。



(2) 1年間の対処方法別日数

① 親族・知人にみてもらった

「1泊」の割合が24.2%と最も高く、次いで「7泊以上」の割合が16.9%、「3泊」の割合が15.6%となっています。



② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した

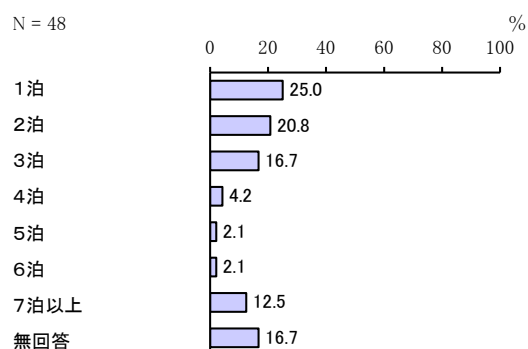
「2泊」が1件となっています。

③ 短期入所生活援助事業以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した

「2泊」が1件となっています。

④ 仕方なく子どもを同行させた

「1泊」の割合が25.0%と最も高く、次いで「2泊」の割合が20.8%、「3泊」の割合が16.7%となっています。



⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

有効回答はありません。

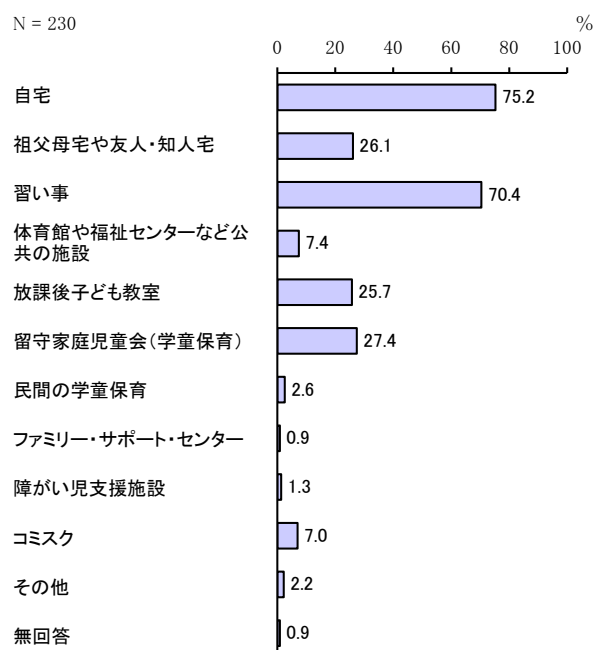
⑥ その他

「7泊以上」が1件となっています。

(10) 放課後の過ごし方について

問 23 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。

「自宅」の割合が 75.2%と最も高く、次いで「習い事」の割合が 70.4%、「留守家庭児童会（学童保育）」の割合が 27.4%となっています。



【中学校区別】

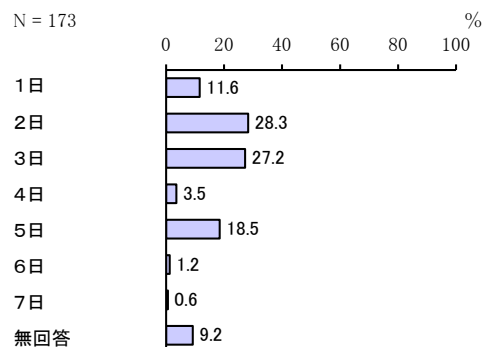
中学校区別にみると、精道地区、潮見地区で「留守家庭児童会（学童保育）」の割合が高く、30%を超えています。

	有効回答数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	体育館や福祉センターなど公共の施設	放課後子ども教室	留守家庭児童会(学童保育)	民間の学童保育	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	コミスク	その他	無回答
全 体	230 100.0	173 75.2	60 26.1	162 70.4	17 7.4	59 25.7	63 27.4	6 2.6	2 0.9	3 1.3	16 7.0	5 2.2	2 0.9
山手	75 100.0	66 88.0	19 25.3	59 78.7	5 6.7	21 28.0	10 13.3	1 1.3	-	3 4.0	7 9.3	1 1.3	-
精道	78 100.0	55 70.5	24 30.8	51 65.4	7 9.0	17 21.8	25 32.1	2 2.6	1 1.3	-	5 6.4	3 3.8	1 1.3
潮見	76 100.0	51 67.1	17 22.4	51 67.1	4 5.3	21 27.6	28 36.8	3 3.9	1 1.3	-	4 5.3	1 1.3	1 1.3

(1) 放課後の時間の過ごさせたい場所別週当たりの利用日数

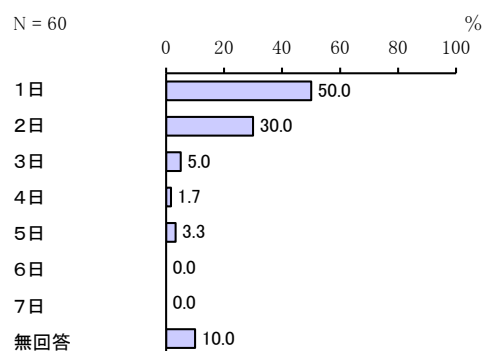
① 自宅

「2日」の割合が28.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が27.2%、「5日」の割合が18.5%となっています。



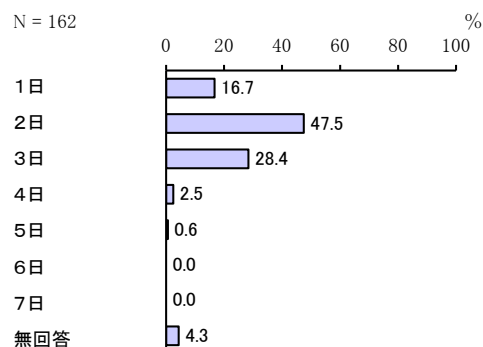
② 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が30.0%となっています。



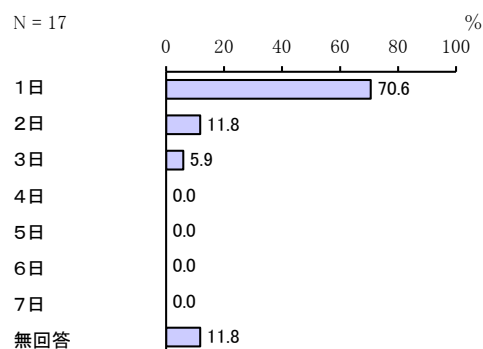
③ 習い事

「2日」の割合が47.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が28.4%、「1日」の割合が16.7%となっています。



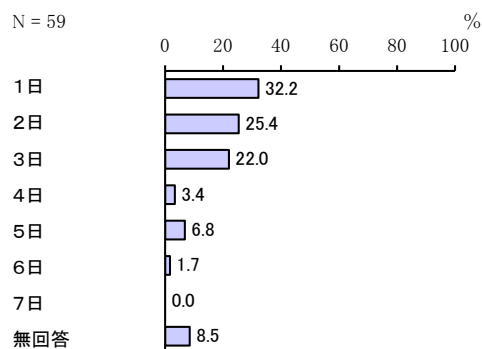
④ 体育館や福祉センターなど公共の施設

「1日」の割合が70.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が11.8%となっています。



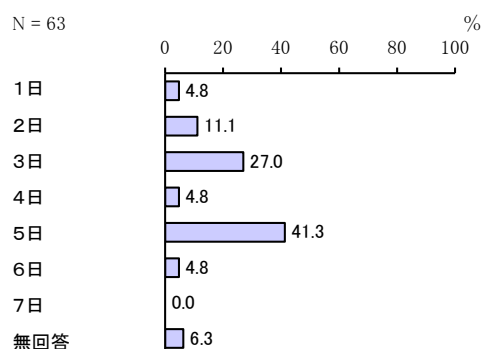
⑤ 放課後子ども教室

「1日」の割合が32.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.4%、「3日」の割合が22.0%となっています。



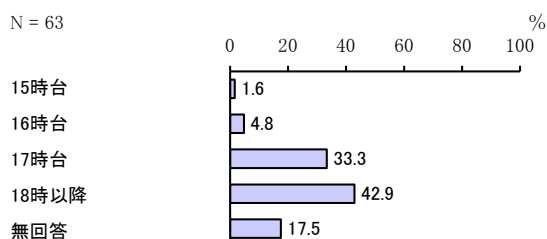
⑥ 留守家庭児童会（学童保育）

「5日」の割合が41.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が27.0%、「2日」の割合が11.1%となっています。



⑥-1 留守家庭児童会（学童保育）の利用終了時間

「18時以降」の割合が42.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が33.3%となっています。



⑦ 民間の学童保育

「5日」が3件、「2日」が2件、「3日」が1件となっています。

⑧ ファミリー・サポート・センター

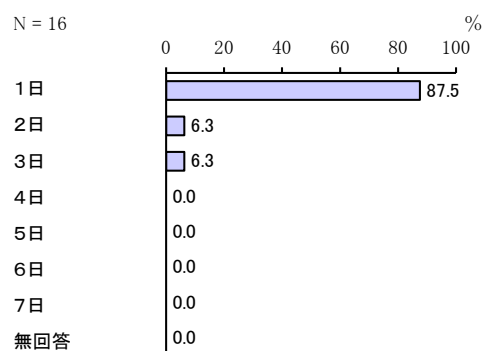
「5日」が2件となっています。

⑨ 障がい児支援施設

「1日」が2件、「6日」が1件となっています。

⑩ コミスク

「1日」の割合が87.5%と最も高くなっています。

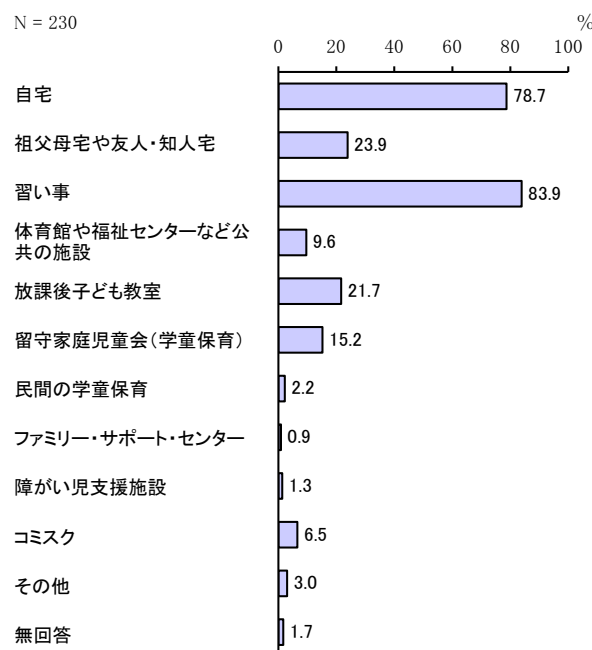


⑪ その他

「2日」, 「3日」, 「5日」が1件となっています。

問 24 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。

「習い事」の割合が83.9%と最も高く、次いで「自宅」の割合が78.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が23.9%となっています。



【中学校区別】

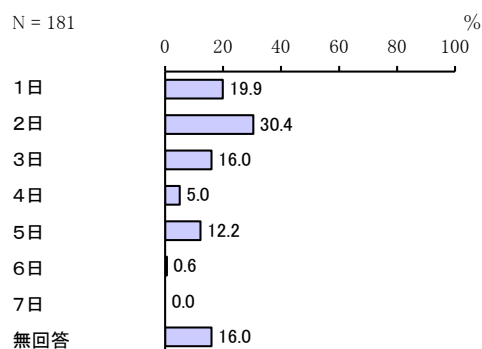
中学校区別にみると、精道地区、潮見地区で「留守家庭児童会（学童保育）」の割合が高くなっています。

	有効回答数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	体育館や福祉センターなど公共の施設	放課後子ども教室	留守家庭児童会（学童保育）	民間の学童保育	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	コミスク	その他	無回答
全 体	230 100.0	181 78.7	55 23.9	193 83.9	22 9.6	50 21.7	35 15.2	5 2.2	2 0.9	3 1.3	15 6.5	7 3.0	4 1.7
山手	75 100.0	64 85.3	17 22.7	69 92.0	7 9.3	13 17.3	7 9.3	1 1.3	- -	3 4.0	6 8.0	1 1.3	- -
精道	78 100.0	62 79.5	23 29.5	67 85.9	9 11.5	19 24.4	12 15.4	2 2.6	1 1.3	- -	6 7.7	5 6.4	1 1.3
潮見	76 100.0	54 71.1	15 19.7	56 73.7	6 7.9	18 23.7	16 21.1	2 2.6	1 1.3	- -	3 3.9	1 1.3	3 3.9

（１）放課後の時間を過ごさせたい場所別週当たりの利用日数

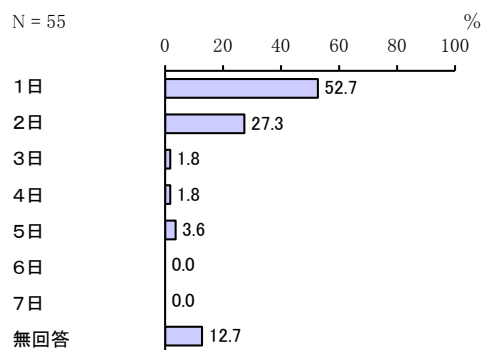
① 自宅

「２日」の割合が30.4%と最も高く、次いで「１日」の割合が19.9%、「３日」の割合が16.0%となっています。



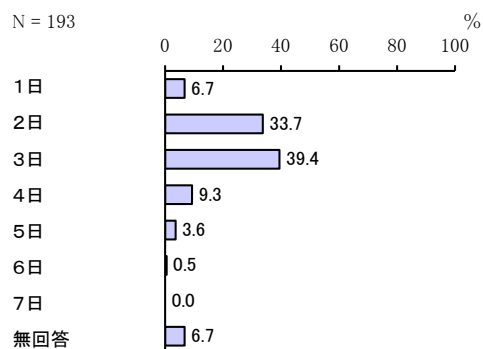
② 祖父母宅や友人・知人宅

「１日」の割合が52.7%と最も高く、次いで「２日」の割合が27.3%となっています。



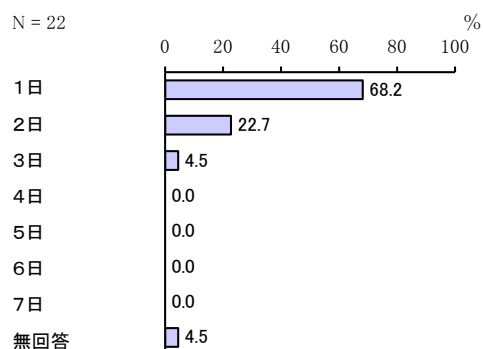
③ 習い事

「3日」の割合が39.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が33.7%となっています。



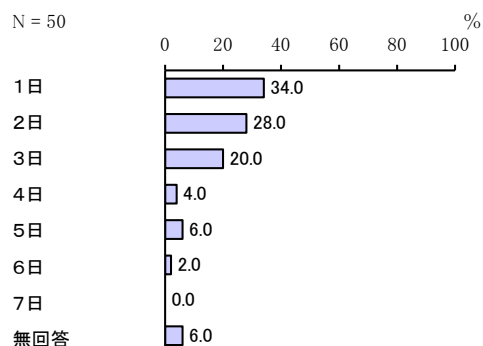
④ 体育館や福祉センターなど公共の施設

「1日」の割合が68.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.7%となっています。



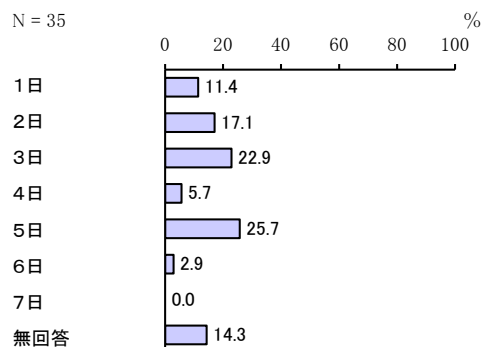
⑤ 放課後子ども教室

「1日」の割合が34.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が28.0%、「3日」の割合が20.0%となっています。



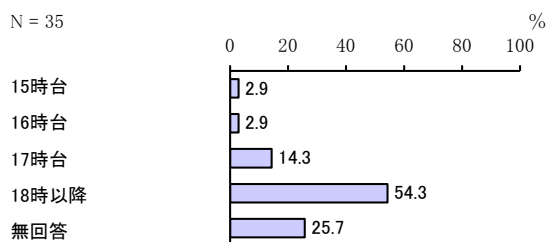
⑥ 留守家庭児童会（学童保育）

「5日」の割合が25.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が22.9%、「2日」の割合が17.1%となっています。



⑥-1 留守家庭児童会（学童保育）の利用終了時間

「18時以降」の割合が54.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が14.3%となっています。



⑦ 民間の学童保育

「5日」が2件、「1日」、「2日」、「3日」が1件となっています。

⑧ ファミリー・サポート・センター

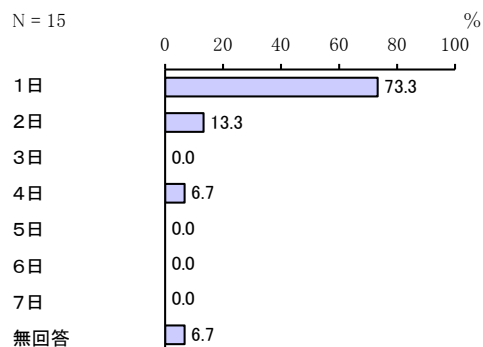
「5日」が2件となっています。

⑨ 障がい児支援施設

「1日」が2件、「6日」が1件となっています。

⑩ コミスク

「1日」の割合が73.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が13.3%となっています。

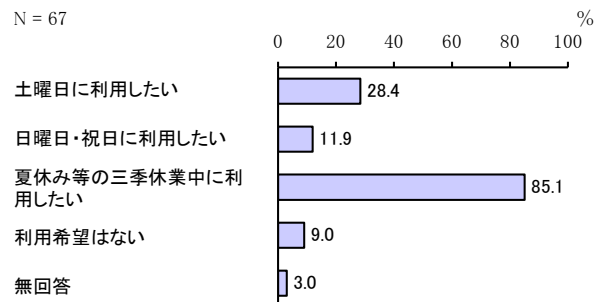


⑪ その他

「1日」、「2日」、「3日」、「5日」が1件となっています。

問 25 問 23 または問 24 で「6. 留守家庭児童会（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 26 へお進みください。土曜日、日曜日・祝日、夏休み等の三季休業中に利用したいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用したい時間帯をご記入ください。

「夏休み等の三季休業中に利用したい」の割合が 85.1%と最も高く、次いで「土曜日に利用したい」の割合が 28.4%、「日曜日・祝日に利用したい」の割合が 11.9%となっています。

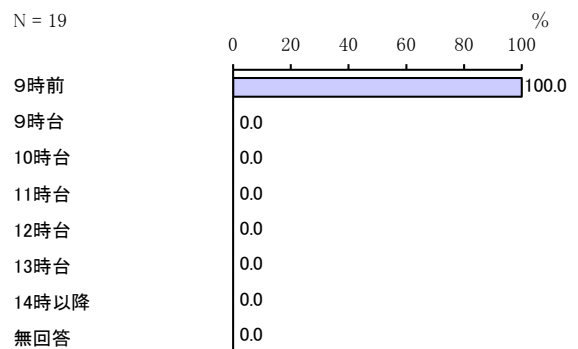


(1) 土曜日

① 利用したい時間帯

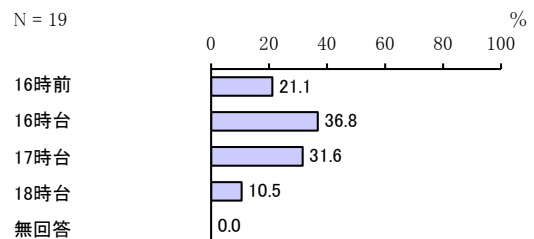
ア 開始時間

「9時前」の割合が 100.0%となっています。



イ 終了時間

「16時台」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が 31.6%、「16時前」の割合が 21.1%となっています。



(2) 日曜日・祝日

① 利用したい時間帯

ア 開始時間

「9時前」が8件となっています。

イ 終了時間

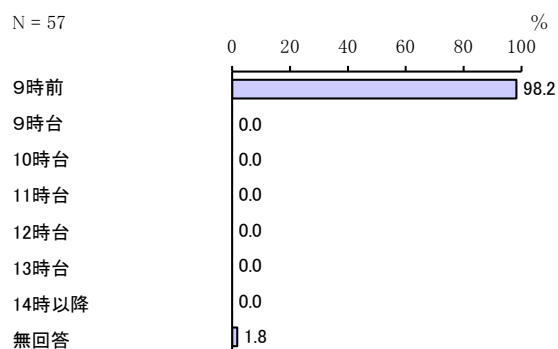
「16時前」, 「16時台」, 「17時台」, 「18時台」が2件となっています。

(3) 夏休み等の三季休業中

① 利用したい時間帯

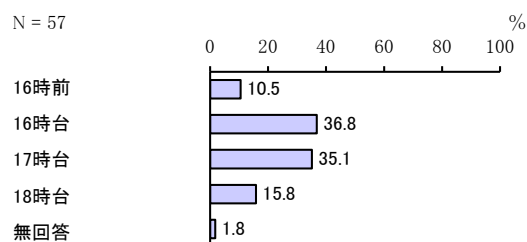
ア 開始時間

「9時前」の割合が98.2%となっています。



イ 終了時間

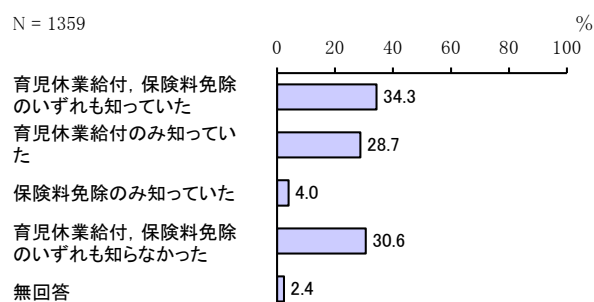
「16時台」の割合が36.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が35.1%, 「18時台」の割合が15.8%となっています。



(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 26 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

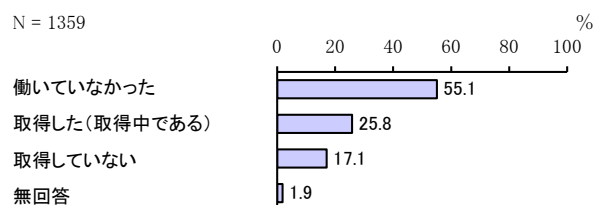
「育児休業給付，保険料免除のいずれも知っていた」の割合が34.3%と最も高く，次いで「育児休業給付，保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が30.6%，「育児休業給付のみ知っていた」の割合が28.7%となっています。



問 27 お子さんが生まれた時，育児休業を取得しましたか。母親，父親それぞれについて，当てはまる番号1つに○をつけてください。また，取得していない方はその理由について，当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

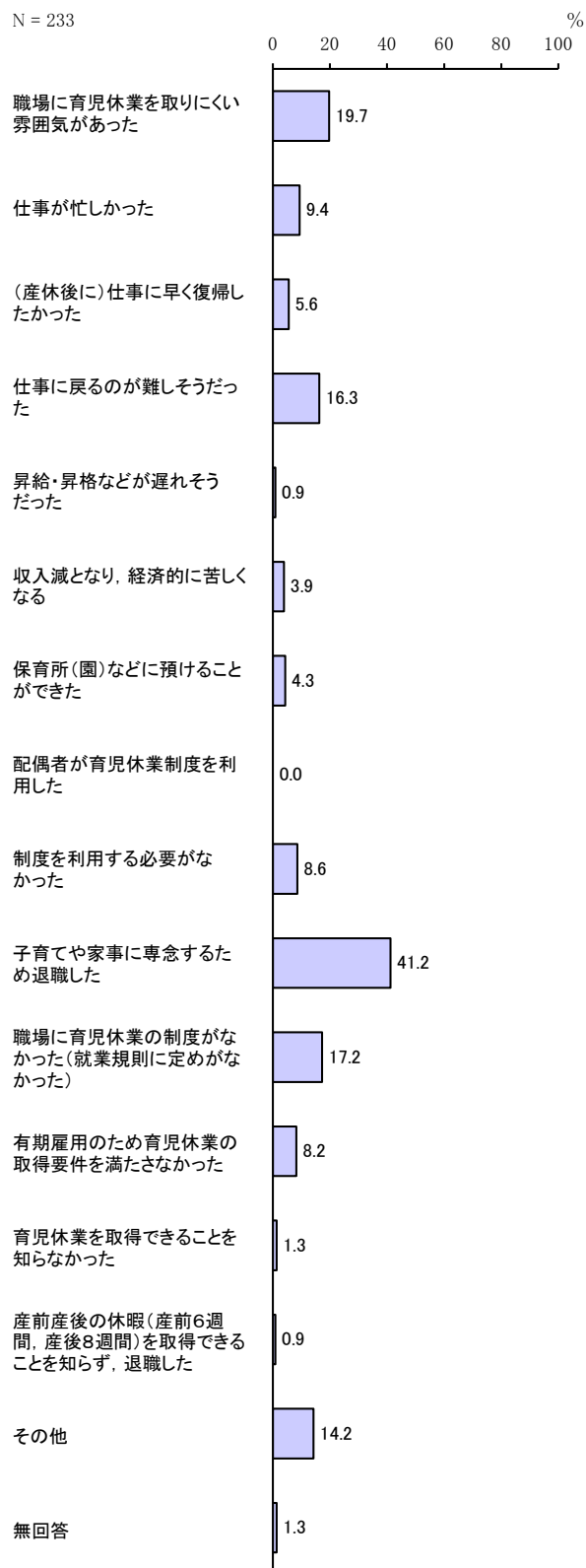
「働いていなかった」の割合が55.1%と最も高く，次いで「取得した（取得中である）」の割合が25.8%，「取得していない」の割合が17.1%となっています。



① 取得していない理由

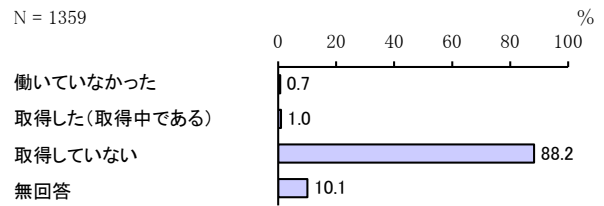
「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が41.2%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が19.7%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が17.2%となっ

ています。



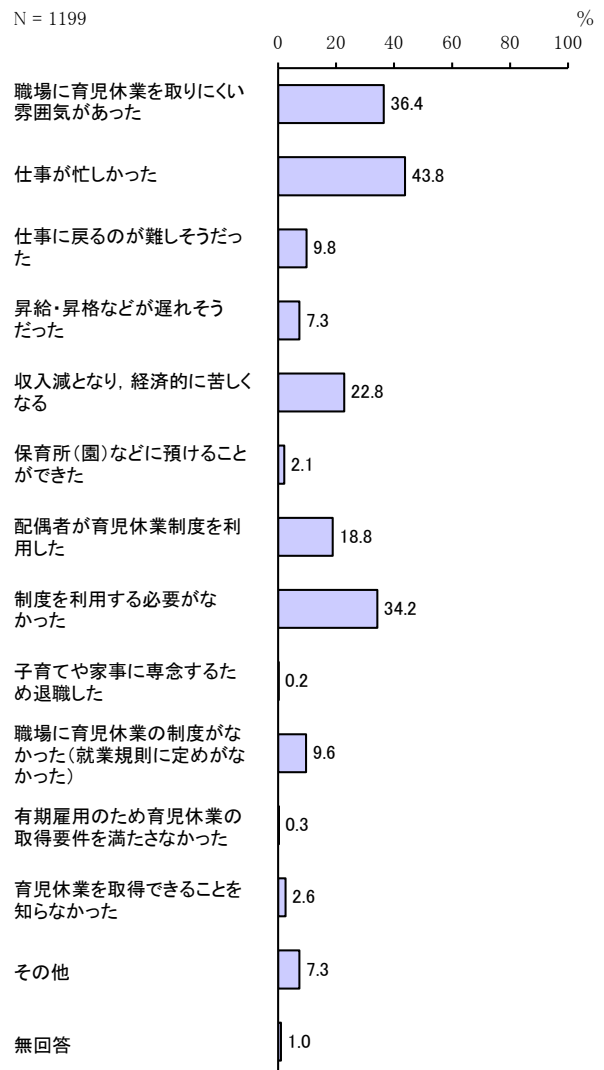
(2) 父親

「取得していない」の割合が 88.2%と最も高くなっています。



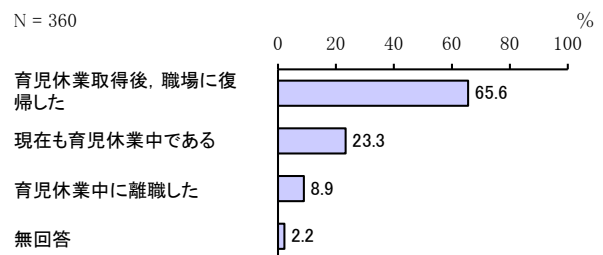
① 取得していない理由

「仕事が忙しかった」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 36.4%、「制度を利用する必要がなかった」の割合が 34.2%となっています。



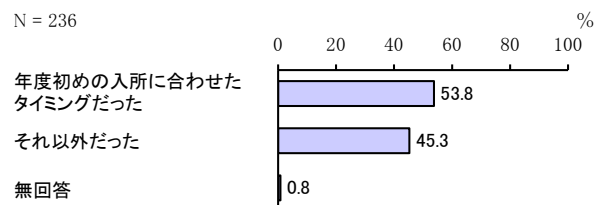
問 27-1 問 27 で母親または父親が、「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。なお、母親または父親のうち、どちらか育児休業期間を長く取得した方についてお答えください。該当しない方は、問 28 へお進みください。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 23.3%となっています。



問 27-2～問 27-7 は、問 27-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。問 27-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

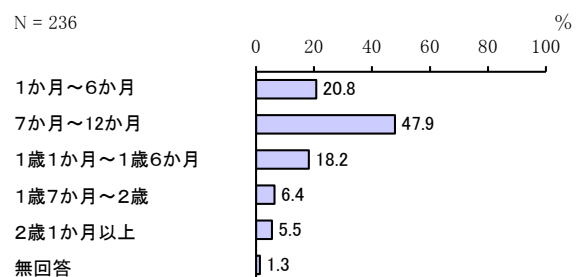
「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 53.8%、「それ以外だった」の割合が 45.3%となっています。



問 27-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。

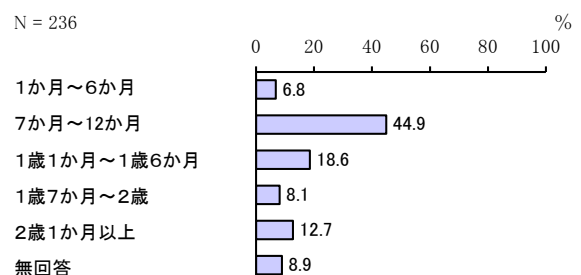
(1) 実際の取得期間

「7か月～12か月」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「1か月～6か月」の割合が 20.8%、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が 18.2%となっています。



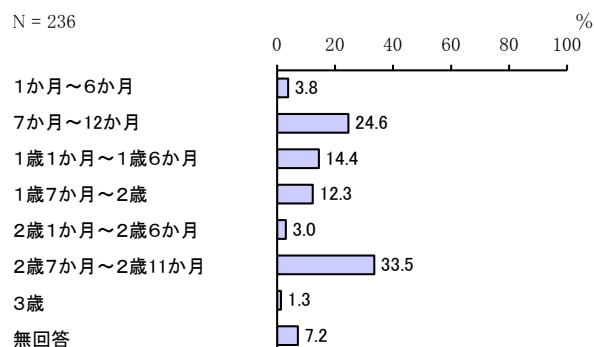
(2) 希望の取得期間

「7か月～12か月」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が 18.6%、「2歳1か月以上」の割合が 12.7%となっています。



問 27-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

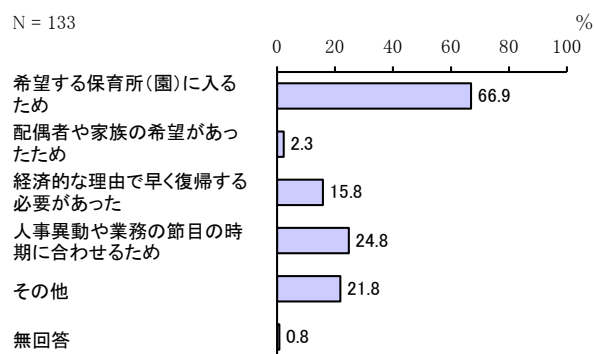
「2歳7か月～2歳11か月」の割合が33.5%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が24.6%、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が14.4%となっています。



問 27-5 問 27-3で「実際」の復帰と「希望」が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

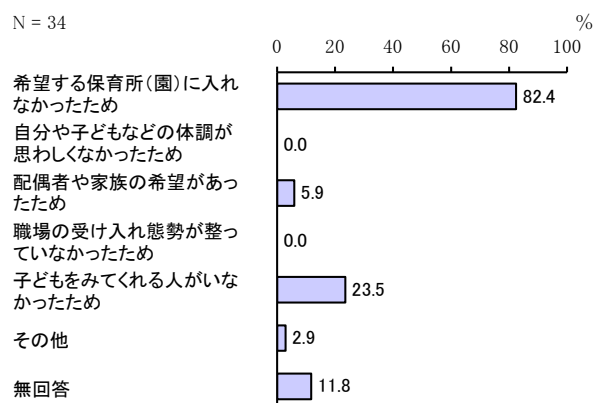
(1) 「希望」より早く復帰した方

「希望する保育所（園）に入るため」の割合が66.9%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が24.8%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が15.8%となっています。



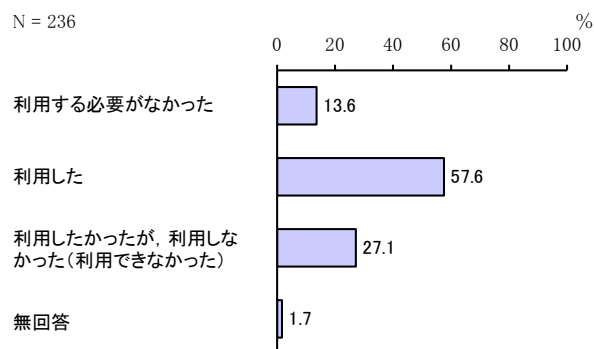
(2) 「希望」より遅く復帰した方

「希望する保育所（園）に入れなかったため」の割合が82.4%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が23.5%となっています。



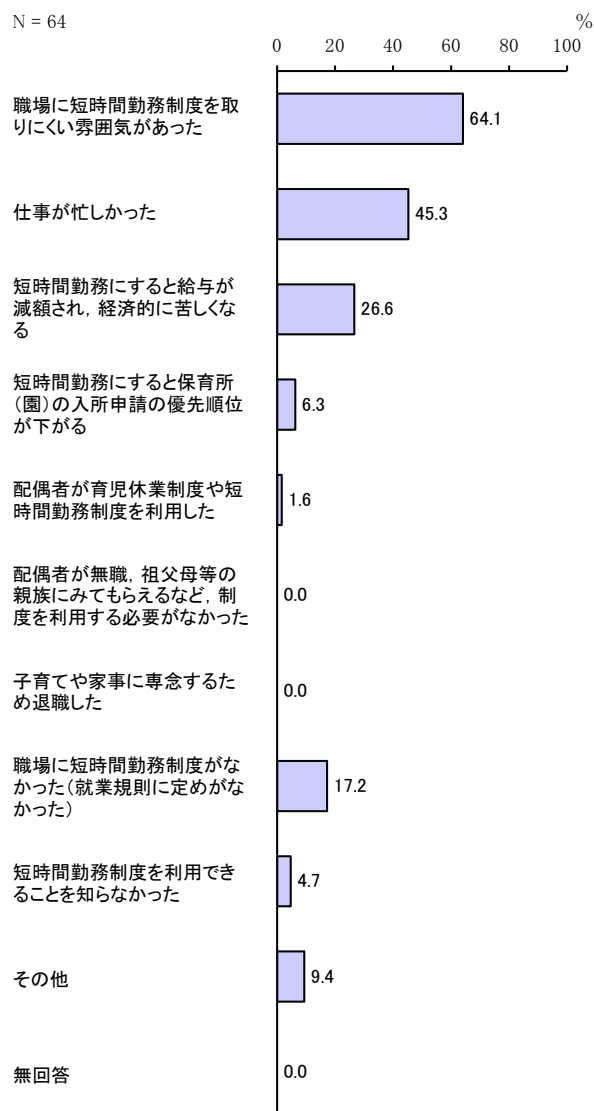
問 27-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用した」の割合が57.6%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が27.1%、「利用する必要がなかった」の割合が13.6%となっています。



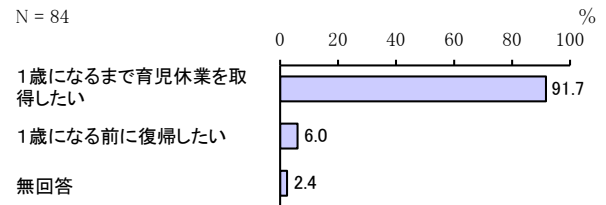
問 27-7 問 27-6 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号をすべてに○をつけてください。

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が64.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が45.3%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が26.6%となっています。



問 27-8 問 27-1 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

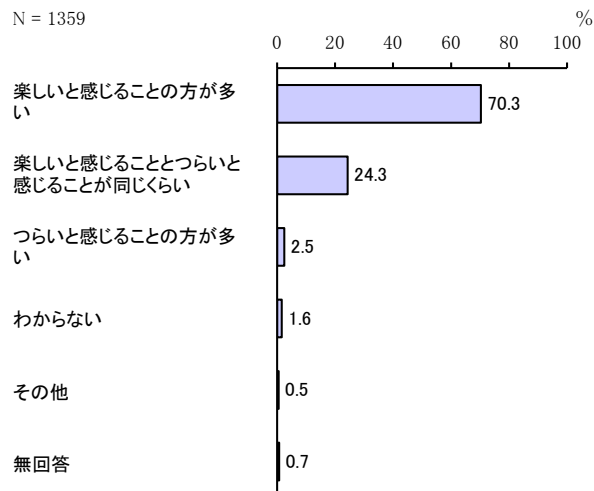
「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が91.7%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が6.0%となっています。



(12) 芦屋市の今後の子育て施策について

問 28 ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

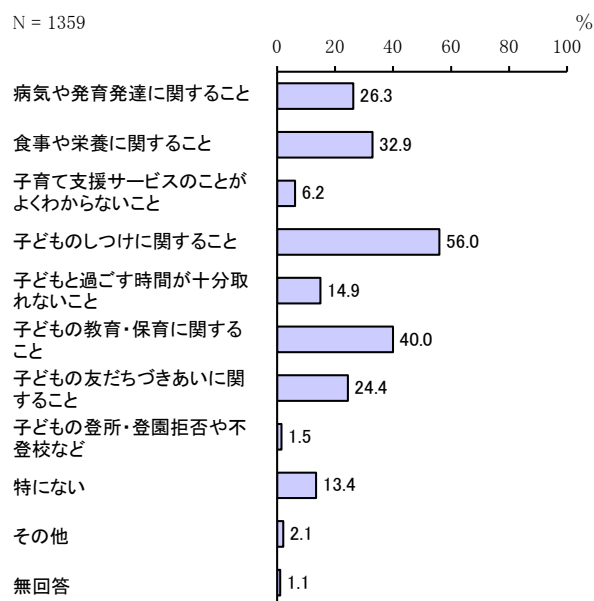
「楽しいと感じることの方が多い」の割合が70.3%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が24.3%となっています。



問 29 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

「子どものしつけに関すること」の割合が56.0%と最も高く、次いで「子どもの教育・保育に関すること」の割合が40.0%、「食事や栄養に関すること」の割合が32.9%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムで「子どもと過ごす時間が十分取れないこと」の割合が高く、38.5%（141件／366件）となっています。

	有効回答数	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育て支援サービスのことがよくわからないこと	子どものしつけに関すること	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育・保育に関すること	子どもの友だちづきあいに 関すること	子どもの登所・登園拒否 や不登校など	特にな い	その他	無回答
全 体	1358 100.0	357 26.3	446 32.8	84 6.2	760 56.0	203 14.9	542 39.9	332 24.4	21 1.5	182 13.4	29 2.1	15 1.1
フルタイム	366 100.0	106 29.0	105 28.7	18 4.9	180 49.2	141 38.5	155 42.3	67 18.3	11 3.0	43 11.7	6 1.6	3 0.8
パート・アルバイト等	208 100.0	48 23.1	59 28.4	15 7.2	122 58.7	29 13.9	82 39.4	60 28.8	6 2.9	24 11.5	4 1.9	7 3.4
未就労	759 100.0	197 26.0	277 36.5	51 6.7	445 58.6	31 4.1	294 38.7	202 26.6	4 0.5	107 14.1	19 2.5	5 0.7

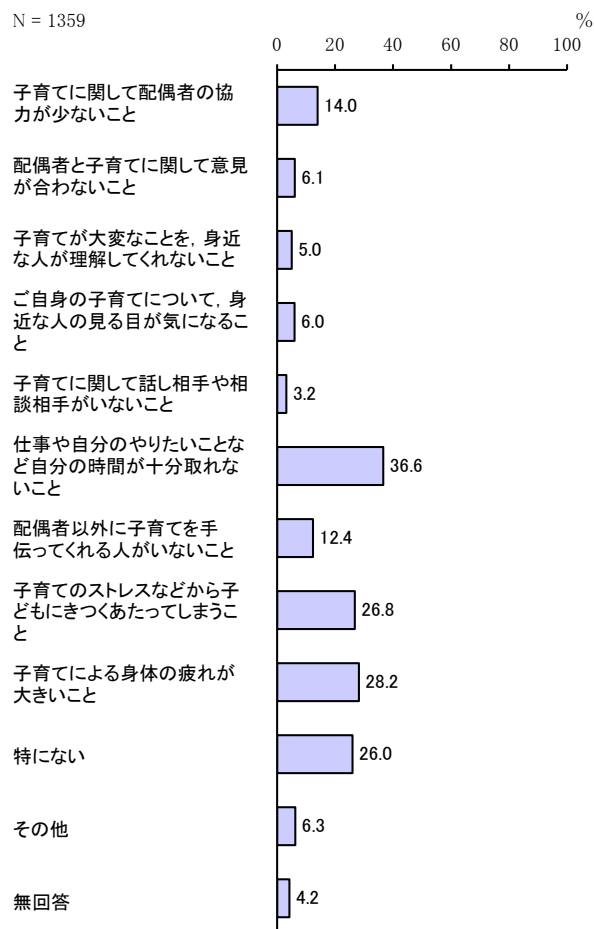
【子育てを楽しんでいる状況別】

子育てを楽しんでいる状況別でみると、つらいと感じることの方が多く人で「子どものしつけに関すること」の割合が高く、76.5%（26件／34件）となっています。

	有効回答数	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育て支援サービスのことがよくわからないこと	子どものしつけに関すること	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育・保育に関すること	子どもの友だちづきあいに 関すること	子どもの登所・登園拒否 や不登校など	特にな い	その他	無回答
全 体	1359 100.0	357 26.3	447 32.9	84 6.2	761 56.0	203 14.9	543 40.0	332 24.4	21 1.5	182 13.4	29 2.1	15 1.1
楽しいと感じることの方が 多い	956 100.0	210 22.0	313 32.7	58 6.1	498 52.1	136 14.2	371 38.8	199 20.8	10 1.0	166 17.4	19 2.0	9 0.9
楽しいと感じることとつらいと 感じる ことが同じくらい	330 100.0	122 37.0	114 34.5	24 7.3	218 66.1	61 18.5	142 43.0	109 33.0	11 3.3	12 3.6	8 2.4	1 0.3
つらいと感じることの方が 多い	34 100.0	13 38.2	11 32.4	2 5.9	26 76.5	1 2.9	21 61.8	14 41.2	- -	- -	1 2.9	- -
わからない	22 100.0	6 27.3	7 31.8	- -	13 59.1	1 4.5	6 27.3	5 22.7	- -	4 18.2	- -	- -
その他	7 100.0	3 42.9	2 28.6	- -	2 28.6	2 28.6	2 28.6	3 42.9	- -	- -	1 14.3	- -

(2) 自身に関すること

「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が36.6%と最も高く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が28.2%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が26.8%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイム、未就労で「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が高くなっています。

	有効回答数	子育てに関して配偶者の協力が少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	特にない	その他	無回答
全体	1358	190	83	68	82	44	497	169	363	383	354	85	57
	100.0	14.0	6.1	5.0	6.0	3.2	36.6	12.4	26.7	28.2	26.1	6.3	4.2
フルタイム	366	50	14	18	19	15	156	41	76	105	81	35	17
	100.0	13.7	3.8	4.9	5.2	4.1	42.6	11.2	20.8	28.7	22.1	9.6	4.6
パート・アルバイト等	208	28	16	9	11	6	74	29	59	39	56	14	10
	100.0	13.5	7.7	4.3	5.3	2.9	35.6	13.9	28.4	18.8	26.9	6.7	4.8
未就労	759	111	52	39	50	23	263	99	225	234	204	36	29
	100.0	14.6	6.9	5.1	6.6	3.0	34.7	13.0	29.6	30.8	26.9	4.7	3.8

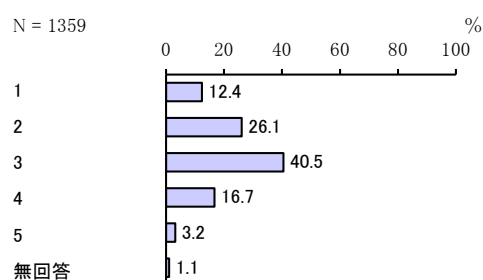
【子育てを楽しんでいる状況別】

子育てを楽しんでいる状況別にみると、「つらいと感じることの方が多い」人で理解や協力を得られない人の割合が高くなっています。

	有効回答数	子育てに関して配偶者の協力が少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	特になし	その他	無回答
全体	1359 100.0	190 14.0	83 6.1	68 5.0	82 6.0	44 3.2	498 36.6	169 12.4	364 26.8	383 28.2	354 26.0	85 6.3	57 4.2
楽しいと感じることの方が多い	956 100.0	95 9.9	47 4.9	23 2.4	32 3.3	16 1.7	294 30.8	89 9.3	174 18.2	204 21.3	328 34.3	61 6.4	44 4.6
楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい	330 100.0	73 22.1	30 9.1	39 11.8	44 13.3	20 6.1	166 50.3	62 18.8	154 46.7	146 44.2	21 6.4	20 6.1	5 1.5
つらいと感じることの方が多い	34 100.0	16 47.1	4 11.8	4 11.8	6 17.6	5 14.7	24 70.6	13 38.2	25 73.5	26 76.5	-	1 2.9	-
わからない	22 100.0	1 4.5	1 4.5	1 4.5	-	2 9.1	8 36.4	3 13.6	9 40.9	4 18.2	4 18.2	-	2 9.1
その他	7 100.0	2 28.6	-	1 14.3	-	1 14.3	2 28.6	-	1 14.3	-	1 14.3	2 28.6	1 14.3

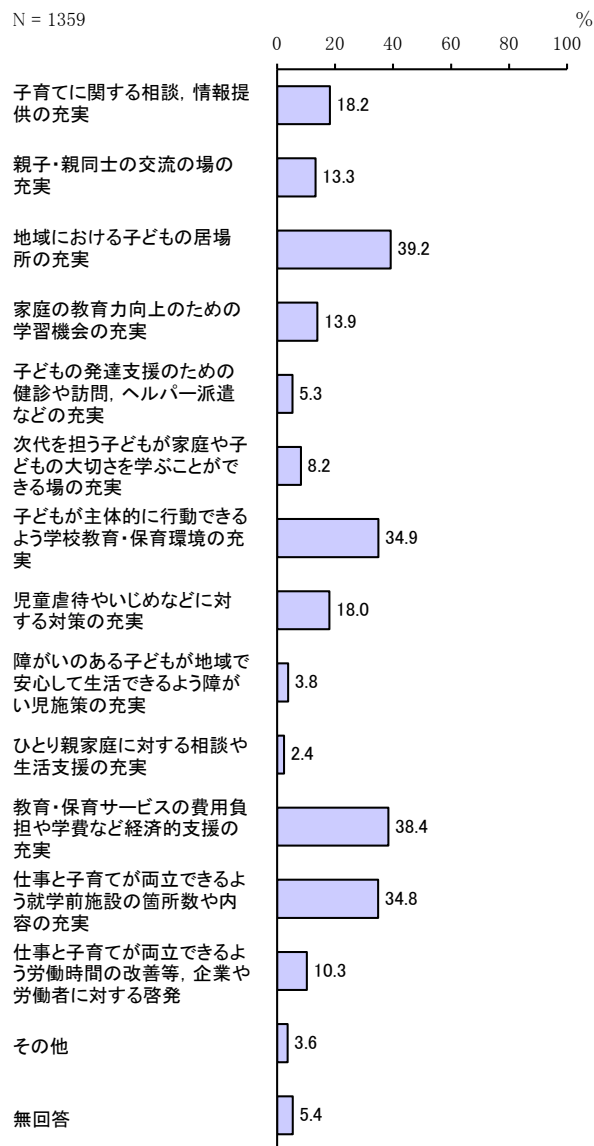
問30 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。(1：満足度が低い，5：満足度が高い)

「3」の割合が40.5%と最も高く、次いで「2」の割合が26.1%、「4」の割合が16.7%となっています。



問 31 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「地域における子どもの居場所の充実」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が 38.4%、「子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実」の割合が 34.9%となっています。



【母親の就労状況別】

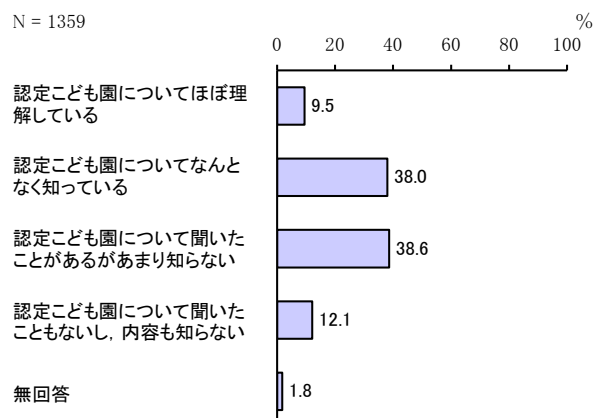
母親の就労状況別にみると、未就労で「子育てに関する相談、情報提供の充実」の割合が高く、フルタイムで「仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の箇所数や内容の充実」の割合が高くなっています。

	有効回答数	子育てに関する相談、情報提供の充実	親子・親同士の交流の場の充実	地域における子どもの居場所の充実	家庭の教育力向上のための学習機会の充実	子どもの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実	次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実	子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実	児童虐待やいじめなどに対する対策の充実
全 体	1358 100.0	248 18.3	181 13.3	533 39.2	188 13.8	72 5.3	112 8.2	473 34.8	244 18.0
フルタイム	366 100.0	43 11.7	35 9.6	110 30.1	43 11.7	19 5.2	31 8.5	116 31.7	54 14.8
パート・アルバイト等	208 100.0	23 11.1	15 7.2	90 43.3	19 9.1	7 3.4	20 9.6	82 39.4	40 19.2
未就労	759 100.0	175 23.1	127 16.7	326 43.0	118 15.5	46 6.1	59 7.8	267 35.2	143 18.8

	障がいのある子どもが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実	ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実	仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の箇所数や内容の充実	仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発	その他	無回答
全 体	52 3.8	32 2.4	522 38.4	473 34.8	140 10.3	49 3.6	74 5.4
フルタイム	16 4.4	12 3.3	153 41.8	192 52.5	68 18.6	19 5.2	18 4.9
パート・アルバイト等	5 2.4	8 3.8	81 38.9	80 38.5	21 10.1	7 3.4	11 5.3
未就労	31 4.1	11 1.4	277 36.5	199 26.2	51 6.7	23 3.0	42 5.5

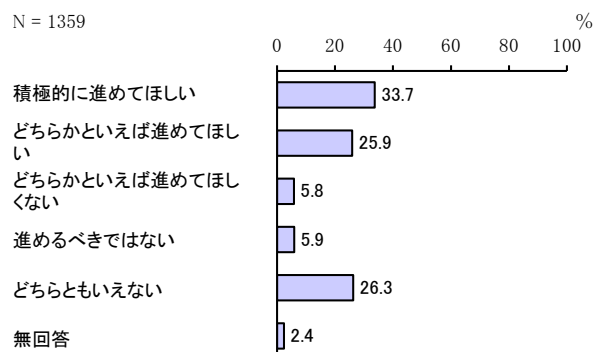
問 32 認定子ども園についてどの程度知っていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

「認定子ども園について聞いたことがあるがあまり知らない」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「認定子ども園についてなんとなく知っている」の割合が 38.0%、「認定子ども園について聞いたこともないし、内容も知らない」の割合が 12.1%となっています。



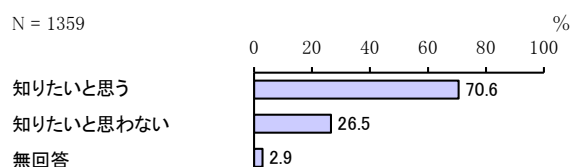
問 33 認定子ども園設置に取り組むことについてどのようなお考えをお持ちですか。最も近い番号 1 つに○をつけてください。

「積極的に進めてほしい」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 26.3%、「どちらかといえば進めてほしい」の割合が 25.9%となっています。



問 34 認定子ども園についてより具体的な説明や情報が欲しいと思いますか。最も近い番号 1 つに○をつけてください。

「知りたいと思う」の割合が 70.6%、「知りたいと思わない」の割合が 26.5%となっています。

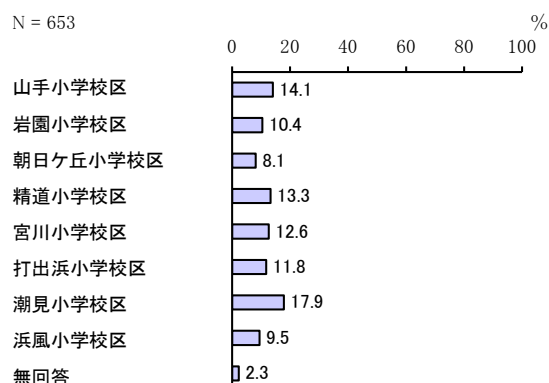


2 小学生児童

(1) 居住地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる町に○をつけてください。

「潮見小学校区」の割合が17.9%と最も高く、次いで「山手小学校区」の割合が14.1%、「精道小学校区」の割合が13.3%となっています。

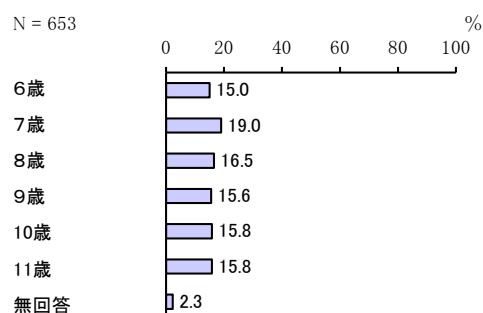


(2) 子どもと家族の状況について

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

宛名のお子さんの年齢

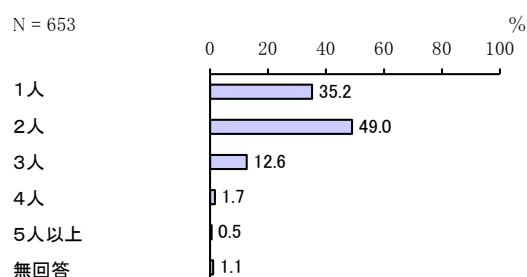
「7歳」の割合が19.0%と最も高く、次いで「8歳」の割合が16.5%、「10歳」、「11歳」の割合が15.8%となっています。



問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。

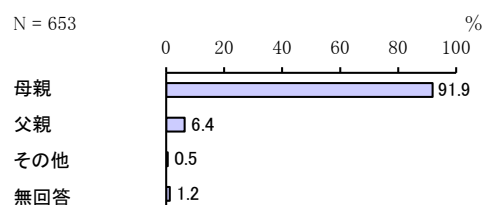
きょうだい数

「2人」の割合が49.0%と最も高く、次いで「1人」の割合が35.2%、「3人」の割合が12.6%となっています。



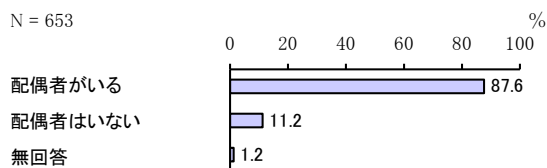
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が91.9%、「父親」の割合が6.4%となっています。



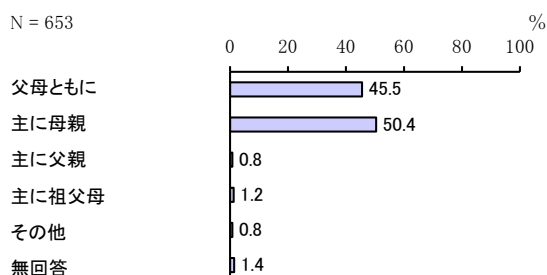
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が 87.6%、「配偶者はいない」の割合が 11.2%となっています。



問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

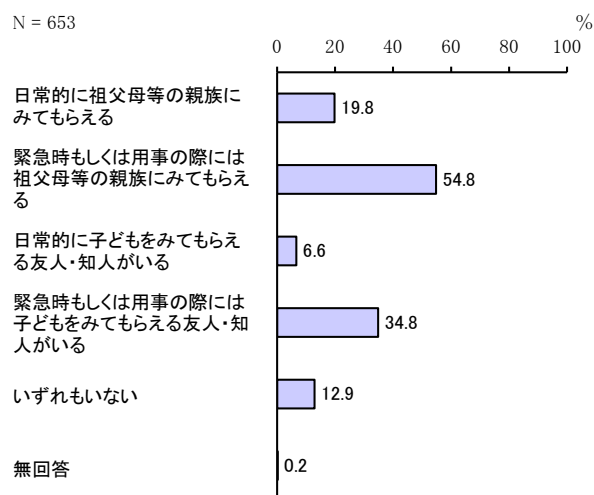
「主に母親」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が 45.5%となっています。



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

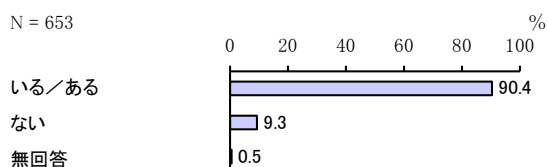
問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 34.8%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 19.8%となっています。



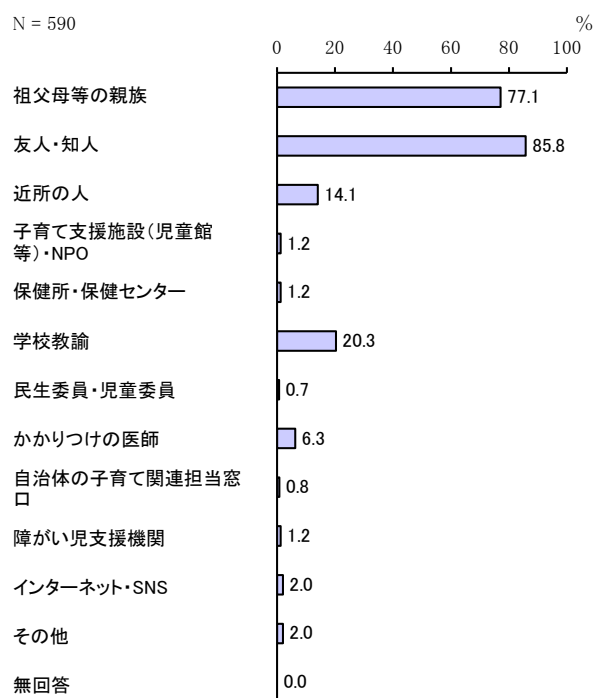
問8 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が90.4%、「ない」の割合が9.3%となっています。



問8-1 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

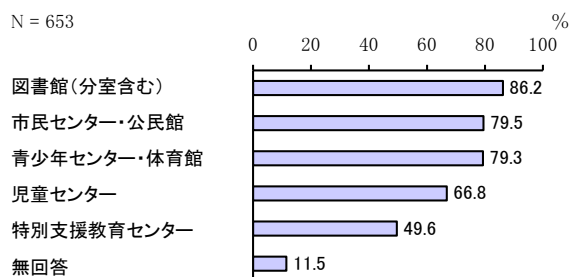
「友人・知人」の割合が85.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が77.1%、「学校教諭」の割合が20.3%となっています。



問9 下記の施設や事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

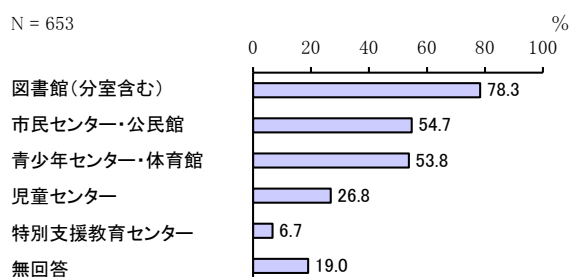
(1) 認知度

「図書館（分室含む）」の割合が 86.2%と最も高く、次いで「市民センター・公民館」の割合が 79.5%、「青少年センター・体育館」の割合が 79.3%となっています。



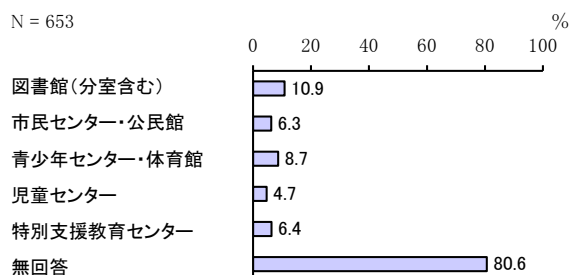
(2) 利用状況

「図書館（分室含む）」の割合が 78.3%と最も高く、次いで「市民センター・公民館」の割合が 54.7%、「青少年センター・体育館」の割合が 53.8%となっています。



(3) 利用意向

「図書館（分室含む）」の割合が 10.9%と最も高くなっています。



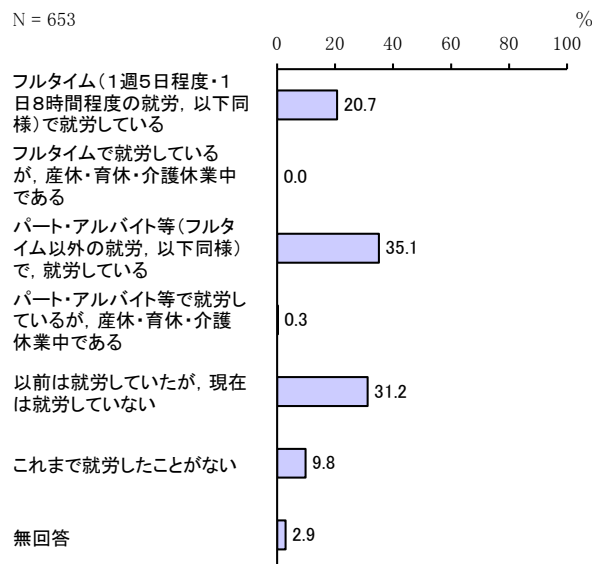
(4) 保護者の就労状況について

問10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親

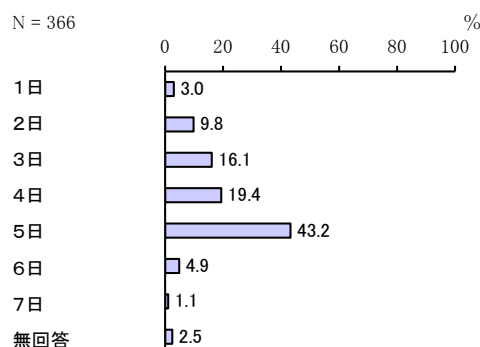
① 就労状況

「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労，以下同様）で，就労している」の割合が35.1%と最も高く，次いで「以前は就労していたが，現在は就労していない」の割合が31.2%，「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労，以下同様）で就労している」の割合が20.7%となっています。



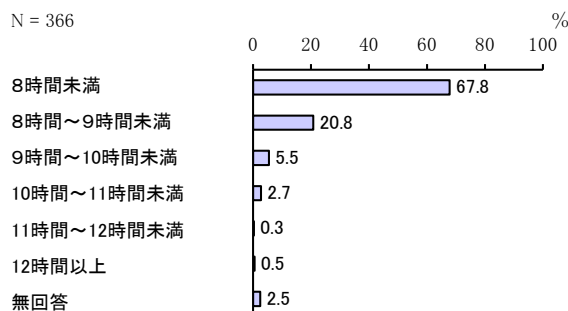
② 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が43.2%と最も高く，次いで「4日」の割合が19.4%，「3日」の割合が16.1%となっています。



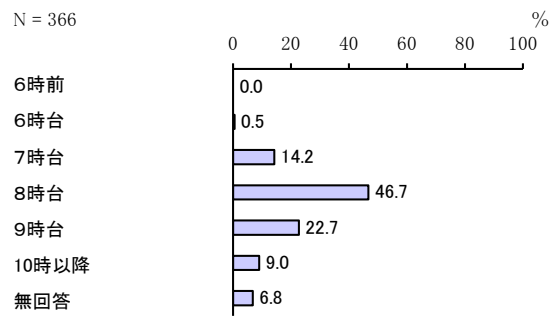
③ 1日当たりの就労時間

「8時間未満」の割合が67.8%と最も高く，次いで「8時間～9時間未満」の割合が20.8%となっています。



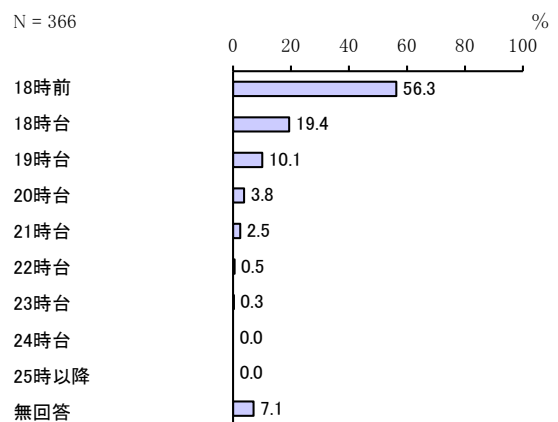
④ 家を出る時間

「8時台」の割合が46.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が22.7%、「7時台」の割合が14.2%となっています。



⑤ 帰宅時間

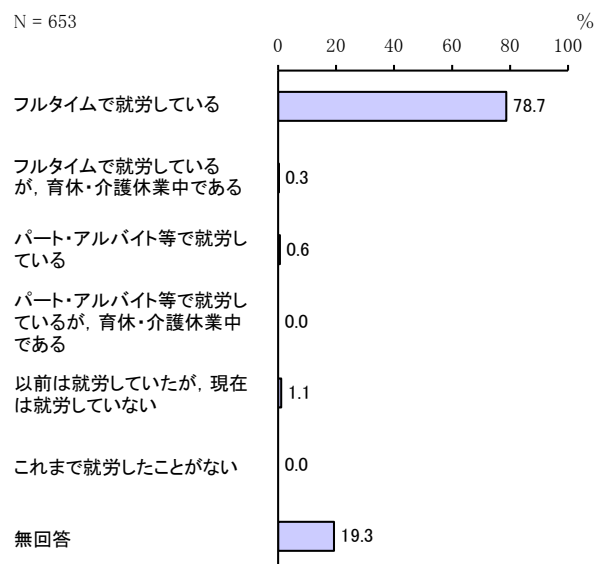
「18時前」の割合が56.3%と最も高く、次いで「18時台」の割合が19.4%、「19時台」の割合が10.1%となっています。



(2) 父親

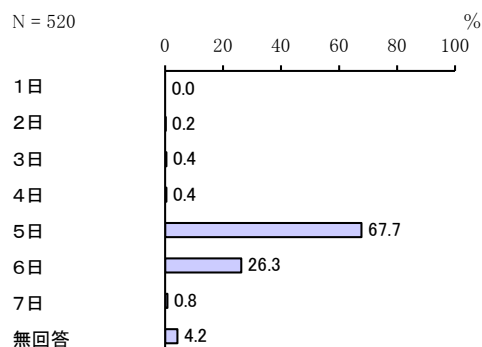
① 就労状況

「フルタイムで就労している」の割合が78.7%と最も高くなっています。



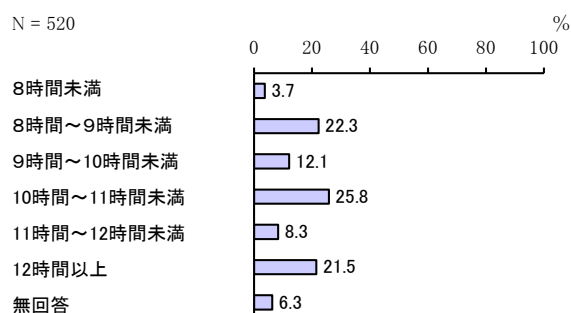
② 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が67.7%と最も高く、次いで「6日」の割合が26.3%となっています。



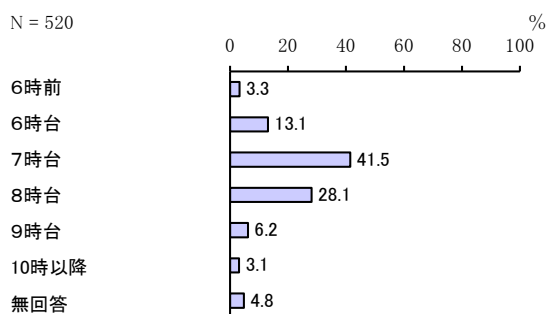
③ 1日当たりの就労時間

「10時間～11時間未満」の割合が25.8%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が22.3%、「12時間以上」の割合が21.5%となっています。



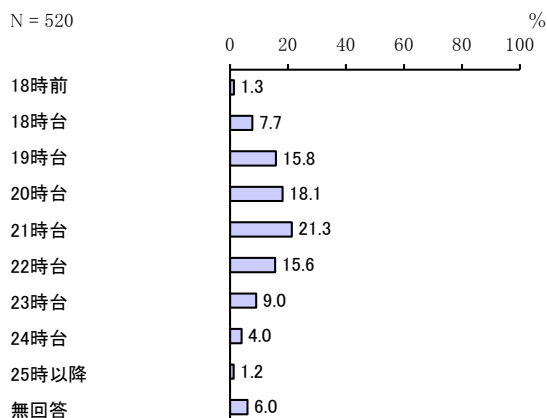
④ 家を出る時間

「7時台」の割合が41.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が28.1%、「6時台」の割合が13.1%となっています。



⑤ 帰宅時間

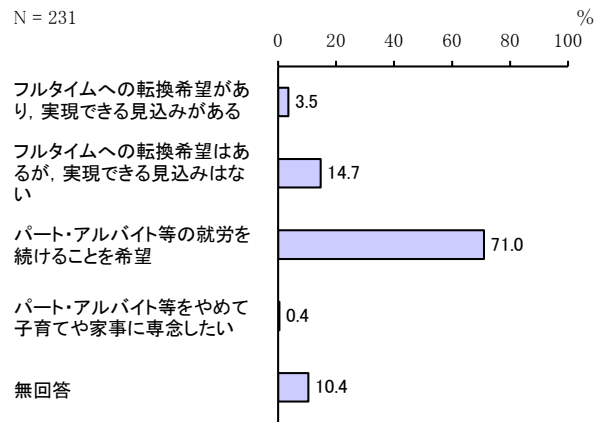
「21時台」の割合が21.3%と最も高く、次いで「20時台」の割合が18.1%、「19時台」の割合が15.8%となっています。



問11 問10の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問12へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が71.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が14.7%となっています。



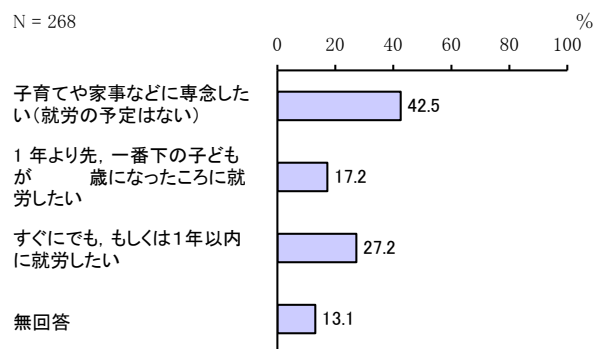
(2) 父親

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が2件、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1件となっています。

問12 問10の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する には数字をご記入ください。

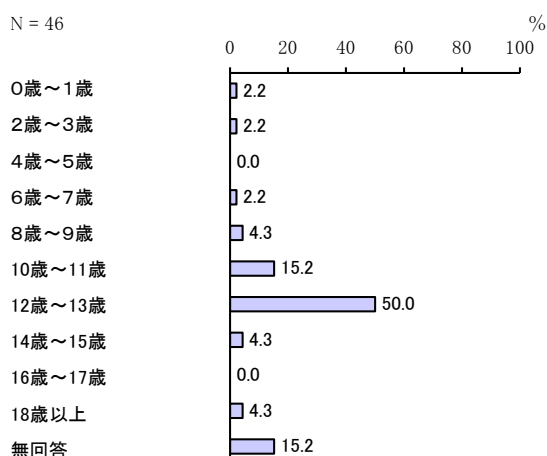
(1) 母親

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が42.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が27.2%、「1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい」の割合が17.2%となっています。



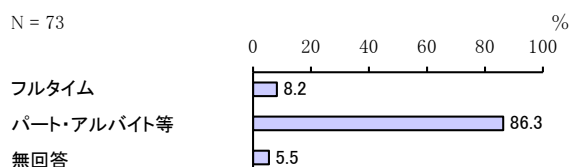
① 「1年より先, 一番下の子どもが 歳になったころに就労したい」子どもの年齢

「12歳～13歳」の割合が50.0%と最も高く, 次いで「10歳～11歳」の割合が15.2%となっています。



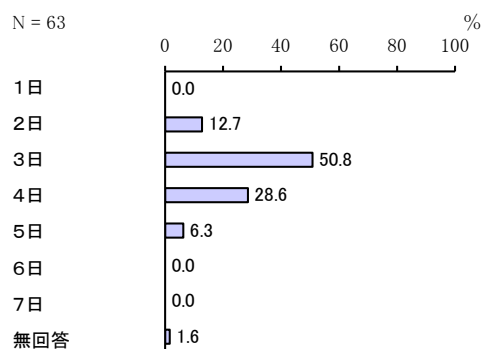
② 「すぐにでも, もしくは1年以内に就労したい」人の就労希望

「パート・アルバイト等」の割合が86.3%, 「フルタイム」の割合が8.2%となっています。



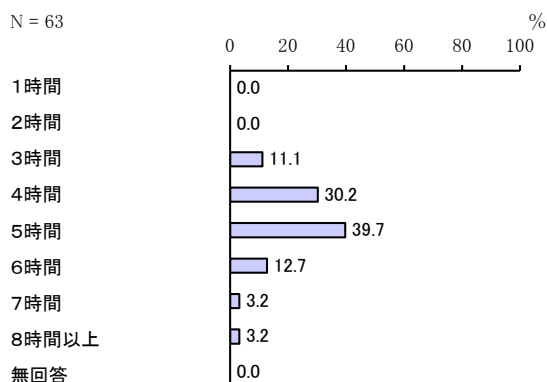
②-1 1年以内に就労したい人の1週当たりの就労日数

「3日」の割合が50.8%と最も高く, 次いで「4日」の割合が28.6%, 「2日」の割合が12.7%となっています。



②-2 1年以内に就労したい人の1日当たりの就労時間

「5時間」の割合が39.7%と最も高く, 次いで「4時間」の割合が30.2%, 「6時間」の割合が12.7%となっています。



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が4件、「1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい」が1件となっています。

① 「1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい」子どもの年齢「16歳～17歳」が1件となっています。

② 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人の就労希望「フルタイム」が4件となっています。

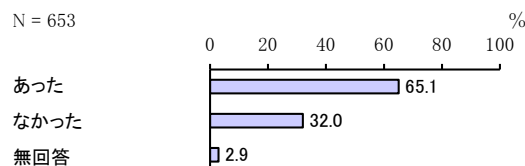
②-1 1年以内に就労したい人の1週当たりの就労日数
有効回答はありません。

②-2 1年以内に就労したい人の1日当たりの就労時間
有効回答はありません。

(5) 子どもの病気の際の対応について

問 13 この1年間に、お子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありますか。

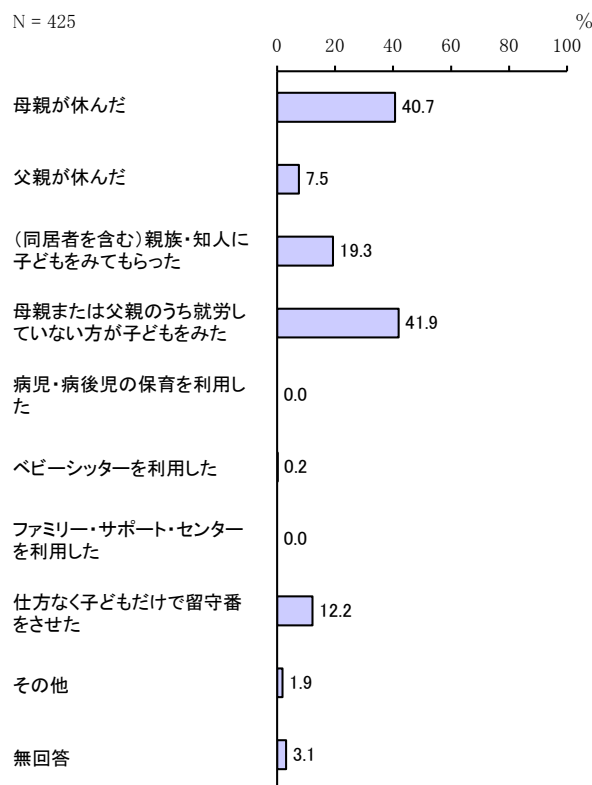
「あった」の割合が65.1%、「なかった」の割合が32.0%となっています。



問 13-1 問 13 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。お子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数を数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

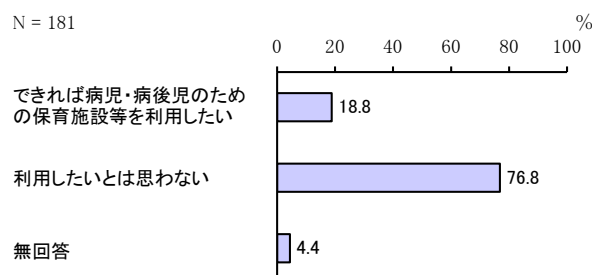
(1) 1年間の対処方法

「母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が41.9%と最も高く、次いで「母親が休んだ」の割合が40.7%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が19.3%となっています。



問 13-2 問 13-1 で「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」のどちらかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその日数についてもご記入ください。

「利用したいとは思わない」の割合が76.8%、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」の割合が18.8%となっています。

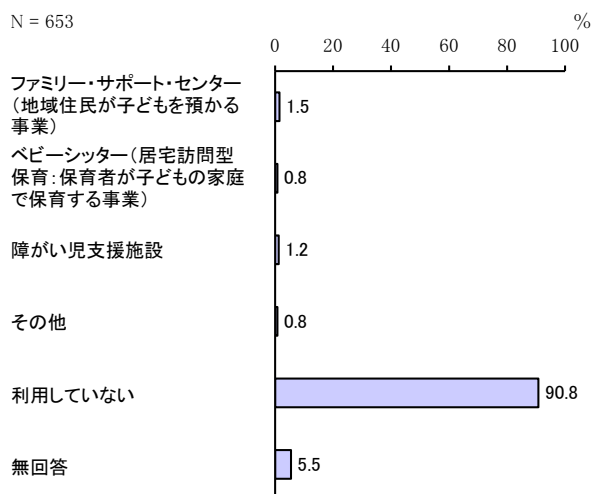


(6) 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問 14 お子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数をご記入ください。

(1) 利用している事業

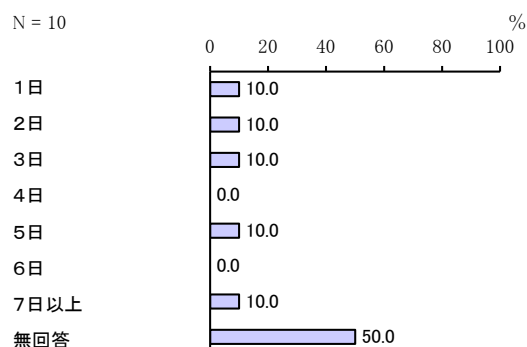
「利用していない」の割合が90.8%と最も高くなっています。



(2) 利用している事業別年間日数

① ファミリー・サポート・センター

「1日」、「2日」、「3日」、「5日」、「7日以上」の割合が10.0%となっています。



② ベビーシッター

「5日」、「7日以上」が2件となっています。

③ 障がい児支援施設

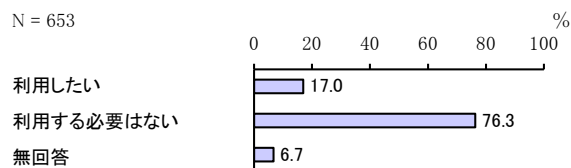
「7日以上」が3件、「2日」が2件となっています。

④ その他

「7日以上」が3件、「3日」が2件となっています。

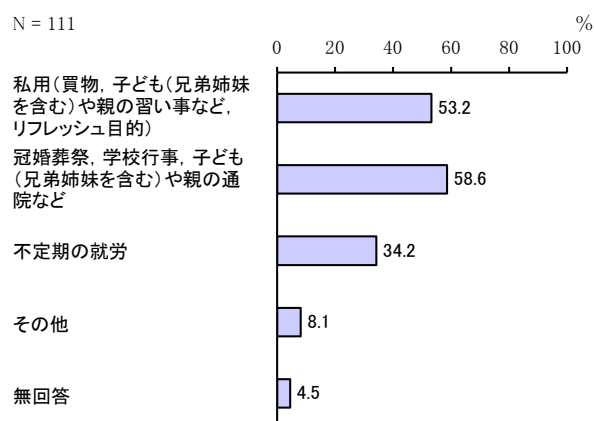
問15 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、1年間で何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。

「利用する必要はない」の割合が76.3%、「利用したい」の割合が17.0%となっています。



(1) 利用したい目的

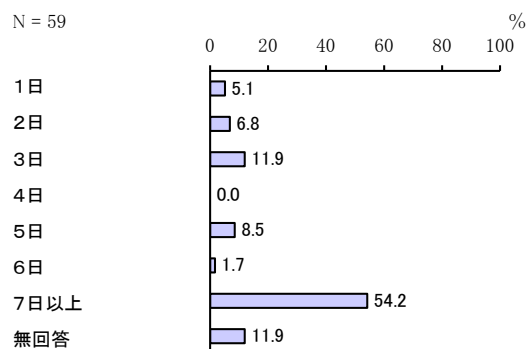
「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」の割合が58.6%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など、リフレッシュ目的）」の割合が53.2%、「不定期の就労」の割合が34.2%となっています。



(2) 利用したい合計日数

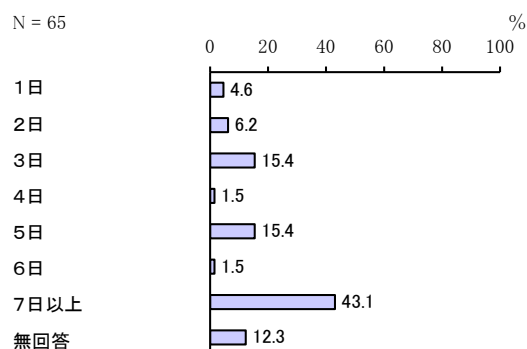
① 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など、リフレッシュ目的）」

「7日以上」の割合が54.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が11.9%となっています。



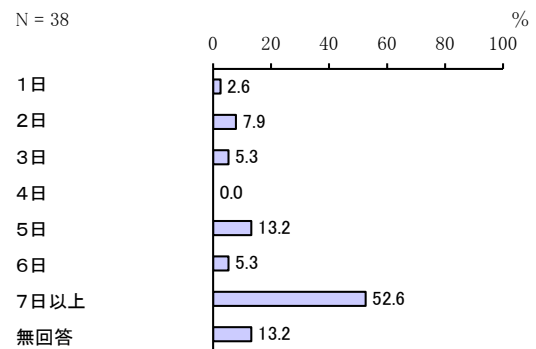
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など

「7日以上」の割合が43.1%と最も高く、次いで「3日」、「5日」の割合が15.4%となっています。



③ 不定期の就労

「7日以上」の割合が52.6%と最も高く、次いで「5日」の割合が13.2%となっています。

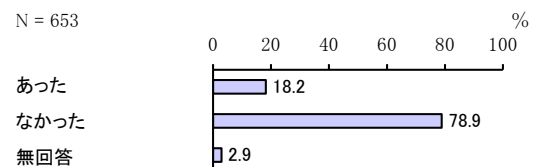


④ その他

「7日以上」が6件、「3日」が1件となっています。

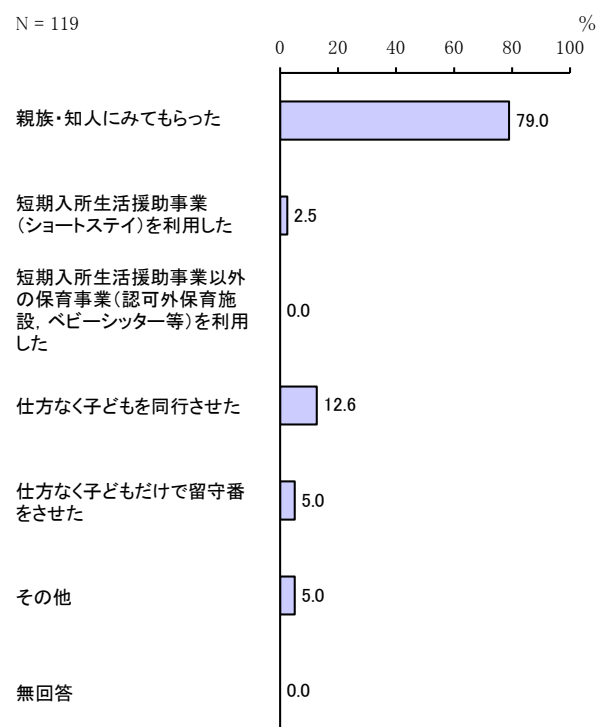
問 16 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその日数をご記入ください。

「あった」の割合が18.2%「なかった」の割合が78.9%、となっています。



(1) 1年間の対処方法

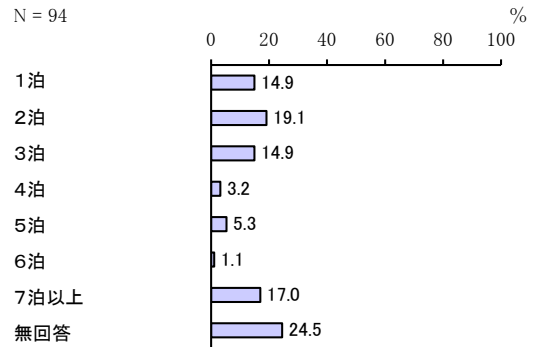
「親族・知人にみてもらった」の割合が79.0%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が12.6%となっています。



(2) 1年間の対処方法別日数

① 親族・知人にみてもらった

「2泊」の割合が19.1%と最も高く、次いで「7泊以上」の割合が17.0%、「1泊」、「3泊」の割合が14.9%となっています。



② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した

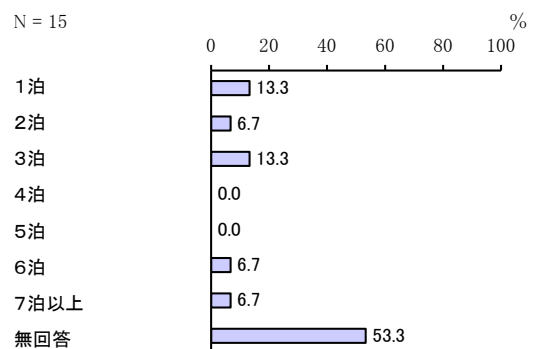
「7泊以上」が2件、「1泊」が1件となっています。

③ 短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した

有効回答はありません。

④ 仕方なく子どもを同行させた

「1泊」、「3泊」の割合が13.3%と最も高くなっています。



⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1泊」が1件となっています。

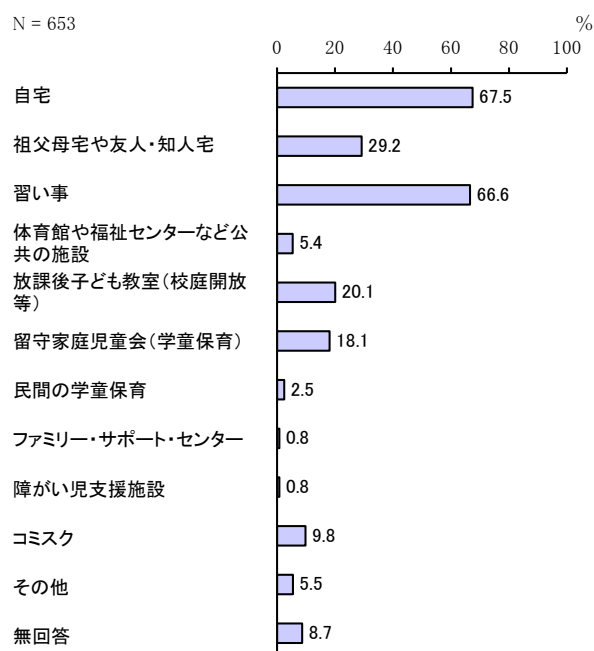
⑥ その他

「1泊」が2件、「2泊」、「7泊以上」が1件となっています。

(7) 放課後の過ごし方について

問17 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。または、過ごしていましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

「自宅」の割合が67.5%と最も高く、次いで「習い事」の割合が66.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が29.2%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、小学1年生で「留守家庭児童会（学童保育）」の割合が高く、23.5%（23件/98件）となっています。

	有効回答数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	体育館や福祉センターなど公共の施設	放課後子ども教室	留守家庭児童会(学童保育)	民間の学童保育	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	コミスク	その他	無回答
全体	653	441	191	435	35	131	118	16	5	5	64	36	57
	100.0	67.5	29.2	66.6	5.4	20.1	18.1	2.5	0.8	0.8	9.8	5.5	8.7
小学1年生	98	69	26	70	3	20	23	7	1	1	10	6	-
	100.0	70.4	26.5	71.4	3.1	20.4	23.5	7.1	1.0	1.0	10.2	6.1	-
小学2年生	124	100	42	99	9	38	22	2	-	-	19	11	-
	100.0	80.6	33.9	79.8	7.3	30.6	17.7	1.6	-	-	15.3	8.9	-
小学3年生	108	78	36	79	7	27	17	2	1	2	11	7	-
	100.0	72.2	33.3	73.1	6.5	25.0	15.7	1.9	0.9	1.9	10.2	6.5	-
小学4年生	102	66	26	58	3	18	16	1	-	-	7	3	19
	100.0	64.7	25.5	56.9	2.9	17.6	15.7	1.0	-	-	6.9	2.9	18.6
小学5年生	103	63	26	62	5	12	15	2	1	1	10	5	19
	100.0	61.2	25.2	60.2	4.9	11.7	14.6	1.9	1.0	1.0	9.7	4.9	18.4
小学6年生	103	55	32	59	6	14	21	2	2	1	6	3	19
	100.0	53.4	31.1	57.3	5.8	13.6	20.4	1.9	1.9	1.0	5.8	2.9	18.4

【中学校区別】

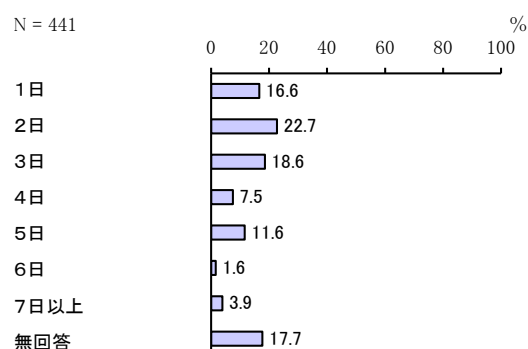
中学校区別にみると、精道地区、潮見地区で「留守家庭児童会（学童保育）」の割合が高くなっています。

	有効回答数	自宅	宅 祖 母 父 母 宅 や 友 人 ・ 知 人	習 い 事	体 育 館 や 福 祉 セ ン タ ー な ど 公 共 の 施 設	放 課 後 子 ど も 教 室	留 守 家 庭 児 童 会 （ 学 童 保 育 ）	民 間 の 学 童 保 育	セ ン タ ー ・ フ ア ミ リ ー ・ サ ポ ー ト	障 が い 児 支 援 施 設	コ ミ ス ク	そ の 他	無 回 答
全 体	653 100.0	441 67.5	191 29.2	435 66.6	35 5.4	131 20.1	118 18.1	16 2.5	5 0.8	5 0.8	64 9.8	36 5.5	57 8.7
山手	213 100.0	155 72.8	69 32.4	154 72.3	10 4.7	51 23.9	32 15.0	8 3.8	1 0.5	- -	23 10.8	14 6.6	10 4.7
精道	246 100.0	165 67.1	81 32.9	168 68.3	20 8.1	61 24.8	47 19.1	5 2.0	4 1.6	4 1.6	25 10.2	8 3.3	26 10.6
潮見	179 100.0	110 61.5	37 20.7	104 58.1	5 2.8	19 10.6	38 21.2	3 1.7	- -	1 0.6	14 7.8	13 7.3	20 11.2

（１）放課後の時間の過ごさせたい場所別週当たりの利用日数

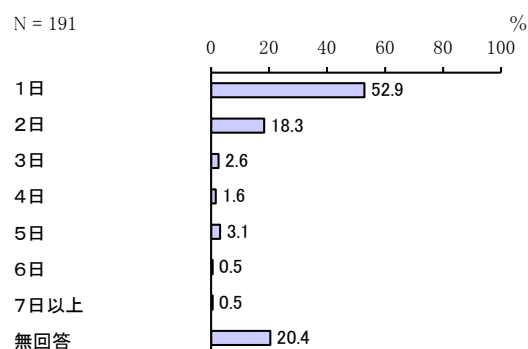
① 自宅

「２日」の割合が22.7%と最も高く、次いで「３日」の割合が18.6%、「１日」の割合が16.6%となっています。



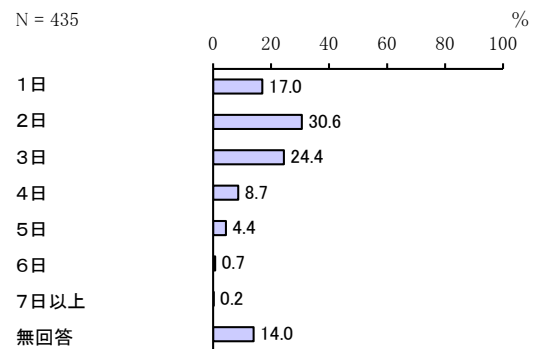
② 祖父母宅や友人・知人宅

「１日」の割合が52.9%と最も高く、次いで「２日」の割合が18.3%となっています。



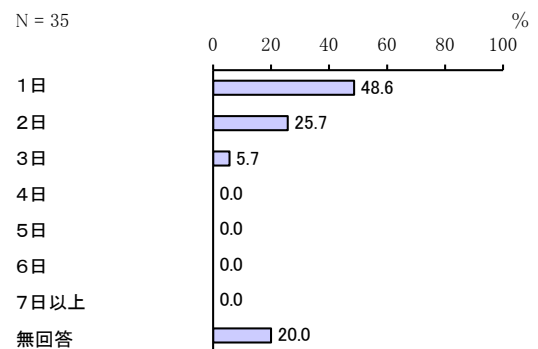
③ 習い事

「2日」の割合が30.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が24.4%、「1日」の割合が17.0%となっています。



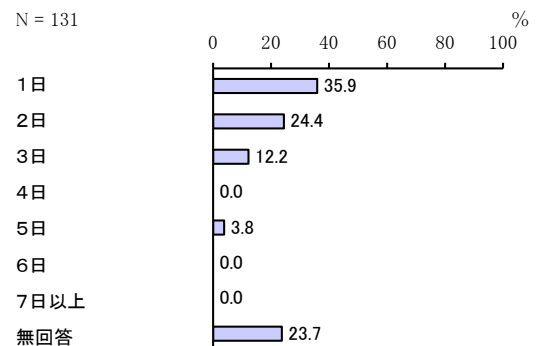
④ 体育館や福祉センターなど公共の施設

「1日」の割合が48.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.7%となっています。



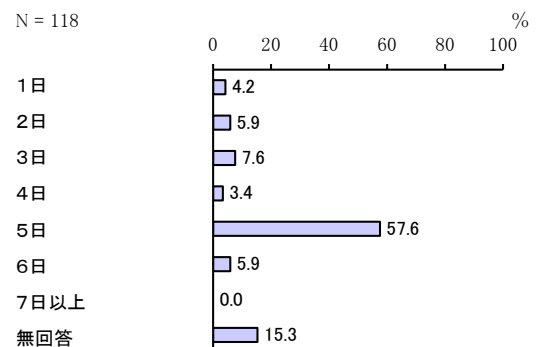
⑤ 放課後子ども教室

「1日」の割合が35.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が24.4%、「3日」の割合が12.2%となっています。



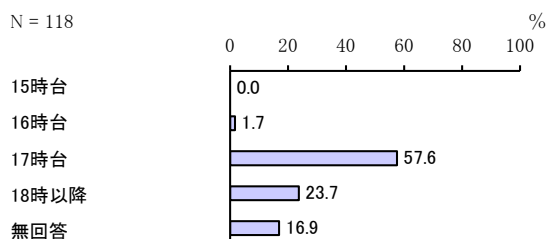
⑥ 留守家庭児童会（学童保育）

「5日」の割合が57.6%と最も高くなっています。



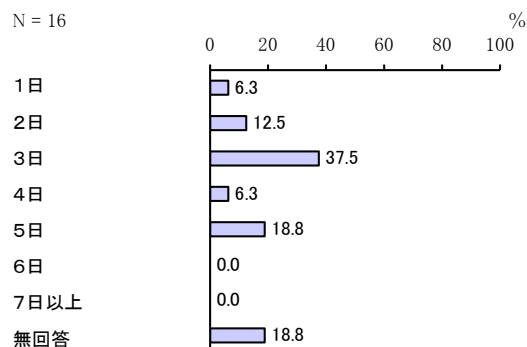
⑥-1 留守家庭児童会（学童保育）の利用終了時間

「17時台」の割合が57.6%と最も高く、次いで「18時以降」の割合が23.7%となっています。



⑦ 民間の学童保育

「3日」の割合が37.5%と最も高く、次いで「5日」の割合が18.8%、「2日」の割合が12.5%となっています。



⑧ ファミリー・サポート・センター

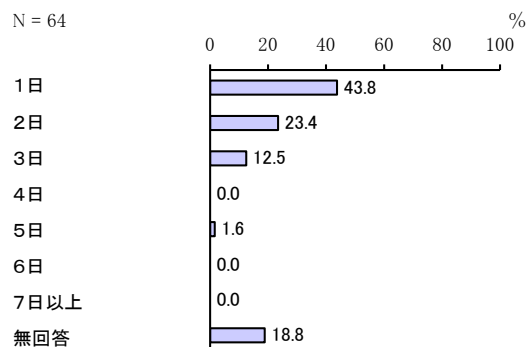
「1日」が2件、「2日」、「3日」が1件となっています。

⑨ 障がい児支援施設

「1日」、「3日」、「5日」が1件となっています。

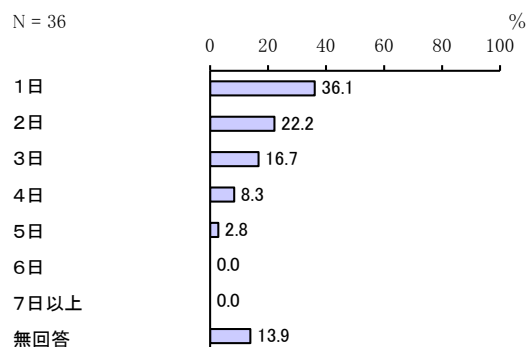
⑩ コミスク

「1日」の割合が43.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.4%、「3日」の割合が12.5%となっています。



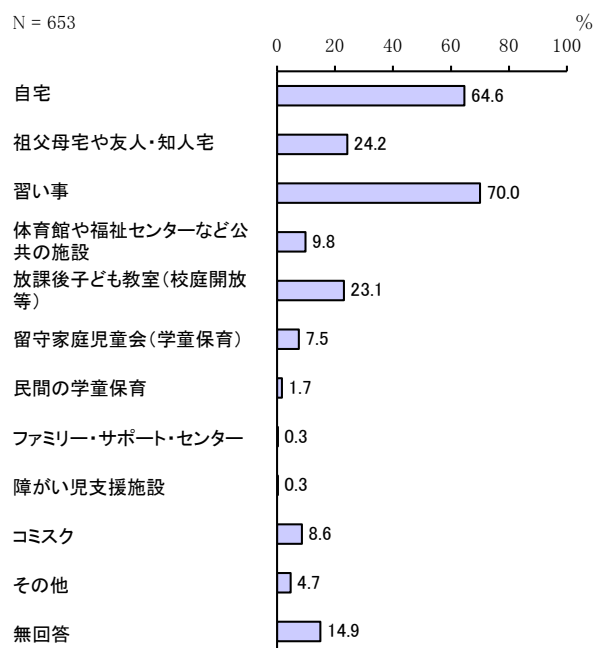
⑪ その他

「1日」の割合が36.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.2%、「3日」の割合が16.7%となっています。



問 18 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

「習い事」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 64.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が 24.2%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、小学2年生で「留守家庭児童会（学童保育）」の割合が高く、10.5%（13件／124件）なっています。

	有効回答数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	体育館や福祉センターなど公共の施設	放課後子ども教室	留守家庭児童会(学童保育)	民間の学童保育	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	コミスク	その他	無回答
全体	653	422	158	457	64	151	49	11	2	2	56	31	97
	100.0	64.6	24.2	70.0	9.8	23.1	7.5	1.7	0.3	0.3	8.6	4.7	14.9
小学1年生	98	55	19	61	4	22	6	4	-	-	7	4	26
	100.0	56.1	19.4	62.2	4.1	22.4	6.1	4.1	-	-	7.1	4.1	26.5
小学2年生	124	70	30	75	17	35	13	1	-	-	9	5	31
	100.0	56.5	24.2	60.5	13.7	28.2	10.5	0.8	-	-	7.3	4.0	25.0
小学3年生	108	54	25	66	6	22	9	1	1	1	9	4	30
	100.0	50.0	23.1	61.1	5.6	20.4	8.3	0.9	0.9	0.9	8.3	3.7	27.8
小学4年生	102	84	30	82	12	30	8	1	-	-	9	8	1
	100.0	82.4	29.4	80.4	11.8	29.4	7.8	1.0	-	-	8.8	7.8	1.0
小学5年生	103	77	25	84	11	20	4	2	-	-	14	5	2
	100.0	74.8	24.3	81.6	10.7	19.4	3.9	1.9	-	-	13.6	4.9	1.9
小学6年生	103	75	27	81	13	20	8	2	1	1	6	3	2
	100.0	72.8	26.2	78.6	12.6	19.4	7.8	1.9	1.0	1.0	5.8	2.9	1.9

【中学校区別】

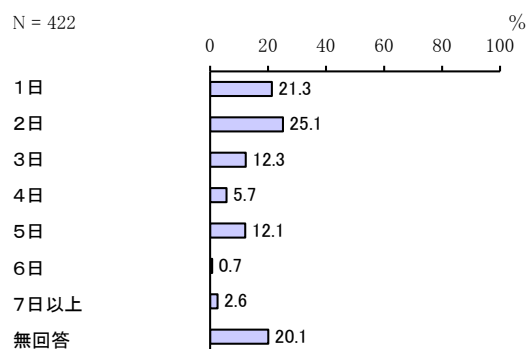
中学校区別にみると、潮見地区で「留守家庭児童会（学童保育）」の割合が高く、8.4%（15件／179件）なっています。

	有効回答数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	体育館や福祉センターなど公共の施設	放課後子ども教室	留守家庭児童会（学童保育）	民間の学童保育	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	コミスク	その他	無回答
全体	653	422	158	457	64	151	49	11	2	2	56	31	97
	100.0	64.6	24.2	70.0	9.8	23.1	7.5	1.7	0.3	0.3	8.6	4.7	14.9
山手	213	143	57	152	19	57	15	4	1	-	12	12	26
	100.0	67.1	26.8	71.4	8.9	26.8	7.0	1.9	0.5	-	5.6	5.6	12.2
精道	246	156	64	172	34	63	18	5	1	2	24	4	47
	100.0	63.4	26.0	69.9	13.8	25.6	7.3	2.0	0.4	0.8	9.8	1.6	19.1
潮見	179	113	33	122	10	30	15	2	-	-	17	13	23
	100.0	63.1	18.4	68.2	5.6	16.8	8.4	1.1	-	-	9.5	7.3	12.8

（１）放課後の時間の過ごさせたい場所別週当たりの利用日数

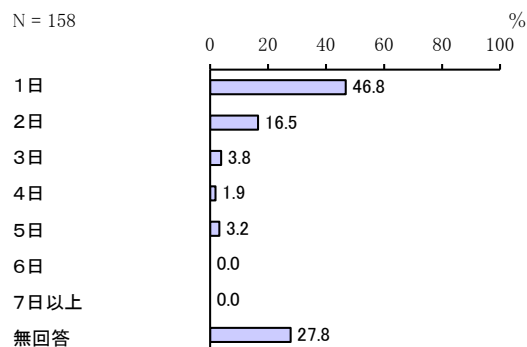
① 自宅

「2日」の割合が25.1%と最も高く、次いで「1日」の割合が21.3%、「3日」の割合が12.3%となっています。



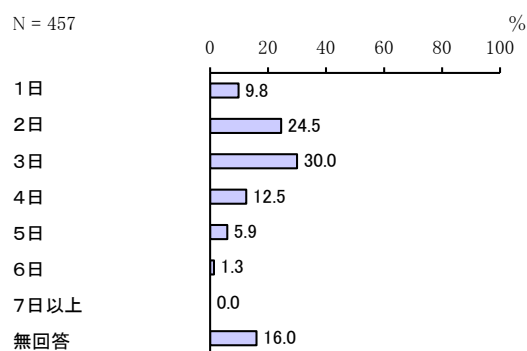
② 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が46.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が16.5%となっています。



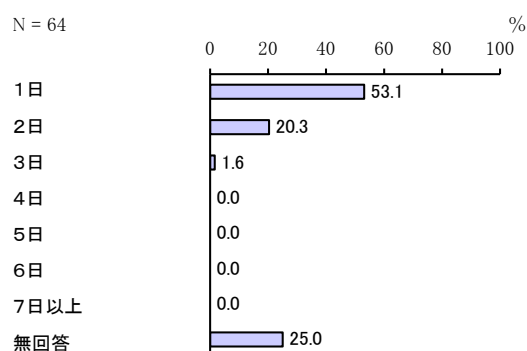
③ 習い事

「3日」の割合が30.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が24.5%、「4日」の割合が12.5%となっています。



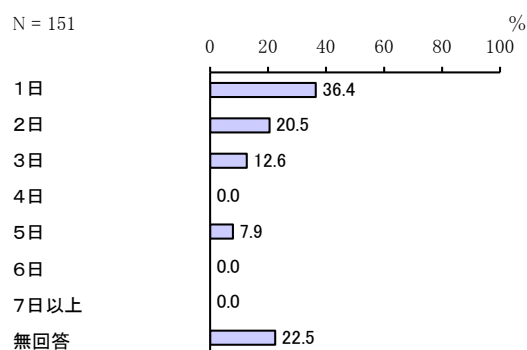
④ 体育館や福祉センターなど公共の施設

「1日」の割合が53.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.3%となっています。



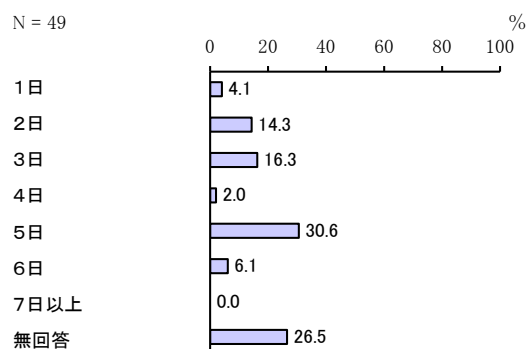
⑤ 放課後子ども教室

「1日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.5%、「3日」の割合が12.6%となっています。



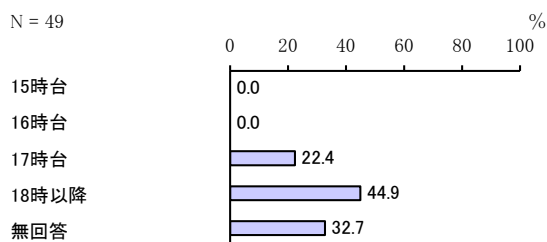
⑥ 留守家庭児童会（学童保育）

「5日」の割合が30.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が16.3%、「2日」の割合が14.3%となっています。



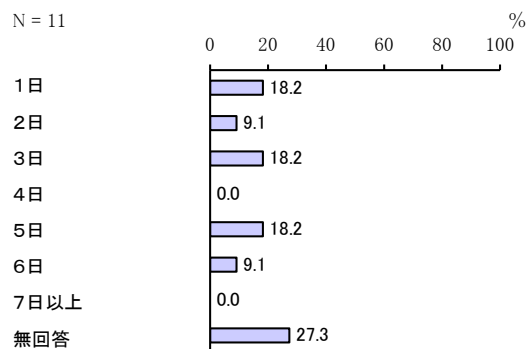
⑥-1 留守家庭児童会（学童保育）の利用終了時間

「18時以降」の割合が44.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が22.4%となっています。



⑦ 民間の学童保育

「1日」、「3日」、「5日」の割合が18.2%と最も高くなっています。



⑧ ファミリー・サポート・センター

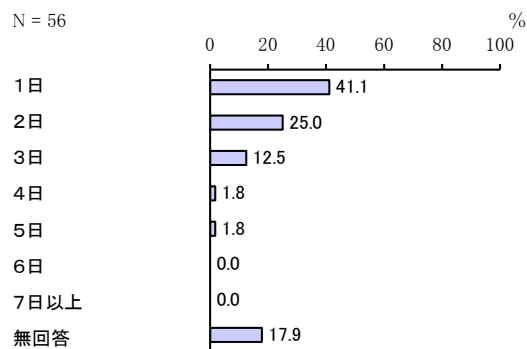
「1日」が1件となっています。

⑨ 障がい児支援施設

「3日」が1件となっています。

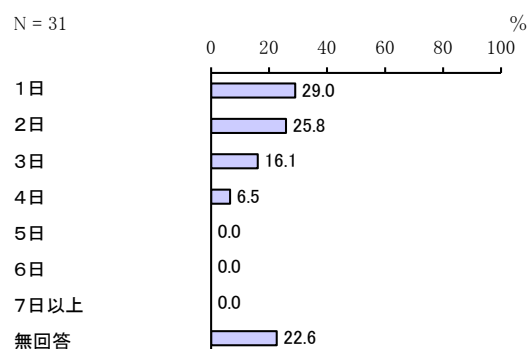
⑩ コミスク

「1日」の割合が41.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.0%、「3日」の割合が12.5%となっています。



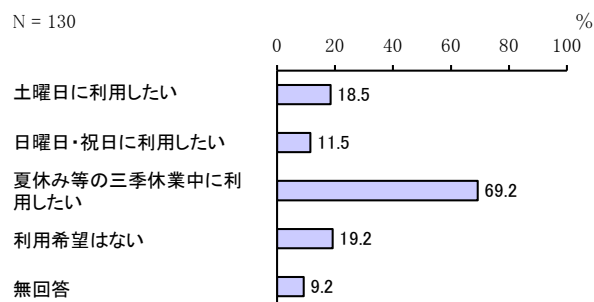
⑪ その他

「1日」の割合が29.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.8%、「3日」の割合が16.1%となっています。



問19 問17または問18で「6. 留守家庭児童会（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。土曜日、日曜日・祝日、夏休み等の三季休業中に利用したいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用したい時間帯をご記入ください。

「夏休み等の三季休業中に利用したい」の割合が69.2%と最も高く、次いで「利用希望はない」の割合が19.2%、「土曜日に利用したい」の割合が18.5%となっています。

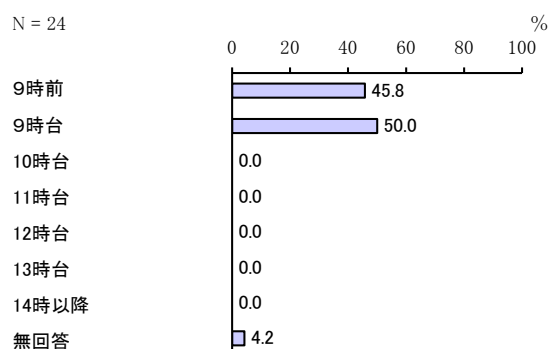


(1) 土曜日

① 利用したい時間帯

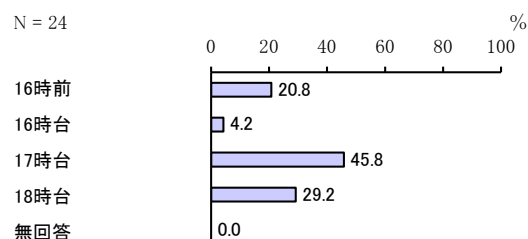
ア 開始時間

「9時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「9時前」の割合が45.8%となっています。



イ 終了時間

「17時台」の割合が45.8%と最も高く、次いで「18時台」の割合が29.2%、「16時前」の割合が20.8%となっています。

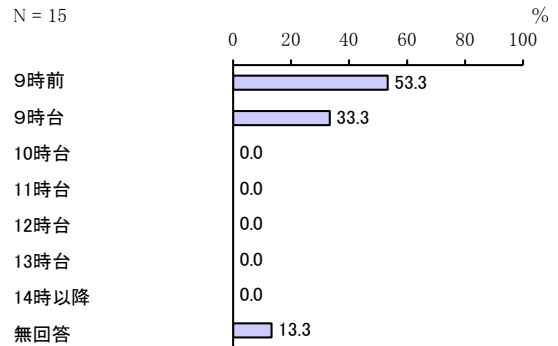


(2) 日曜日・祝日

① 利用したい時間帯

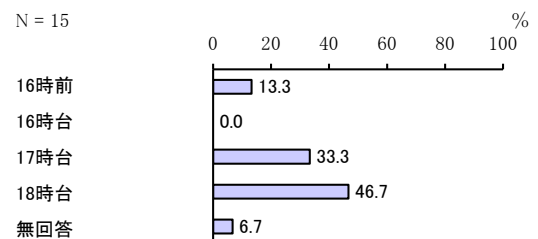
ア 開始時間

「9時前」の割合が53.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が33.3%となっています。



イ 終了時間

「18時台」の割合が46.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が33.3%、「16時前」の割合が13.3%となっています。

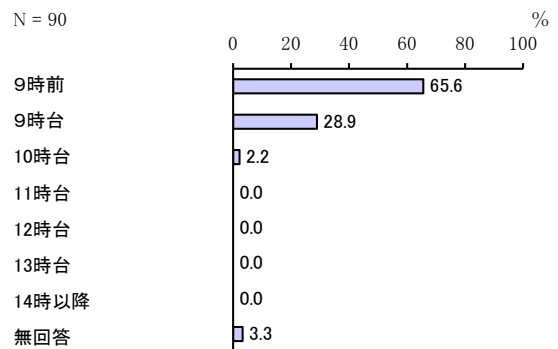


(3) 夏休み等の三季休業中

① 利用したい時間帯

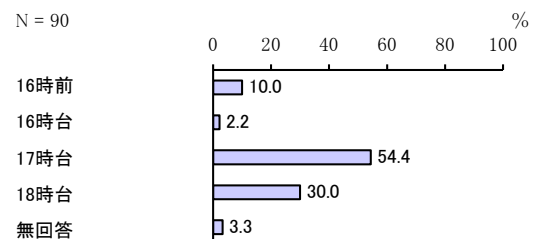
ア 開始時間

「9時前」の割合が65.6%と最も高く、次いで「9時台」の割合が28.9%となっています。



イ 終了時間

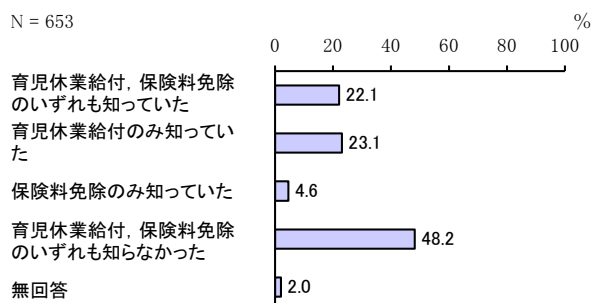
「17時台」の割合が54.4%と最も高く、次いで「18時台」の割合が30.0%、「16時前」の割合が10.0%となっています。



(8) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 20 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

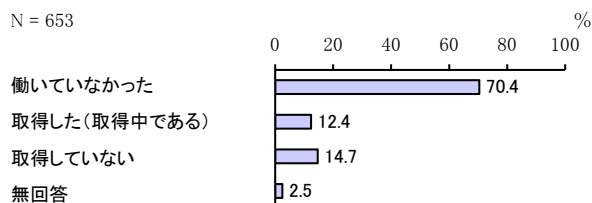
「育児休業給付，保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が48.2%と最も高く，次いで「育児休業給付のみ知っていた」の割合が23.1%，「育児休業給付，保険料免除のいずれも知っていた」の割合が22.1%となっています。



問 21 お子さんが生まれた時，育児休業を取得しましたか。母親，父親それぞれについて，当てはまる番号1つに○をつけてください。また，取得していない方はその理由について，当てはまる番号すべてに○をつけてください。

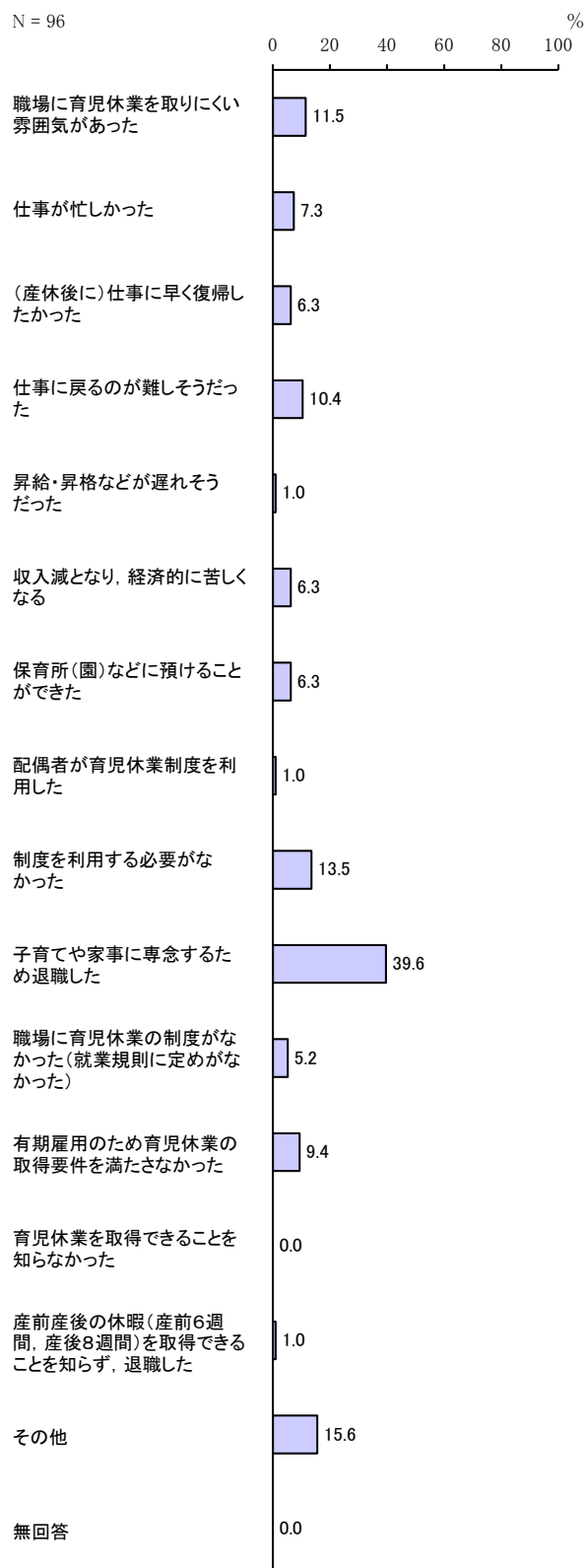
(1) 母親

「働いていなかった」の割合が70.4%と最も高く，次いで「取得していない」の割合が14.7%，「取得した（取得中である）」の割合が12.4%となっています。



① 取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が39.6%と最も高く、次いで「制度を利用する必要がなかった」の割合が13.5%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が11.5%となっています。

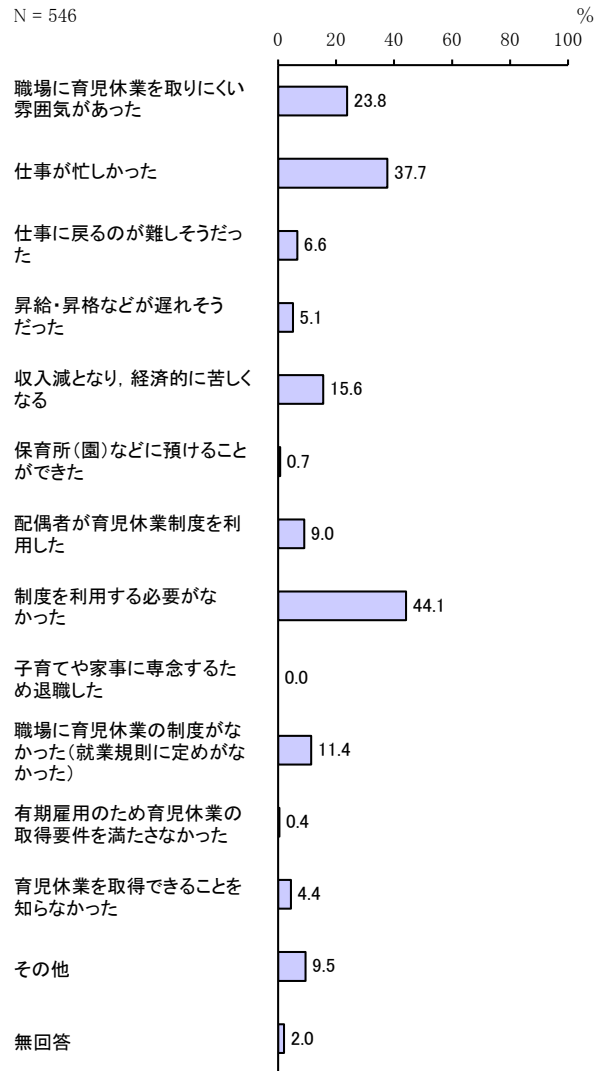
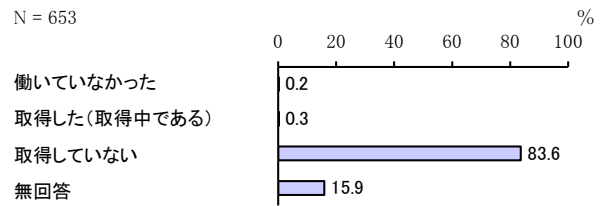


(2) 父親

「取得していない」の割合が 83.6%と最も高くなっています。

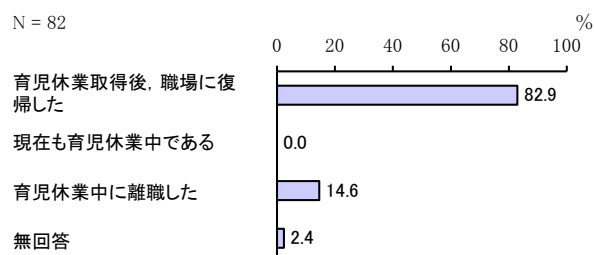
① 取得していない理由

「制度を利用する必要がなかった」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が 37.7%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 23.8%となっています。



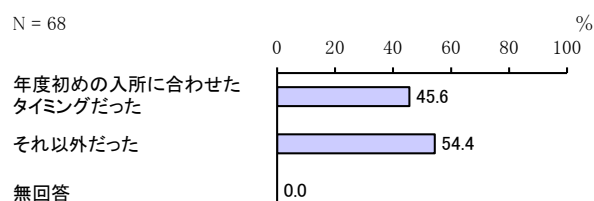
問 21-1 問 21 で母親または父親が、「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。なお、母親または父親のうち、どちらか育児休業期間を長く取得した方についてお答えください。該当しない方は、問 22 へお進みください。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 82.9%と最も高く、次いで「育児休業中に離職した」の割合が 14.6%となっています。



問 21-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

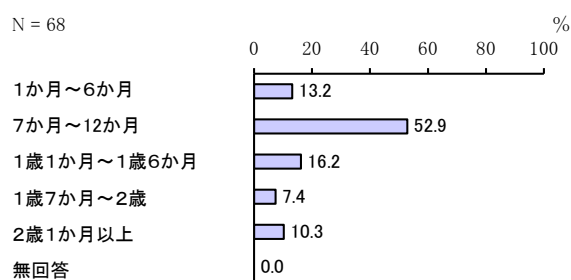
「それ以外だった」の割合が 54.4%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 45.6%となっています。



問 21-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。

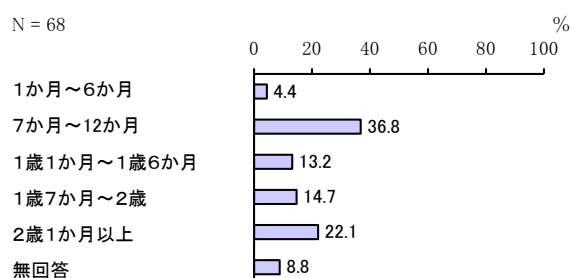
(1) 実際の取得期間

「7か月～12か月」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が 16.2%、「1か月～6か月」の割合が 13.2%となっています。



(2) 希望の取得期間

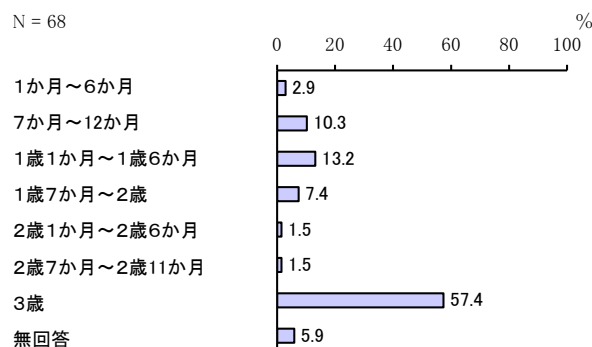
「7か月～12か月」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「2歳1か月以上」の割合が 22.1%、「1歳7か月～2歳」の割合が 14.7%となっています。



問 21-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

(1) 希望の歳

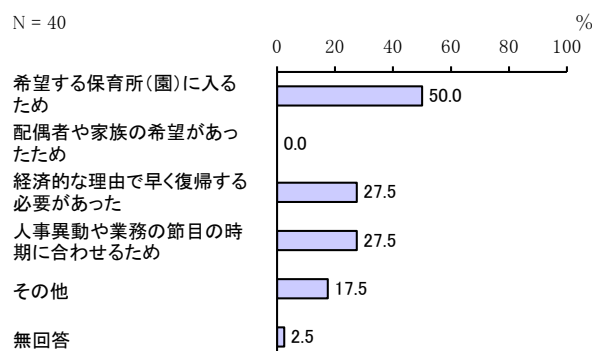
「3歳」の割合が57.4%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が13.2%、「7か月～12か月」の割合が10.3%となっています。



問 21-5 問 21-3で「実際」の復帰と「希望」が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

「希望する保育所(園)に入るため」の割合が50.0%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が27.5%となっています。

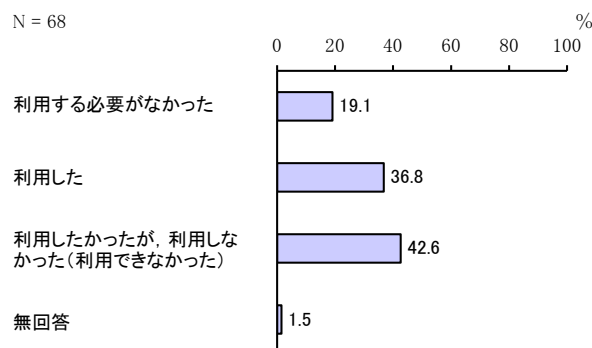


(2) 「希望」より遅く復帰した方

「希望する保育所(園)に入れなかったため」が3件となっています。

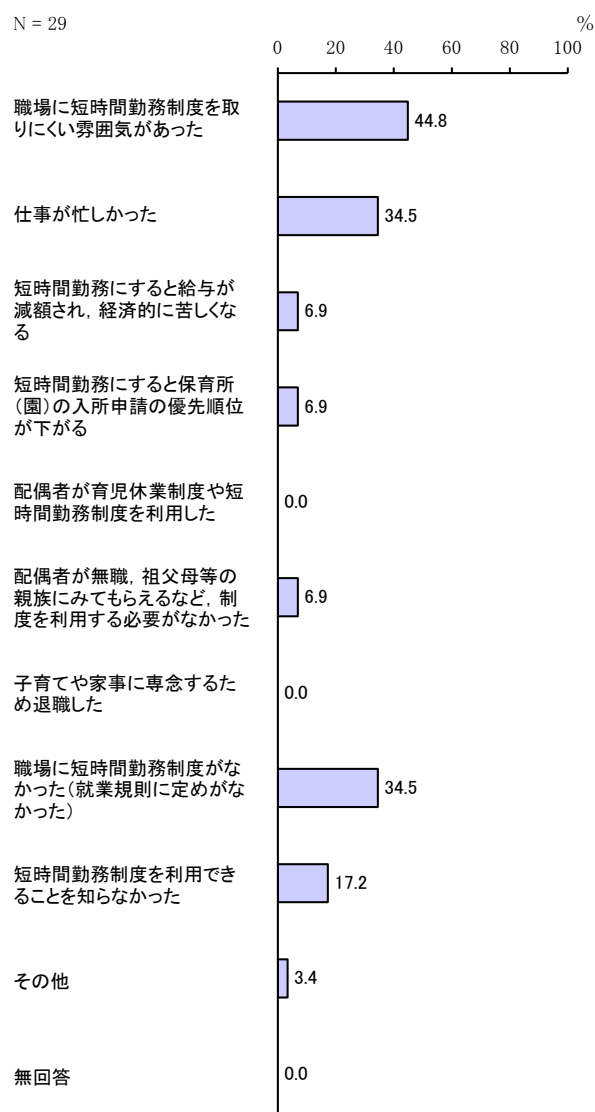
問 21-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が42.6%と最も高く、次いで「利用した」の割合が36.8%、「利用する必要がなかった」の割合が19.1%となっています。



問 21-7 問 21-6 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号をすべてに○をつけてください。

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が 34.5%となっています。



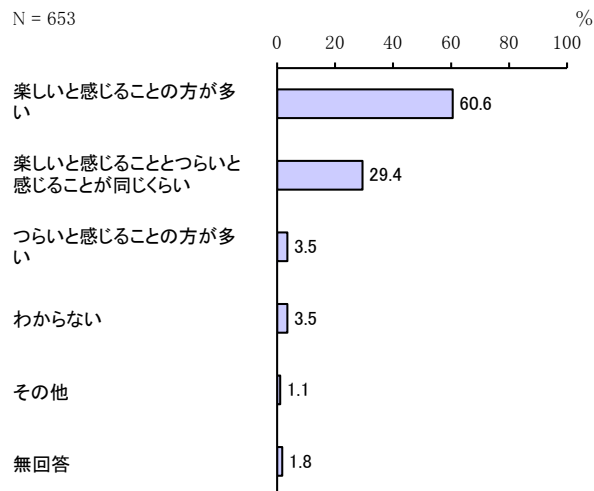
問 21-8 問 21-1 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

有効回答はありません。

(9) 芦屋市の今後の子育て施策について

問 22 ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

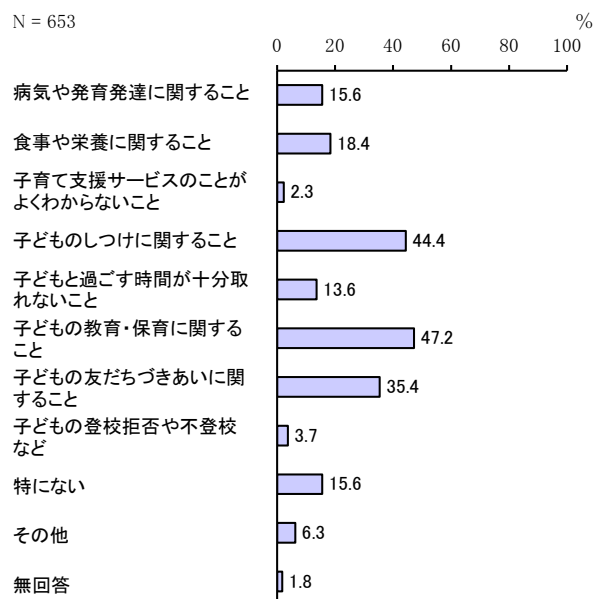
「楽しいと感じることの方が多い」の割合が60.6%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が29.4%となっています。



問 23 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

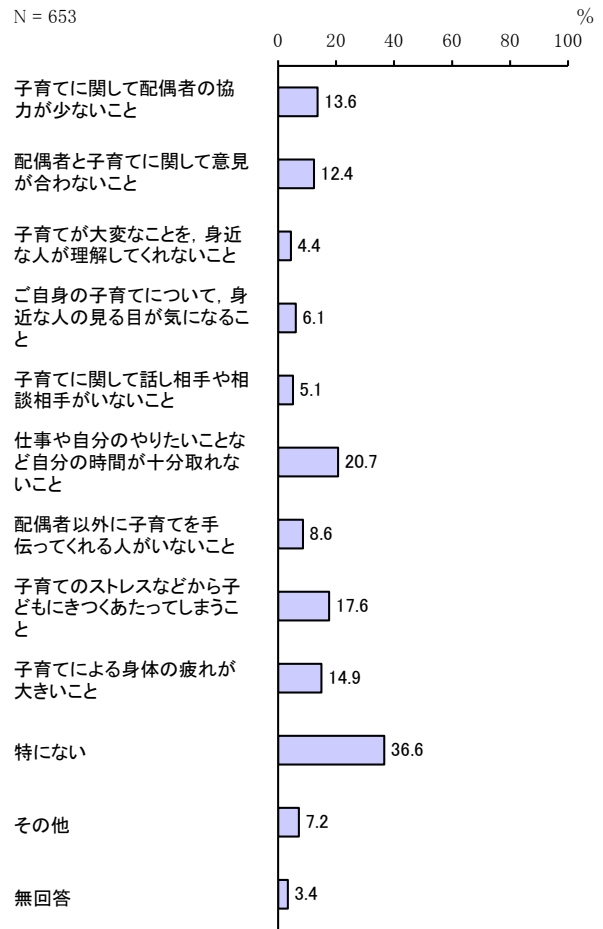
(1) 子どもに関すること

「子どもの教育・保育に関すること」の割合が47.2%と最も高く、次いで「子どものしつけに関すること」の割合が44.4%、「子どもの友だちづきあいに関すること」の割合が35.4%となっています。



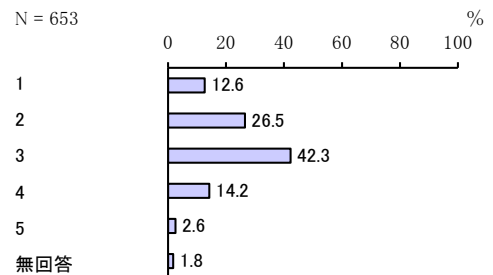
(2) ご自身に関すること

「特にない」の割合が36.6%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が20.7%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が17.6%となっています。



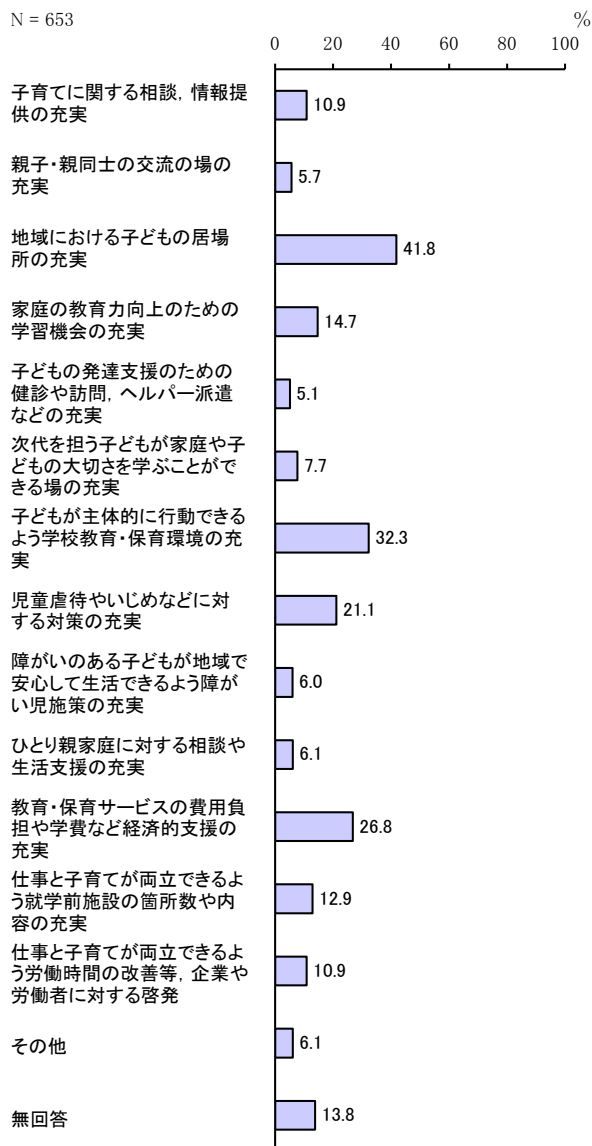
問 24 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。(1：満足度が低い，5：満足度が高い)

「3」の割合が42.3%と最も高く、次いで「2」の割合が26.5%、「4」の割合が14.2%となっています。



問 25 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「地域における子どもの居場所の充実」の割合が41.8%と最も高く、次いで「子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実」の割合が32.3%、「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が26.8%となっています。



3 芦屋市の子育て支援施策に関する意見・要望

最後に、子育て支援について多くの意見や要望等をいただきました。

(件数)

意見・要望項目	就学前児童	小学生児童
1. 家庭における子育てへの支援		
(1) 多様な子育て支援サービス環境の整備	120	31
(2) ひとり親家庭の自立支援の推進	2	2
(3) 子育て家庭への経済的支援	47	10
(4) 母と子どもの健康の確保	67	23
(5) 子育ての悩みや不安への支援	2	4
(6) 要保護児童への支援	2	3
2. 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供		
(7) 就学前教育・保育の体制確保	245	54
(8) 幼・保・小の連携	3	0
3. すべての子どもの育ちを支える環境の整備		
(9) 配慮が必要な子どもへの支援	11	5
(10) 地域における子どもの居場所づくりの推進	188	82
(11) 安全・安心なまちづくり	58	32
4. 仕事と子育ての両立の推進		
(12) 仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	19	2
(13) 産休・育休復帰を円滑に利用できる環境の整備	3	0
5. その他		
(14) その他	4	3
合計	771	251

意見・要望項目	主な意見内容
1. 家庭における子育てへの支援	
多様な子育て支援サービス環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共働き世帯は、地域とのつながりが薄く、どうしても孤立してしまう。 ・ 面談で悩んでいる事を話すとアフターケアまでしてもらい、肩の荷が下りた気分になった。 ・ どこでどうやって情報を集めたら良いのか、いつ頃から利用するのが良いのかがわからない。 ・ 子育て支援センターの開催日・時間・内容等を充実してほしい。 ・ 子育てセンターや、むくむくなど、もっと内容を充実させてほしい（開催回数、開催時間など）。 ・ 気さくに、声をかけてくれるコミュニケーション能力の高いコーディネーターを配置して、色々な企画運営をしてほしい。 ・ 就学前の子どもが行ける様な、体操教室、音楽教室などをしてほしい。 ・ 親子同士が交流できるきっかけとなる場を増やしてほしい。 ・ 子どもが自由に遊べる場を充実してほしい。 ・ 親のリフレッシュできる場がほしい。 ・ 地域で子育てしている人達に、温かい眼差しで、見守り、声をかけてほしい。 ・ 地区に、子ども会等があったら、色々な人とコミュニケーションを取りやすくなる気がする。
子育て家庭への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの医療費無料化の年齢拡大をしてほしい。 ・ 保育料を軽減してほしい。（特に、0～2歳児） ・ 妊婦検診の助成を拡充してほしい。
母と子どもの健康の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病児・病後児の保育を充実してほしい。
2. 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
就学前教育・保育の体制確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 待機児童の解消に努めてほしい。 ・ 公立幼稚園の3年保育を実施してほしい。 ・ 教育に関する施策を充実してほしい。 ・ 各家庭の家計や親の就労に関わらず、子どもたちが質の高い教育を受けられるようになってほしい。 ・ 幼稚園でも給食を実施してほしい。 ・ 気軽に一時預かりできる様な施設をもっと増やしてほしい。 ・ 認定こども園についてまだわからないことが多い。 ・ 中学校の学校給食を実施してほしい。

意見・要望項目	主な意見内容
3. すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
地域における子どもの居場所づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい子どもが遊んだりできる公園や施設を増やしてほしい。 ・子ども達が、気楽に立ち寄り、宿題ができたりする放課後の居場所を作してほしい。 ・芦屋市の子育てに関する事業は、沢山あるが偏りがある。 ・子どもが自然とふれあえる環境や機会を増やし、子どもの時しか体験できない様な事が出来る機会を増やしてほしい。 ・土、日、祝、または、降園後の時間に、運動、教室やイベント等を積極的に実施してほしい。 ・学童保育の時間延長と、対象を6年生まで広げてほしい。
安全・安心なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市は、街・道路の美化活動が素晴らしく、子ども達も、自然にマナーを学べるので、これからも継続してほしい。 ・芦屋市は、公園がとてもきれいに整備されているところが多いので、安心して遊ばせられる。 ・公園や歩道等の修繕を充実してほしい。 ・車や自転車の交通量が多い地区における安全対策を充実してほしい。
4. 仕事と子育ての両立の推進	
仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事をしている親が、安心して預けられる保育所を増やしてほしい。 ・保育園に入れられるか不安で安心して子育てと仕事を両立することができない。 ・幼稚園では全園で預かり保育が始まり、パートやアルバイトに行きやすくなった。

少数意見でしたが、以下のような意見がありました。

ひとり親家庭の自立支援の推進：父子家庭に対する支援を充実してほしい、休日・祝日の保育を実施してほしい

配慮が必要な子どもへの支援：障がい児のための保育園の枠を設けてほしい、子どもについて一貫して相談できる窓口を実施してほしい、公立幼稚園・小学校・中学校での個別な配慮に努めてほしい

Ⅲ 調査結果のまとめ

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

① 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況（就学前児童：問12）は、「利用している」の割合が63.7%、「利用していない」の割合が36.1%となっています。その事業（就学前児童：問12-1）は、「幼稚園」の割合が46.7%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が33.9%、「幼稚園の預かり保育」の割合が21.1%となっています。

中学校区別にみると、すべての地区で「幼稚園」の利用が高くなっているものの、山手地区では「幼稚園」の利用が特に高く、精道地区及び潮見地区では「認可保育所」の割合が高くなっています。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所（就学前児童：問12-4）については、「芦屋市内」の割合が78.5%、「芦屋市外」の割合が15.1%となっています。利用している教育・保育事業の実施場所別にみると、芦屋市外利用者の中で「幼稚園」の割合が高くなっています。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所へ通園する主な手段（就学前児童：問12-5）は「徒歩」の割合が41.9%と最も高く、次いで「自転車」の割合が21.6%、「自動車」の割合が20.1%となっています。利用している教育・保育事業への通園手段別にみると、徒歩で通園している73.0%は「幼稚園」の利用者となっており、自転車で通園している71.7%は「認可保育所」の利用者となっています。また、自動車で通園している利用者で高いのは「認可保育所」と「認可外の保育施設」となっており、通園バスで通園している利用者では、「幼稚園」が大半を占めています。

平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由（就学前児童：問12-6）については、「子どもの教育や発達のため」の割合が61.2%と最も高く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」の割合が43.4%となっており、保護者の就労状況や子育てに対する考えを丁寧に把握した上で、保育所等ニーズを把握していく必要があることがわかります。

② 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業（就学前児童：問13）は、「幼稚園」の割合が64.5%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が47.4%、「認可保育所」の割合が38.6%となっています。

定期的な教育・保育事業の利用の有無別にみると、現在事業を利用していない人で、「幼稚園」を回答している割合が高くなっていることから、これから就園していく家庭において「幼稚園」のニーズが高くなっていることがわかります。また、年齢別にみると、0歳・1歳では「幼稚園」と「認可保育所」がそれぞれ約5割となっており、2歳以降では、「幼稚園」ニーズが高まり、3歳以上では、「幼稚園」が7割と高く、「認可保育所」は3割弱となっていることから、すべての年齢において「幼稚園」ニーズが高くなっていることも特徴となっています。

一方で、母親の就労形態別にみると、他の就労形態に比べ、フルタイムで特に「認可保育所」が高く、次いで、「認可外の保育施設」、「ベビーシッター」、「ファミリー・サポート・センター」が高くなっています。また、パート・アルバイト等で「幼稚園」が最も高く、次いで「幼稚園の

預かり保育」が高くなっており、全体傾向と比べ、「認定こども園」も高くなっています。これらのことから、適正な教育・保育ニーズを見込むためには、就労状況に応じ家庭の類型化が重要になってくることがわかります。

パートタイムの母親のフルタイムへの転換希望別にみると、認可保育所を希望している人のうち、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた“フルタイムへの転換希望がある”と回答している人は、39.8%（35件／88件）と高くなっているものの、「実現できる見込みがある」の割合は、12.5%（11件／88件）と低くなっていることから、近年の就労環境が影響し、フルタイムを希望しても就労できない状況がうかがわれます。

未就労の母親の就労希望別にみると、「認可保育所」を希望している人で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が37.2%（51件／137件）となっていることから、1年以内に保育所等を利用することになる潜在的なニーズがあることがわかります。

また、利用している定期的な教育・保育事業別にみると、「幼稚園」、「認可保育所」を現在利用している人は、利用希望も同一の施設を希望している割合が最も高くなっています。一方で、「認可外の保育施設」を利用している人は、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「認可保育所」を希望している割合が高くなっており、希望している施設と現状の利用している施設の利用意向との乖離の現状がうかがわれます。

（2）地域の子育て支援事業の利用状況について

呉川町の子育てセンターで実施している、つどいのひろば「むくむく」の利用状況（就学前児童：問14）は、「利用している」の割合が12.6%、「利用していない」の割合が85.9%となっており、年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「利用している」の割合が低くなっています。

中学校区別にみると、山手地区で「利用していない」の割合が高く、89.9%（420件／467件）となっており、現在の立地場所が利用状況に顕著に影響していることがうかがわれます。

今は利用していないが、できれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思うか（就学前児童：問15）については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が61.4%と最も高く潜在的なニーズの高さがわかります。

（3）子どもの病気の際の対応について

この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはあるか（就学前児童：問19）について、「あった」の割合が68.1%、「なかった」の割合が23.7%となっており、年齢別にみると、1歳で「あった」の割合が高く、89.3%（67件／75件）となっています。

お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法（就学前児童：問19-1）は、「母親が休んだ」の割合が55.4%と最も高く、次いで「母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が34.7%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が30.3%となっています。

「母親が休んだ」または「父親が休んだ」のどちらかに○をつけた方で、その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか（就学前児童：問19-2）について、

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」の割合が48.8%、「利用したいとは思わない」の割合が48.5%となっています。母親の就労状況別にみると、フルタイムで「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」の割合が高く、53.8%（113件/210件）となっており、支援してくべきニーズが浮き彫りになっています。

なお、小学生児童調査（小学生児童：問13-2）で、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」人の割合が18.8%となっており、就学前児童に比べ割合は低くなっています。

（４）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はあるか（就学前児童：問20）について、「利用していない」の割合が60.0%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が18.5%となっています。また、利用希望（就学前児童：問21）については、「利用したい」の割合が53.3%、「利用する必要はない」の割合が38.9%となっています。母親の就労状況別にみると、未就労で「利用したい」の割合が高く、58.0%（440件/759件）となっており、その目的については「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など、リフレッシュ目的）」の割合が72.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」の割合が64.5%、「不定期の就労」の割合が27.2%となっています。

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあったか（就学前児童：問22）については、「あった」の割合が19.4%とわずかで、その対処方法も「親族・知人にみてもらった」の割合が87.5%と最も高くなっていることから、公的な保育サービスに依存せず親族や知人に預けることで対応していることがうかがわれます。

なお、小学生児童調査（小学生児童：問16）で、「あった」の割合が18.2%となっており、就学前児童に比べ割合はやや低くなっています。

（５）放課後の過ごし方について

① 小学校低学年（１～３年生）になったときの放課後の過ごし方

小学校低学年（１～３年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思うか（就学前児童：問23、小学生児童：問17）については、就学前児童調査（５歳児対象）では、「自宅」の割合が75.2%と最も高く、次いで「習い事」の割合が70.4%、「留守家庭児童会（学童保育）」の割合が27.4%となっています。

一方で、小学生児童調査では、「自宅」の割合が67.5%と最も高く、次いで「習い事」の割合が66.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が29.2%となっており、就学前児童調査（５歳児対象）との乖離があることがわかります。

就学前児童調査（５歳児対象）で中学校区別にみると、精道地区、潮見地区で「留守家庭児童会（学童保育）」の割合が高く、30%を超えており、小学生児童調査からも地域的なニーズの裏付けがされています。

② 小学校高学年（４～６年生）になったときの放課後の過ごし方

小学校高学年（４～６年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思うか（就学前児童：問24、小学生児童：問18）については、就学前児童（５歳

児対象)では、「習い事」の割合が83.9%と最も高く、次いで「自宅」の割合が78.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が23.9%となっています。

一方で、小学生児童では、「習い事」の割合が70.0%と最も高く、次いで「自宅」の割合が64.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が24.2%となっています。

就学前児童調査(5歳児対象)で中学校区別にみると、精道地区、潮見地区で「留守家庭児童会(学童保育)」の割合が高くなっています。小学生児童調査で年齢別にみると、小学2年生で「留守家庭児童会(学童保育)」の割合が高く、10.5%(13件/124件)となっています。中学校区別にみると、潮見地区で割合が高く、地域的なニーズの裏付けがされています。

(6) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあることを知っているか(就学前児童:問26)について、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が34.3%と最も高いものの、全体的な割合として、制度の周知が必要である状況です。

また、お子さんが生まれた時、育児休業を取得したか(就学前児童:問27)については、母親で「取得した(取得中である)」の割合が25.8%となっており、取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が41.2%と突出しています。

一方で、父親は、「取得していない」の割合が88.2%と最も高くなっており、取得していない理由については、「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「制度を利用する必要がなかった」の多様化した理由で取得できていないことから、企業も含めた仕事と子育ての両立支援の環境が必要であることがわかります。

なお、小学生児童調査(小学生児童:問20)で、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が48.2%となっており、就学前児童に比べ、高い数値になっています。一方で、育児休業を取得した割合(小学生児童:問21)も、就学前児童に比べ、父親・母親ともに低くなっていることから、育児休業制度が浸透し、利用が進んでいることがわかります。

(7) 芦屋市の今後の子育て施策について

① 子育ての楽しさ

ご自身にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思うか(就学前児童:問28,小学生児童:問22)については、就学前児童調査で「楽しいと感じることの方が多い」の割合が70.3%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が24.3%となっています。また、小学生児童調査においても同様な傾向となっていることから、就学前児童・小学生児童ともに健全な状況がうかがえます。

② 子育てに関することで日常悩んでいること、あるいは気になること

子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になること(就学前児童:問29,小学生児童:問23)について、就学前児童調査の子どもに関することでは、「子どものしつけに関するこ

と」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「子どもの教育・保育に関すること」の割合が 40.0%、「食事や栄養に関すること」の割合が 32.9%となっています。子育てを楽しんでいる状況別で見ると、つらいと感じることの方が多く、「子どものしつけに関すること」の割合が高くなっていることから、自分の子育て方法に自信が持てず、子どものしつけに関して悩んでいることが、子育てを楽しんでできていない現状となっていることがうかがわれます。

また、自身に関することでは、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が 28.2%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が 26.8%となっています。母親の就労状況別にみると、フルタイム、未就労で「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が高くなっていることや、子育てを楽しんでいる状況別にみると、「つらいと感じることの方が多く」人で理解や協力を得られない人の割合が高くなっていることから、母親が置かれている立場によって、自身に関することでの悩みの原因となっていることがうかがわれます。

なお、小学生児童調査の子どもに関することについては、ほぼ同様の傾向となっているものの、自身に関することでは、「特になし」が最も高くなっており、子育てによる自身の負担感が子どもの年齢とともに低くなっていることがわかります。

③ 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度

芦屋市における子育ての環境や支援への満足度（就学前児童：問 30，小学生児童：問 24）（1：満足度が低い，5：満足度が高い）については、「3」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「2」の割合が 26.1%、「4」の割合が 16.7%となっており、平均的な回答が得られています。

なお、小学生児童調査においても、ほぼ同様な傾向となっています。

④ 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なこと

芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なこと（就学前児童：問 31，小学生児童：問 25）については、就学前児童調査では、「地域における子どもの居場所の充実」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が 38.4%、「子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実」の割合が 34.9%となっています。母親の就労状況別にみると、未就労で「子育てに関する相談、情報提供の充実」の割合が高く、フルタイムで「仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の箇所数や内容の充実」の割合が高くなっています。

なお、小学生児童調査においても、ほぼ同様な傾向となっています。

参 考 资 料

子育て支援に関するアンケート調査
(就学前児童)

子育て支援に関するアンケート調査

～調査の趣旨とご協力のお願い～

【ご協力のお願い】

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、親子が豊かに育ち合い、子どもを生み育てることに夢や希望が持てるまちをめざして、さまざまな子育て支援に関する取り組みを進めています。

平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が可決・成立し、公布されました。この3法に基づき、新たな子ども・子育て支援新制度のもとで、教育・保育・子育て支援の充実を図る取り組みが進められています。

本市においても、この法律に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、子育て支援に関するサービスの利用状況や今後の利用希望などを把握するため、子どもの保護者を対象として、「アンケート調査」を実施させていただきます。

この調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの就学前のお子さんのいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただいた方です。

お答えは、すべて無記名で、個人が特定されることや、他の目的に使用することはございません。

ご多忙のこととは存じますが、このアンケートは、今後5か年の事業計画を決める大切なものですので、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成25年10月

芦屋市長 山中 健

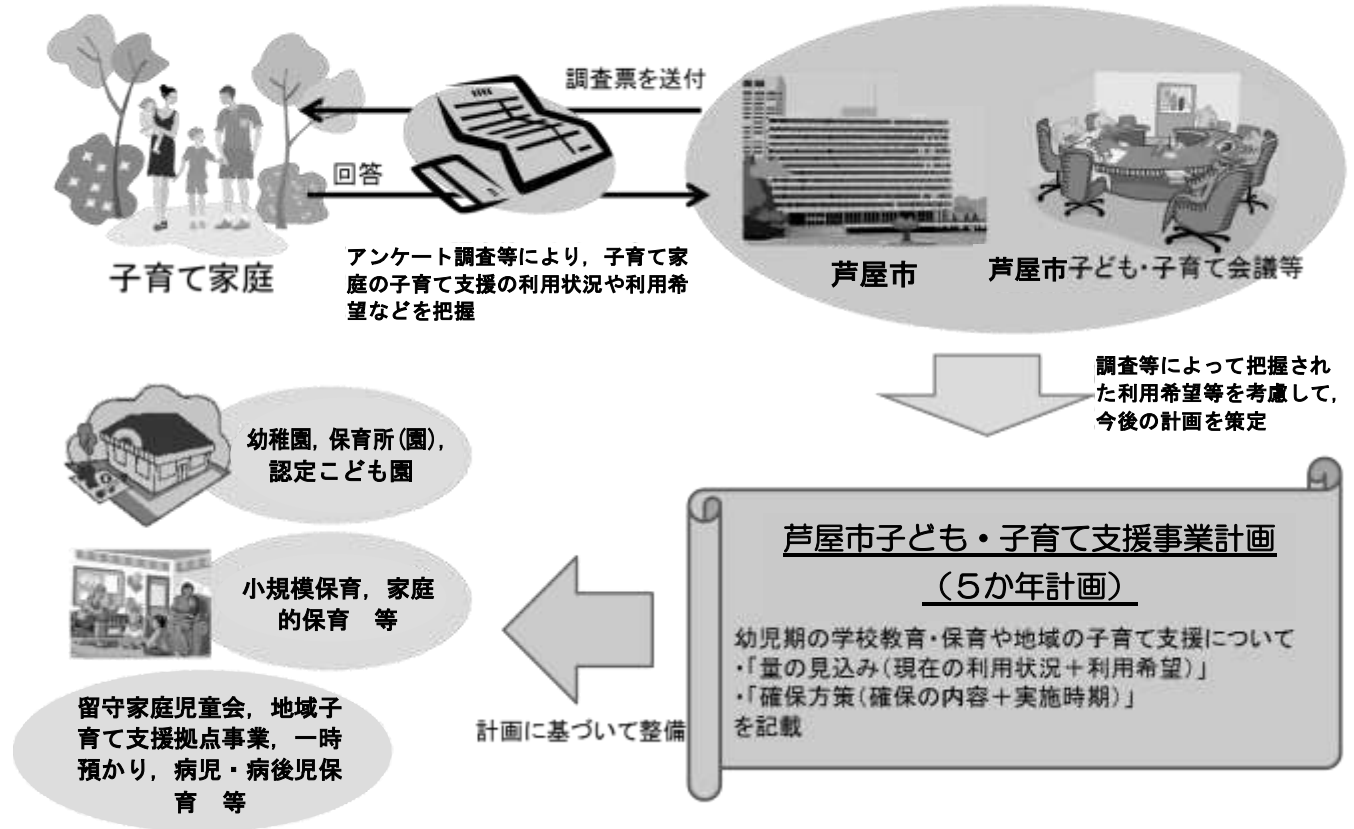
子ども・子育て支援新制度の目的

○子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

○子どもの成長においては、乳幼児期におけるしっかりとした愛情関係を基礎として、心身の健全な発達を通じて、学童期に至るまで一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

○子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



芦屋市の子育て支援事業内容と利用料

芦屋市では、現在、幼稚園、保育所での幼児教育・保育のほか地域で子育て・子育てを支えるためいろいろな制度でみなさんを応援しています。

	内容	利用できる条件	利用料金
1. 幼稚園	芦屋市には市立幼稚園が9園、私立幼稚園が4園あります。	市立幼稚園(2年保育)には、園区がありません。徒歩で通園が可能な幼稚園であれば、どこの園にでも申し込みができます。 私立幼稚園(3年保育)は、市内・市外を問わず3歳児になれば申し込みができます。	[市立幼稚園] 入園料 : 10,000円 月額保育料 : 9,500円 [私立幼稚園] 入園料 : 70,000円程度 月額保育料 : 20,000円程度 (それぞれ料金設定が違いますので、一例です。)
2. 幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業です。 定期的な利用のみを該当とするものと、通院、不定期の就労の際などに不定期に利用するものとあります。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の疾病、事故、出産、家族の看護もしくは介護のために預かり保育が必要な方 保護者の就労、就学等により、預かり保育を希望する方 園児の兄弟姉妹の授業参観もしくは懇談会に出席するために希望する方など 	[市立幼稚園] 通常保育日 : 日額 400円 長期休業日 : 日額 800円 [私立幼稚園] 200円/1時間程度 (それぞれ料金設定が違いますので、一例です。)

	内容	利用できる条件	利用料金
3. 認可保育所	<p>[入所の対象となる児童] 主に生後 3 か月経過後から就学前までの児童です。</p> <p>[標準的な保育時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> 開所時間内において保育に欠ける時間を保育時間とします。(開所時間：月曜日～土曜日の午前7時30分～午後6時) 延長保育は月曜日～金曜日の午後7時まで 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が昼間家庭の外で働いている(1日4時間以上、週4日以上が原則) 保護者が昼間家庭内で家事以外の労働をしている(自営・農業等) 妊娠中であるか、または出産後間がない(産前2か月、産後3か月) 保護者が病気である、心身に障がいがある 長期にわたる病人や心身に障がいのある同居親族を看護している 保護者が大学や職業訓練校、専門学校などに通っている 火災・風水害・地震などの災害による被災 	<p>入所児童と同一世帯に属して、生計を一つにしている扶養義務者の税額の合計額によって決定します。(次頁「芦屋市保育所保育料徴収金基準表」を参照)</p>
4. 認可外の保育施設	認可保育所(園)以外の子どもを預かる施設です。		<p>民間事業者が実施しているため、それぞれ料金設定が違います。下記の内容は一例です。</p> <p>月額 20,000 円～70,000 円程度</p>
5. 認定こども園	<p>現時点は、芦屋市にはありません。認定こども園では、長時間保育利用児(長児)と短時間保育利用児(短児)の2区分に分けられます。</p> <p>長時間保育利用児(長児)の利用者負担の額は、「政令で定める額」を限度として、支給認定保護者の世帯の所得の状況その他の事情を勘案して市町村が定める額、となっていますので、認可保育所の利用料金を参照してください。(次頁「芦屋市保育所保育料徴収金基準表」を参照)</p> <p>短時間保育利用児(短児)の利用者負担の額は、近隣の一例として、入園料 9,000 円～50,000 円程度、月額保育料 10,000 円～20,000 円程度となっています。</p>		
6. 家庭的保育	保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業です。		<p>民間事業者が実施しているため、それぞれ料金設定が違います。下記の内容は一例です。</p> <p>月額 20,000 円～70,000 円程度</p>
7. 事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設です。		<p>民間事業者が実施しているため、それぞれ料金設定が違います。下記の内容は一例です。</p> <p>月額 20,000 円～70,000 円程度</p>
8. ベビーシッター (居宅訪問型保育)	保育者が子どもの家庭で保育する事業です。		<p>民間事業者が実施しているため、それぞれ料金設定が違います。下記の内容は一例です。</p> <p>入会金：50,000 円程度 年会費：10,000 円程度 利用料金：2,300 円/1 時間程度</p>
9. ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かる事業です。現在、芦屋市では、社会福祉協議会に委託しています。	0歳から小学校6年生までのお子さんをお持ちの芦屋市在住・在勤の人	<p>最初の1時間まで 800 円 1 時間を超えると 400 円/30 分</p>
10. 障がい児支援施設	指導と訓練、その他集団適応など必要な支援を受けたり、心身の発達に支援を要する児童が、通所により適切な放課後を過ごしたりします。	障害福祉サービスまたは障害児通所支援にかかる支給決定を受けている児童	<p>利用したサービスの費用の1割を負担いただきます。(月額の上限があります。)</p> <p>※すすく学級は利用者負担はありません。</p>

	内容	利用できる条件	利用料金
11. 病児・病後児保育	病気やけがにより、保育所等で他の児童との集団生活が困難な児童を一時的にお預かりする事業です。	<ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市に居住または市内の保育所等に在籍する生後6か月から10歳未満までの児童 ・保護者が就労・傷病・事故・冠婚葬祭の都合により家庭での保育を行うことが困難な児童 ・当面症状の急変はないが、病気やけがの回復期に至っていない児童または回復期の児童 	1人1日2,000円
12. 一時預かり	一時預かり事業は、保護者の方が週3日だけ働いたり、病気などで入院したりして家庭で保育が困難になった就学前の児童を保育所でお預かりする事業です。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労、職業訓練及び就学等により平均週3日を限度として断続的に家庭保育が困難になる就学前の児童 ・保護者の傷病、災害、事故、看護、介護等の社会的にやむをえない理由により、緊急・一時的に家庭保育が困難となる就学前の児童（利用回数は1か月に12日を限度とする） 	1日につき2,000円（うち500円は飲食物費）
13. 留守家庭児童会（学童保育）	保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに指導員のもとで、授業終了後の生活の場を提供する公的なものをいいます。	学校の放課後、保護者が就労等で昼間家庭を不在にする小学1年生から3年生	育成料月額 10,000円 （うち2,000円は飲食物・教材費） <ul style="list-style-type: none"> ・土曜保育加算：月額 1,600円 ・延長保育加算：月額 3,000円 ※延長保育の実施は新年度入会受付期間の利用希望調査により各小学校別で決定いたします。

※事業・サービスは、年齢や条件によって違うものがありますので、あくまで目安として参照してください。また、現時点での内容・利用条件・利用料金となっていますので、平成27年度からの子ども・子育て支援新制度によるものではありません。

芦屋市保育所保育料徴収金基準表

各月初日の在籍児童の属する世帯の階層区分		徴収基準額（月額）		
階層区分	定義	3歳未満児	3歳以上児	
A	生活保護法（昭和25年法律第144号）による被保護世帯（単給世帯を含む。）及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律（平成6年法律第30号）による支援給付受給世帯	0円	0円	
B	A階層及びD階層を除き前年度分の市町村民税の区分が次の区分に該当する世帯	市町村民税非課税世帯	5,500円	5,000円
C		市町村民税課税世帯	9,500円	9,000円
D1	A階層を除き前年分の所得税課税世帯であってその所得税の額の区分が次の区分に該当する世帯	15,000円未満	15,000円	13,500円
D2		15,000円以上 40,000円未満	25,500円	22,000円
D3		40,000円以上 63,000円未満	35,500円	28,000円
D4		63,000円以上 103,000円未満	43,500円	30,000円
D5		103,000円以上 241,000円未満	54,500円	32,500円
D6		241,000円以上 413,000円未満	60,000円	34,000円
D7		413,000円以上 734,000円未満	71,000円	37,000円
D8		734,000円以上	89,000円	41,000円

子育て支援に関するアンケート調査

～ご記入にあたって～

- ご回答は、できるかぎり封筒の宛名のお子さんの保護者の方をお願いしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- 時刻を記入するところでは、当てはまる時刻を、24時間表記で記載してください。
(例) 9時～18時、17時まで
- ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、
10月31日(木)までにご返送ください。(切手は不要です。)
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問合せ】 芦屋市こども・健康部こども政策課 電話：38-2180 FAX：38-2190

※なお、平日以外にも説明させていただきますので、お気軽にお越しください。

日時：10月26日(土) 18時30分 から 20時00分 まで

場所：上宮川文化センター(芦屋市上宮川町10番5号)

10月27日(日) 9時30分 から 11時00分 まで

場所：保健福祉センター(芦屋市呉川町14番9号)

To those who need English translation

(英語の翻訳を必要とする方へ)

This survey is not obligatory. Translated questionnaires have been prepared. So if you cooperate this survey, please send an E-mail to the following address. Thank you.

E-mail : kodomoseisaku@city.ashiya.lg.jp

アンケート調査票に使われている用語の定義

- 幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
- 保育所(園)：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
- 認定こども園：幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
- 子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教 育：問12までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問12以降においては幼稚園、認定こども園での教育の意味で用いています
- 保 育：幼児の心身の健やかな発育を目的として、保育所(園)などで行われる養育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる町に○をつけてください。

地区					【参考】小学校区
1. 奥池町	2. 奥池南町	3. 奥山	4. 大原町	5. 上宮川町	山手小学校区
6. 劔谷	7. 三条町	8. 三条南町	9. 清水町	10. 月若町	
11. 業平町	12. 西芦屋町	13. 西山町	14. 東芦屋町	15. 船戸町	
16. 前田町	17. 松ノ内町	18. 山芦屋町	19. 山手町		
20. 岩園町	21. 楠町	22. 親王塚町	23. 翠ヶ丘町	24. 六麓荘町	
25. 朝日ヶ丘町	26. 東山町				朝日ヶ丘小学校区
27. 伊勢町	28. 大榎町	29. 川西町	30. 公光町	31. 精道町	精道小学校区
32. 竹園町	33. 茶屋之町	34. 津知町	35. 浜芦屋町	36. 平田北町	
37. 平田町	38. 松浜町				
39. 打出小槌町	40. 呉川町	41. 西蔵町	42. 浜町	43. 宮川町	宮川小学校区
44. 宮塚町	45. 若宮町				打出浜小学校区
46. 打出町	47. 春日町	48. 大東町	49. 南宮町		
50. 海洋町	51. 潮見町	52. 涼風町	53. 緑町	54. 南浜町	潮見小学校区
55. 陽光町	56. 若葉町				浜風小学校区
57. 高浜町	58. 新浜町	59. 浜風町			

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

平成 ____年__月生まれ

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。

きょうだい数 ____人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|-----------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労，以下同様）で就労している | 【(1) -1〜】 |
| 2. フルタイムで就労しているが，産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労，以下同様）で，就労している | |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが，産休・育休・介護休業中である | 【(2) 〜】 |
| 5. 以前は就労していたが，現在は就労していない | |
| 6. これまで就労したことがない | |

(1) - 1 **(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。**

1週当たりの「就労日数」，1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」，「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は，もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は，休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり ____日 1日当たり ____時間

家を出る時間 ____時 帰宅時間 ____時

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| 1. フルタイムで就労している | 【(2) -1〜】 |
| 2. フルタイムで就労しているが，育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等で就労している | |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが，育休・介護休業中である | 【問11〜】 |
| 5. 以前は就労していたが，現在は就労していない | |
| 6. これまで就労したことがない | |

(2) - 1 **(2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。**

1週当たりの「就労日数」，1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」，「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は，もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は，休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり ____日 1日当たり ____時間

家を出る時間 ____時 帰宅時間 ____時



問 10 **問9の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。**該当しない方は、問 11 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 11 **問9の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。**該当しない方は、問 12 へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する___には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが ___歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム 2. パート・アルバイト等 | } |
| →1週当たり ___日 1日当たり ___時間 | |

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが ___歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム 2. パート・アルバイト等 | } |
| →1週当たり ___日 1日当たり ___時間 | |

お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業です。
具体的には、幼稚園や保育所(園)など、問 12-1 に示した事業が含まれます。

問 12 お子さんは現在、幼稚園や保育所(園)などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ---▶ **【問 12-1 へ】**
2. 利用していない ---▶ **【問 12-7 へ】**

問 12-1～問 12-6は、問 12で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-1 利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の保育時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の保育終了後預かる事業のうち定期的な利用のもの）
3. 認可保育所（市の窓口で受付を行う施設）
4. 認可外の保育施設
5. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
6. 家庭的保育（保育ママの家庭等で子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業等が主に従業員用に運営する施設）
8. ベビーシッター（居宅訪問型保育：保育者が子どもの家庭で保育する事業）
9. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
10. 障がい児支援施設
11. その他（)

問 12-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。___に具体的な数字でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり ___日 1日当たり ___時間（ ___時～ ___時）

(2) 希望

1週当たり ___日 1日当たり ___時間（ ___時～ ___時）

問 12-3 **問 12-1で「2.幼稚園の預かり保育」に○をつけた方にうかがいます。**
どのくらい利用していますか。___に具体的な数字でご記入ください。

1週当たり ___日 1日当たり ___時間（ ___時～ ___時）

問 12-4 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

1. 芦屋市内
2. 芦屋市外（ ___市）

問 12-5 現在、利用している教育・保育事業の実施場所へ通園する主な手段についてうかがいます。主な通園手段を1つ選んで○をつけてください。

1. 徒歩
2. 自転車
3. 自動車
4. 通園バス
5. 路線バス
6. 電車
7. その他（)

問 12-6 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方に病気や障がいがある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（)

問 12-7 **問 12で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。**

利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもが____歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他 ()

問 13 **すべての方にうかがいます。**現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。(別紙参照)

1. 幼稚園(通常の保育時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常の保育終了後預かる事業のうち定期的な利用のもの)
3. 認可保育所(市の窓口で受付を行う施設)
4. 認可外の保育施設
5. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
6. 家庭的保育(保育ママの家庭等で子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. ベビーシッター(居宅訪問型保育:保育者が子どもの家庭で保育する事業)
9. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
10. 障がい児支援施設
11. その他 ()

問 13-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 芦屋市内
2. 芦屋市外 () 市)
3. どちらでもよい

問 13-2 今後、新たに教育・保育事業を選ぶことを想定した場合、重視することはどのようなことですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 教育・保育の内容や方針が希望にあう
2. 教育・保育者の質が高い
3. 保育に伴うサービス(預かり時間・バス送迎・課外教室等)
4. 施設や設備が充実している
5. 給食の提供
6. 園庭がある
7. 保育時間が利用希望にあう
8. 認可されている施設である
9. 保育料が適正である
10. 親の負担の程度が軽い
11. 親が運営・行事などに関わる機会が多い
12. 自宅から距離が近い
13. 利用する駅や職場からの距離が近い
14. 家族や知り合いが通っている(通っていた)
15. 近所や知人の評判
16. 公立
17. 私立
18. 特別な支援が必要な子どもの受け入れ態勢の充実
19. 小学校や地域と積極的に連携している
20. その他 ()

お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 14 お子さんは、現在、呉川町の子育てセンターで実施している、つどいのひろば「むくむく」を利用していますか。

1. つどいのひろば「むくむく」
1 週当たり ____回 もしくは 1 か月当たり ____回程度
2. 利用していない

問 15 問 14 のようなつどいのひろばについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思いませんか。

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり ____回 もしくは 1 か月当たり ____回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1 週当たり 更に ____回 もしくは 1 か月当たり 更に ____回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 16 下記の施設や事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑫の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、該当するところに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
①子育てセンター（福祉センター内）			
②あい・あいるーむ（民生児童委員が運営する子育てひろば）			
③なかよしひろば（幼稚園）			
④園庭開放（保育所（園））			
⑤つどいのひろば「ぷくぷく」（男女共同参画センター内）			
⑥つどいのひろば「もこもこ」（上宮川文化センター内）			
⑦図書館（分室含む）			
⑧市民センター・公民館			
⑨青少年センター・体育館			
⑩未就園児対象遊びの場（幼稚園）			
⑪児童センター（上宮川文化センター内）			
⑫特別支援教育センター（福祉センター内）			

お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 17 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。(別紙参照)

(1) 土曜日

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯 |
| 2. ほぼ毎週利用したい | |
| 3. 月に1~2回は利用したい | |
- _____時から _____時まで

(2) 日曜日・祝日 ※これらの事業は現在芦屋市では行っておりません。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯 |
| 2. ほぼ毎週利用したい | |
| 3. 月に1~2回は利用したい | |
- _____時から _____時まで

問 17-1 **問 17 の (1) または (2) で、「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**

毎週ではなく、月に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. リフレッシュのため |
| 5. その他 (_____) | |

問 18 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育事業の利用を希望しますか。該当する番号に○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。(別紙参照)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯 |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | |
- _____時から _____時まで

問 18-1 **問 18 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**

毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. リフレッシュのため |
| 5. その他 (_____) | |



お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 19 **問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。**

この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ---▶【問 19-1 へ】
2. なかった ---▶【問 20 へ】

問 19-1 **問 19 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。**

お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数を数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対処方法	日数
1. 母親が休んだ	日
2. 父親が休んだ	日
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	日
4. 母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた	日
5. 病児・病後児の保育を利用した	日
6. ベビーシッターを利用した	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
9. その他()	日

【問 20 へ】

問 19-2 **問 19-1 で「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」のどちらかに○をつけた方にうかがいます。**

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその日数についてもご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生し(別紙参照)、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい → 年間____日
2. 利用したいとは思わない



お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます。

問 20 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数をご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （保育所（園）などで一時的に子どもを保育する事業）	日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の保育終了後預かる事業のうち単発の利用のもの）	日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	日
4. ベビーシッター（居宅訪問型保育：保育者が子どもの家庭で保育する事業）	日
5. 障がい児支援施設	日
6. その他（ ）	日
7. 利用していない	

問 21 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、1年間で何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（別紙参照）

1. 利用したい	計	日
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など、リフレッシュ目的）		日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など		日
ウ 不定期の就労		日
エ その他（ ）		日
2. 利用する必要はない		

問 22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその日数をご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア 親族・知人にみてもらった	泊
	イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設、障がい児支援施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	泊
	ウ イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	カ その他（ ）	泊
2. なかった		



お子さんが5歳以上の保護者の方にうかがいます。

問 23 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

※このアンケートで「学童保育」とは、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに指導員のもとで、授業終了後の生活の場を提供する公的なものをいいます。また、芦屋市では留守家庭児童会と呼んでいます。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	週（ ）日くらい
4. 体育館や福祉センターなど公共の施設	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室（校庭開放を含む）	週（ ）日くらい
6. 留守家庭児童会（学童保育）	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
7. 民間の学童保育	週（ ）日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
9. 障がい児支援施設	週（ ）日くらい
10. コミスク	週（ ）日くらい
11. その他	週（ ）日くらい

問 24 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	週（ ）日くらい
4. 体育館や福祉センターなど公共の施設	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室（校庭開放を含む）	週（ ）日くらい
6. 留守家庭児童会（学童保育）	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
7. 民間の学童保育	週（ ）日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
9. 障がい児支援施設	週（ ）日くらい
10. コミスク	週（ ）日くらい
11. その他	週（ ）日くらい

問 25 **問 23 または問 24 で「6. 留守家庭児童会（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。** 該当しない方は、問 26 へお進みください。

土曜日、日曜日・祝日、夏休み等の三季休業中に利用したいですか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用したい時間帯をご記入ください。

1. 土曜日に利用したい	____時から ____時まで
2. 日曜日・祝日に利用したい ※芦屋市では現在実施していません。	____時から ____時まで
3. 夏休み等の三季休業中に利用したい	____時から ____時まで
4. 利用希望はない	

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
うかがいます。

問 26 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 27 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない

取得していない理由(当てはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

(2) 父親

1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない

取得していない理由(当てはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 仕事に戻るのが難しそうだった
4. 昇給・昇格などが遅れそうだった
5. 収入減となり、経済的に苦しくなる
6. 保育所(園)などに預けることができた
7. 配偶者が育児休業制度を利用した
8. 制度を利用する必要がなかった
9. 子育てや家事に専念するため退職した
10. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
12. 育児休業を取得できることを知らなかった
13. その他()

問 27-1 **問 27 で母親または父親が、「2.取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。なお、母親または父親のうち、どちらか育児休業期間を長く取得した方についてお答えください。**該当しない方は、問 28 へお進みください。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | |
| 2. 現在も育児休業中である | -----▶ 【問 27-8 へ】 |
| 3. 育児休業中に離職した | -----▶ 【問 28 へ】 |

問 27-1 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 27-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった |
| 2. それ以外だった |

※「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」には、次の内容も含まれます。
・年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合
・年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所（園）に入所できなかったという場合

問 27-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。

実際の取得期間	___歳 ___か月	希望	___歳 ___か月
---------	------------	----	------------

問 27-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

希望	___歳 ___か月
----	------------

問 27-5 **問 27-3 で「実際」の復帰と「希望」が異なる方にうかがいます。**
希望の時期に職場復帰しなかった理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ _____ ） | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他（ _____ ） | |

問 27-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 利用する必要がなかった |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

問 27-7 **問 27-6** で「**3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）**」に○をつけた方にかがいます。

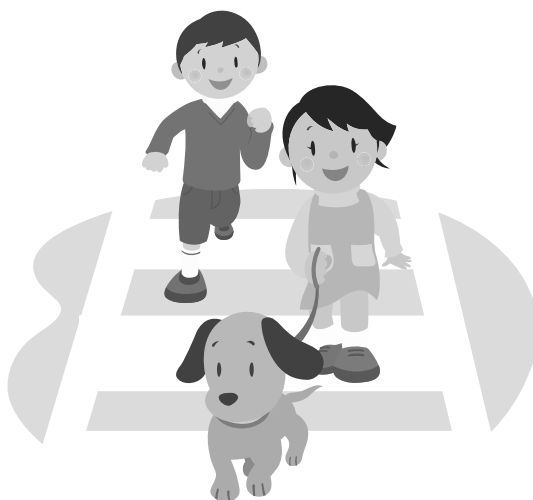
短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号をすべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

問 27-8 **問 27-1** で「**2. 現在も育児休業中である**」に○をつけた方にかがいます。

お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい



すべての方に、芦屋市の今後の子育て施策についてうかがいます。

問 28 ご自身にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 1. 楽しいと感じることの方が多い | 2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい |
| 3. つらいと感じることの方が多い | 4. わからない |
| 5. その他 () | |

問 29 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

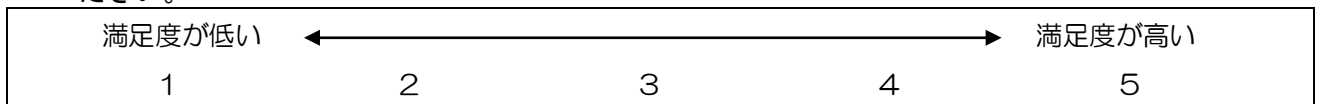
(1) 子どもに関すること

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 病気や発育発達に関すること | 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 子育て支援サービスのことがよくわからないこと | 4. 子どものしつけに関すること |
| 5. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと | 6. 子どもの教育・保育に関すること |
| 7. 子どもの友だちづきあいに関すること | 8. 子どもの登所・登園拒否や不登校など |
| 9. 特にない | 10. その他 () |

(2) ご自身に関すること

- | |
|---------------------------------|
| 1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと |
| 2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと |
| 3. 子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと |
| 4. ご自身の子育てについて、身近な人の見目が気になること |
| 5. 子育てに関して話し相手や相談相手がないこと |
| 6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと |
| 7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと |
| 8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと |
| 9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと |
| 10. 特にない |
| 11. その他 () |

問 30 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



問 31 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 子育てに関する相談、情報提供の充実 |
| 2. 親子・親同士の交流の場の充実 |
| 3. 地域における子どもの居場所の充実 |
| 4. 家庭の教育力向上のための学習機会の充実 |
| 5. 子どもの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実 |
| 6. 次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実 |
| 7. 子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実 |
| 8. 児童虐待やいじめなどに対する対策の充実 |
| 9. 障がいのある子どもが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実 |
| 10. ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実 |
| 11. 教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実 |
| 12. 仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の箇所数や内容の充実 |
| 13. 仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発 |
| 14. その他（ ） |

問 32 認定こども園についてどの程度知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 認定こども園についてほぼ理解している |
| 2. 認定こども園についてなんとなく知っている |
| 3. 認定こども園について聞いたことがあるがあまり知らない |
| 4. 認定こども園について聞いたこともないし、内容も知らない |

※認定こども園とは、保護者が働いている、いないにかかわらず、就学前の子どもを受け入れて、幼児教育・保育を一体的に提供する施設です。在宅を含めた、すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供を行うなど、地域における子育て支援の機能を備えています。

問 33 認定こども園設置に取り組むことについてどのようなお考えをお持ちですか。最も近い番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 積極的に進めてほしい | 2. どちらかといえば進めてほしい |
| 3. どちらかといえば進めてほしくない | 4. 進めるべきではない |
| 5. どちらともいえない | |

問 34 認定こども園についてより具体的な説明や情報が欲しいと思いますか。最も近い番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 知りたいと思う | 2. 知りたいと思わない |
|------------|--------------|

子育て支援に関するアンケート調査
(小学生児童)

子育て支援に関するアンケート調査

～調査の趣旨とご協力のお願い～

【ご協力のお願い】

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、親子が豊かに育ち合い、子どもを生み育てることに夢や希望が持てるまちをめざして、さまざまな子育て支援に関する取り組みを進めています。

平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が可決・成立し、公布されました。この3法に基づき、新たな子ども・子育て支援新制度のもとで、教育・保育・子育て支援の充実を図る取り組みが進められています。

本市においても、この法律に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、子育て支援に関するサービスの利用状況や今後の利用希望などを把握するため、子どもの保護者を対象として、「アンケート調査」を実施させていただきます。

この調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの小学生のお子さんのいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただいた方です。

お答えは、すべて無記名で、個人が特定されることや、他の目的に使用することはございません。

ご多忙のこととは存じますが、このアンケートは、今後5か年の事業計画を決める大切なものですので、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成25年10月

芦屋市長 山中 健

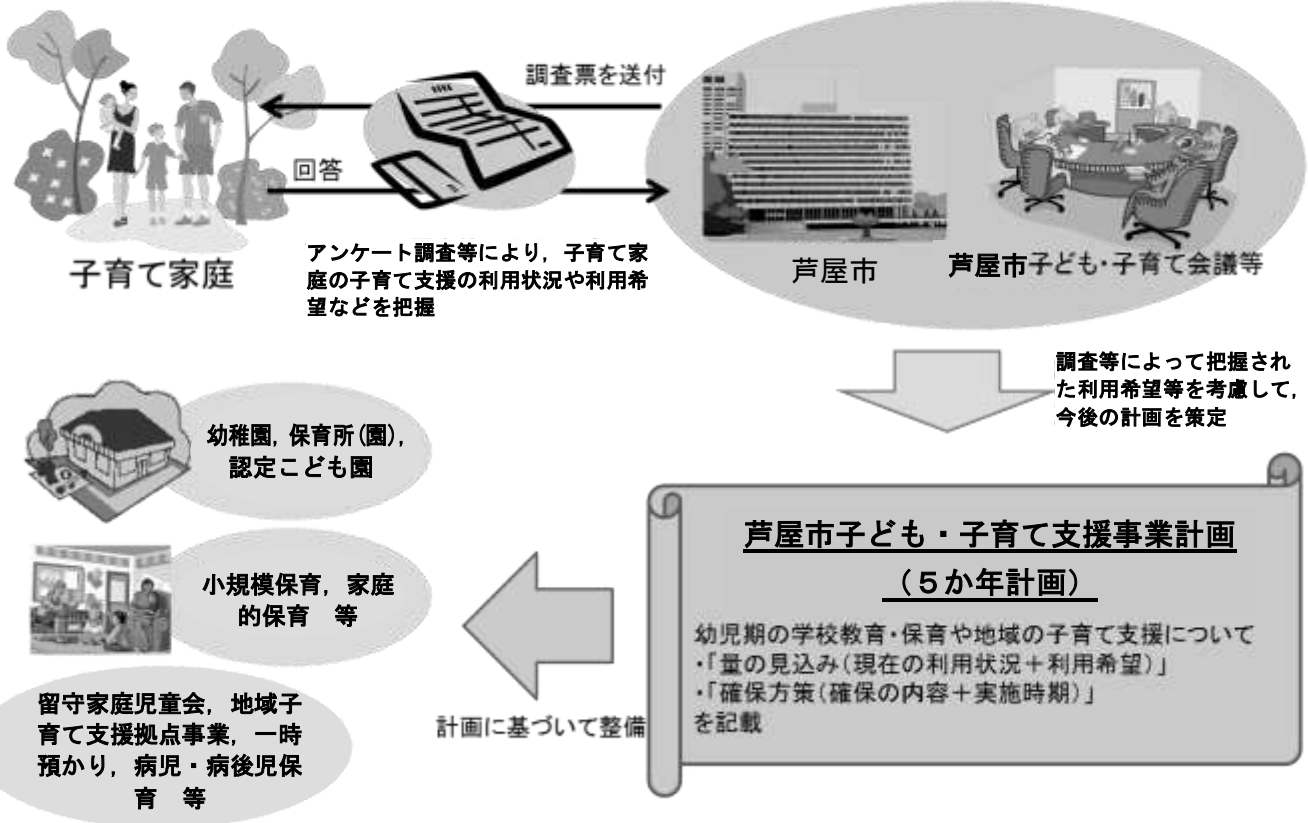
子ども・子育て支援新制度の目的

○子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

○子どもの成長においては、乳幼児期におけるしっかりとした愛情関係を基礎として、心身の健全な発達を通じて、学童期に至るまで一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

○子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



芦屋市の子育て支援事業内容と利用料

芦屋市では、現在、地域で子育て・子育てを支えるためいろいろな制度でみなさんを応援しています。

	内容	利用できる条件	利用料金
1. ベビーシッター (居宅訪問型保育)	保育者が子どもの家庭で保育する事業です。		民間事業者が実施しているため、それぞれ料金設定が違います。下記の内容は一例です。 入会金：50,000円程度 年会費：10,000円程度 利用料金：2,300円/1時間程度
2. ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かる事業です。現在、芦屋市では、社会福祉協議会に委託しています。	0歳から小学校6年生までのお子さんをお持ちの芦屋市在住・在勤の人	最初の1時間まで800円 1時間を超えると400円/30分
3. 障がい児支援施設	指導と訓練、その他集団適応など必要な支援を受けたり、心身の発達に支援を要する児童が、通所により適切な放課後を過ごしたりします。	障害福祉サービスまたは障害児通所支援にかかる支給決定を受けている児童	利用したサービスの費用の1割を負担いただきます。(月額の上限があります。)
4. 病児・病後児保育	病気やけがにより、保育所等で他の児童との集団生活が困難な児童を一時的にお預かりする事業です。	・芦屋市に居住または市内の保育所等に在籍する生後6か月から10歳未満までの児童 ・保護者が就労・傷病・事故・冠婚葬祭の都合により家庭での保育を行なうことが困難な児童 ・当面症状の急変はないが、病気やけがの回復期に至っていない児童または回復期の児童	1人1日2,000円
5. 留守家庭児童会(学童保育)	保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに指導員のもとで、授業終了後の生活の場を提供する公的なものをいいます。	学校の放課後、保護者が就労等で昼間家庭を不在にする小学1年生から3年生	育成料月額10,000円 (うち2,000円は飲食物・教材費) ・土曜保育加算：月額1,600円 ・延長保育加算：月額3,000円 ※延長保育の実施は新年度入会受付期間の利用希望調査により各小学校別で決定いたします。

※事業・サービスは、年齢や条件によって違うものがありますので、あくまで目安として参照してください。また、現時点での内容・利用条件・利用料金となっていますので、平成27年度からの子ども・子育て支援新制度によるものではありません。

子育て支援に関するアンケート調査

～ご記入にあたって～

- ご回答は、できるかぎり封筒の宛名のお子さんの保護者の方をお願いしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- 時刻を記入するところでは、当てはまる時刻を、24時間表記で記載してください。
(例) 9時～18時、17時まで
- ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、
10月31日(木)までにご返送ください。(切手は不要です。)
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問合せ】 芦屋市こども・健康部こども政策課 電話：38-2180 FAX：38-2190

※なお、平日以外にも説明させていただきますので、お気軽にお越しください。

日時：10月26日(土)	18時30分 から 20時00分 まで
	場所：上宮川文化センター(芦屋市上宮川町10番5号)
10月27日(日)	9時30分 から 11時00分 まで
	場所：保健福祉センター(芦屋市呉川町14番9号)

To those who need English translation

(英語の翻訳を必要とする方へ)

This survey is not obligatory. Translated questionnaires have been prepared. So if you cooperate this survey, please send an E-mail to the following address. Thank you.

E-mail : kodomoseisaku@city.ashiya.lg.jp

アンケート調査票に使われている用語の定義

- 子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教 育：家庭での教育を含めた広い意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる町に○をつけてください。

地区					【参考】小学校区
1. 奥池町	2. 奥池南町	3. 奥山	4. 大原町	5. 上宮川町	山手小学校区
6. 劔谷	7. 三条町	8. 三条南町	9. 清水町	10. 月若町	
11. 業平町	12. 西芦屋町	13. 西山町	14. 東芦屋町	15. 船戸町	
16. 前田町	17. 松ノ内町	18. 山芦屋町	19. 山手町		
20. 岩園町	21. 楠町	22. 親王塚町	23. 翠ヶ丘町	24. 六麓荘町	
25. 朝日ヶ丘町	26. 東山町				朝日ヶ丘小学校区
27. 伊勢町	28. 大榎町	29. 川西町	30. 公光町	31. 精道町	精道小学校区
32. 竹園町	33. 茶屋之町	34. 津知町	35. 浜芦屋町	36. 平田北町	
37. 平田町	38. 松浜町				
39. 打出小槌町	40. 呉川町	41. 西蔵町	42. 浜町	43. 宮川町	宮川小学校区
44. 宮塚町	45. 若宮町				打出浜小学校区
46. 打出町	47. 春日町	48. 大東町	49. 南宮町		
50. 海洋町	51. 潮見町	52. 涼風町	53. 緑町	54. 南浜町	潮見小学校区
55. 陽光町	56. 若葉町				浜風小学校区
57. 高浜町	58. 新浜町	59. 浜風町			

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

平成 ____年__月生まれ

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。

きょうだい数 ____人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労，以下同様）で就労している	【(1) - 1 へ】
2. フルタイムで就労しているが，産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労，以下同様）で，就労している	
4. パート・アルバイト等で就労しているが，産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが，現在は就労していない	【(2) へ】
6. これまで就労したことがない	

(1) - 1 **(1) で「1.~4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。**

1週当たりの「就労日数」，1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」，「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は，もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は，休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり _____日	1日当たり _____時間
--------------	---------------

家を出る時間 _____時	帰宅時間 _____時
---------------	-------------

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労している	【(2) - 1 へ】
2. フルタイムで就労しているが，育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労している	
4. パート・アルバイト等で就労しているが，育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが，現在は就労していない	【問 12 へ】
6. これまで就労したことがない	

(2) - 1 **(2) で「1.~4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。**

1週当たりの「就労日数」，1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」，「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は，もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は，休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり _____日	1日当たり _____時間
--------------	---------------

家を出る時間 _____時	帰宅時間 _____時
---------------	-------------



問 11 **問 10 の (1) または (2) で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にかがいます。**該当しない方は、問 12 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 12 **問 10 の (1) または (2) で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。**該当しない方は、問 13 へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する___には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが ___ 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

1. フルタイム
2. パート・アルバイト等
→1 週当たり ___ 日 1 日当たり ___ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが ___ 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

1. フルタイム
2. パート・アルバイト等
→1 週当たり ___ 日 1 日当たり ___ 時間



お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 13 この1年間に、お子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありますか。

- 1. あった ---▶【問 13-1へ】
- 2. なかった ---▶【問 14へ】

問 13-1 **問 13で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。**

お子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数を数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対処方法	日数
1. 母親が休んだ	日
2. 父親が休んだ	日
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	日
4. 母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた	日
5. 病児・病後児の保育を利用した	日
6. ベビーシッターを利用した	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
9. その他()	日

【問 14へ】

問 13-2 **問 13-1で「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」のどちらかに○をつけた方にうかがいます。**

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその日数についてもご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生し(別紙参照)、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- 1. できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい → 年間____日
- 2. 利用したいとは思わない



お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます。

問 14 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数をご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	日
2. ベビーシッター（居宅訪問型保育：保育者が子どもの家庭で保育する事業）	日
3. 障がい児支援施設	日
4. その他（ ）	日
5. 利用していない	

問 15 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、1年間で何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（別紙参照）

1. 利用したい	計	日
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など、リフレッシュ目的）		日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など		日
ウ 不定期の就労		日
エ その他（ ）		日
2. 利用する必要はない		

問 16 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその日数をご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア 親族・知人にみてもらった	泊
	イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設、障がい児支援施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	泊
	ウ イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	カ その他（ ）	泊
2. なかった		

お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 17 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。または、過ごしていましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

※このアンケートで「学童保育」とは、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに指導員のもとで、授業終了後の生活の場を提供する公的なものをいいます。また、芦屋市では留守家庭児童会と呼んでいます。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	週（ ）日くらい
4. 体育館や福祉センターなど公共の施設	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室（校庭開放等）	週（ ）日くらい
6. 留守家庭児童会（学童保育）	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
7. 民間の学童保育	週（ ）日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
9. 障がい児支援施設	週（ ）日くらい
10. コミスク	週（ ）日くらい
11. その他	週（ ）日くらい

問 18 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	週（ ）日くらい
4. 体育館や福祉センターなど公共の施設	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室（校庭開放等）	週（ ）日くらい
6. 留守家庭児童会（学童保育）	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
7. 民間の学童保育	週（ ）日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
9. 障がい児支援施設	週（ ）日くらい
10. コミスク	週（ ）日くらい
11. その他	週（ ）日くらい

問 19 **問 17 または問 18 で「6. 留守家庭児童会（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。**該当しない方は、問 20 へお進みください。

土曜日、日曜日・祝日、夏休み等の三季休業中に利用したいですか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用したい時間帯をご記入ください。

1. 土曜日に利用したい	____時から ____時まで
2. 日曜日・祝日に利用したい ※芦屋市では現在実施していません。	____時から ____時まで
3. 夏休み等の三季休業中に利用したい	____時から ____時まで
4. 利用希望はない	

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
うかがいます。

問 20 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 21 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

- | | | |
|-------------|-----------------|------------|
| 1. 働いていなかった | 2. 取得した(取得中である) | 3. 取得していない |
|-------------|-----------------|------------|

取得していない理由(当てはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

(2) 父親

- | | | |
|-------------|-----------------|------------|
| 1. 働いていなかった | 2. 取得した(取得中である) | 3. 取得していない |
|-------------|-----------------|------------|

取得していない理由(当てはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 仕事に戻るのが難しそうだった
4. 昇給・昇格などが遅れそうだった
5. 収入減となり、経済的に苦しくなる
6. 保育所(園)などに預けることができた
7. 配偶者が育児休業制度を利用した
8. 制度を利用する必要がなかった
9. 子育てや家事に専念するため退職した
10. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
12. 育児休業を取得できることを知らなかった
13. その他()

問 21-1 **問 21 で母親または父親が、「2.取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。なお、母親または父親のうち、どちらか育児休業期間を長く取得した方についてお答えください。**該当しない方は、問 22 へお進みください。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | |
| 2. 現在も育児休業中である | -----▶ 【問 21-8 へ】 |
| 3. 育児休業中に離職した | -----▶ 【問 22 へ】 |

問 21-1 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった |
| 2. それ以外だった |

※「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」には、次の内容も含まれます。
・年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合
・年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所（園）に入所できなかったという場合

問 21-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。

実際の取得期間	___歳 ___か月	希望	___歳 ___か月
---------	------------	----	------------

問 21-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

希望	___歳 ___か月
----	------------

問 21-5 **問 21-3 で「実際」の復帰と「希望」が異なる方にうかがいます。**

希望の時期に職場復帰しなかった理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ | ） |

(2) 「希望」より遅く復帰した方

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてる人がいなかったため | |
| 6. その他（ | ） |

問 21-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 利用する必要がなかった |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

問 21-7 **問 21-6 で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にかがいます。**

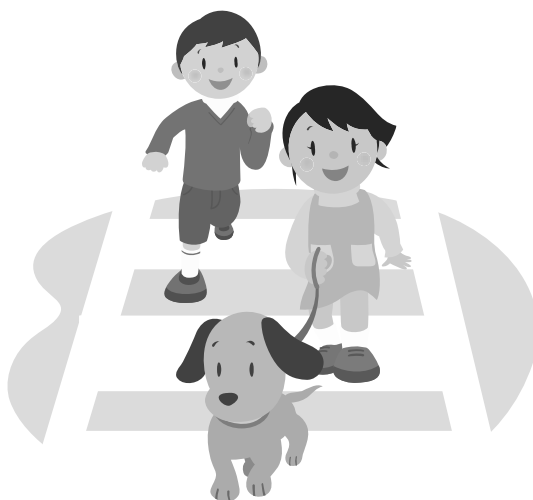
短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号をすべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

問 21-8 **問 21-1 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にかがいます。**

お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい



すべての方に、芦屋市の今後の子育て施策についてうかがいます。

問 22 ご自身にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 1. 楽しいと感じることの方が多い | 2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい |
| 3. つらいと感じることの方が多い | 4. わからない |
| 5. その他 () | |

問 23 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

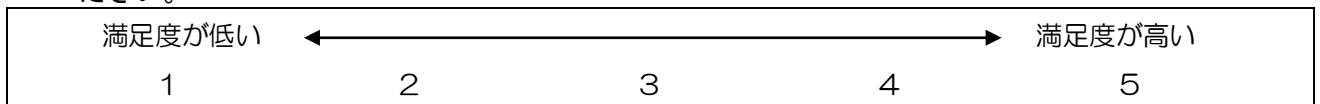
(1) 子どもに関すること

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 病気や発育発達に関すること | 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 子育て支援サービスのことがよくわからないこと | 4. 子どものしつけに関すること |
| 5. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと | 6. 子どもの教育・保育に関すること |
| 7. 子どもの友だちづきあいに関すること | 8. 子どもの登校拒否や不登校など |
| 9. 特にない | 10. その他 () |

(2) ご自身に関すること

- | |
|---------------------------------|
| 1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと |
| 2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと |
| 3. 子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと |
| 4. ご自身の子育てについて、身近な人の見目が気になること |
| 5. 子育てに関して話し相手や相談相手がないこと |
| 6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと |
| 7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと |
| 8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと |
| 9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと |
| 10. 特にない |
| 11. その他 () |

問 24 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



問 25 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 子育てに関する相談、情報提供の充実
2. 親子・親同士の交流の場の充実
3. 地域における子どもの居場所の充実
4. 家庭の教育力向上のための学習機会の充実
5. 子どもの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実
6. 次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実
7. 子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実
8. 児童虐待やいじめなどに対する対策の充実
9. 障がいのある子どもが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実
10. ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実
11. 教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実
12. 仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の箇所数や内容の充実
13. 仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発
14. その他（)



芦屋市
子育て支援に関するアンケート調査
結果報告書

平成 26 年 3 月 発行

芦屋市 こども・健康部 こども政策課
〒659-8501

兵庫県芦屋市精道町 7 番 6 号

T E L 0797-38-2180

F A X 0797-38-2190